

ISSN 0910-7282

大阪府立図書館紀要  
第43号  
2015年3月

Bulletin of Osaka Prefectural Library No. 43

大阪府立中之島図書館  
大阪府立中央図書館

## 目 次

「都道府県立図書館における研修等」についてのアンケート 調査結果（報告）	大阪府立中央図書館 協力振興課	P 1
大阪府立中之島図書館棟札（旧称大阪図書館）に記された 現場係木内真太郎とドーム天窓について	工房 我羅 博士（工学） 金田 美世	P 28
大阪府立図書館 1 世紀からの新たな歩み 年表でたどる 10 年の軌跡		P 47
大阪府立中之島図書館所蔵 『萬色一睨』 目録稿 一乾二・乾三の部一	小林 孔 高井 悠子	一頁
編集後記		

# 「都道府県立図書館における研修等」についてのアンケート調査結果（報告）

2014(平成 26)年 3 月

大阪府立中央図書館 協力振興課

## はじめに

協力振興課の業務の柱のひとつに、「研修」事業がある。課では、図書館をとりまく社会情勢の変化や図書館への要請などに的確に対応できるよう、府立図書館員のみならず、府域の公共図書館職員等への研修を行っている。

「図書館司書セミナー」「公立図書館と学校との合同研修」「OLA（大阪公共図書館協会の略、以下同）参考実務研修」「OLA 児童サービス基本研修」など府域公立図書館、学校図書館で働く職員向けの研修を企画し、実施している。企画にあたっては、児童サービス、レファレンス、障がいのある方へのサービスなど図書館のさまざまな業務に合わせ、図書館活動の「今」と「これから」に役立つ内容であるようにこころがけている。また、当館図書館職員のスキルアップを目指して、レファレンス技術の向上を目的とした研修、府内外で実施された外部研修の参加報告等、館内職員研修も休館日を利用して行っているところである。

平成 24 年 12 月に告示された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（以下、「望ましい基準」）では、都道府県立図書館は域内の市町村図書館職員への研修に関する支援をすることが挙げられている。研修の内容やテーマ、講師、実施方法は、他団体等の主催による研修へ参加した際の情報、図書館関係の資料、雑誌等からの情報など、日々収集しているが、研修に対する要望は各人の経験年数や図書館の規模に影響される部分も大きく、すべてに応えるものを企画しきれていないのではないかと懸念している。

そこで、図書館職員の研修を今後さらに充実させるために、各府県での研修の実態についてアンケートを実施し、当館の研修計画に反映できるものがないかを検討することとした。全国公共図書館協議会では、平成 18 年度に「公立図書館における図書館職員の研修に関する実態調査報告書」（以下、「全公図報告書」）を出している。研修については、こ

の報告書にあがる項目を参考にして、アンケート項目を組み立てることとした。加えて、図書館職員による研究活動、地域の関連機関との連携についても調査することとし、府立図書館の今後の活動の参考となると考えられる項目をたて、回答を依頼した。

## 調査概要

1. 調査の目的 都道府県立図書館の現状を把握し、今後の大阪府立図書館のサービスの参考とするため。
2. 調査内容 別紙調査票のとおり
3. 調査対象 全国の都道府県立図書館 47 館  
(自治体内に複数館がある場合は、中心館で回答を依頼)
4. 調査方法 メールにより調査票を送付。回答は FAX またはメールによる。
5. 実施期間 2013 (平成 25) 年 11 月 15 日～12 月 24 日
6. 回収状況 2014 (平成 26) 年 1 月 20 日時点

	計	回答	無回答	回答率
都道府県図書館	47	39	8	83.0%

回答率は 83%。

## 調査結果概観

【問 1】貴都道府県立図書館・教育委員会・図書館協（議）会が主催している図書館関係者向け研修について

都道府県立図書館（以下、県立図書館という）としてどのような体制でどのように研修を実施しているかを知るために設定した項目。

<研修の名称>

参加者が研修のレベルや内容が推察しやすい名称となっており、研修の企画者が目的をはっきりと持っていることが伺える。

<主催者>

県立図書館単独での主催と、地域の図書館協（議）会等との共催、図書館協（議）会等の主催という3パターンの手法で開催されている。ほとんどの自治体に、この3パターンによる研修が併存している。県立図書館のみが主催しているとしている自治体は、青森県、宮城県、福島県、鳥取県の4県、図書館協（議）会等のみが主催としているのは、茨城県、石川県、静岡県、愛知県、和歌山県、徳島県、佐賀県の7県である。

<a 研修の内容>以下は、概要の表【問1】を参照。

2年以上継続して実施（または予定）している研修について回答を依頼した。回答のあった館はすべてなんらかの研修を実施している結果となった。総数は220であるが、自治体によって研修の実施回数には差がある。研修内容は、選択肢「その他」を除くと、上位から3位は、「複数のテーマにわたる研修（91件）」「児童サービス（ヤングアダルトサービス含む）（30件）」「レファレンスサービス（26件）」となった。次いで、「図書館運営・経営（15件）」「障がい者サービス（10件）」となっている。

図書館サービスの柱である事業の研修への要望が高く、また昨今の図書館をとりまく社会情勢に対応するために図書館経営に関心が高くなっている結果が反映されているのではないかと推察される。

「全公図報告書」では、「複数のテーマにわたる研修」「児童青少年サービス」「図書館経営」が上位3位を占め、次いで「レファレンスサービス」「その他の図書館サービス」となっている。

平成18年度から約7年経過した今回の調査でも、研修のテーマに大きな違いはないようである。テーマは、図書館における研修について普遍的なものであるからとも考えられる。しかし、同じレファレンスをテーマとしても、実施時期により内容は変化しえちると想像される。

<b 研修の講師>

圧倒的に外部講師による実施が多く、県立図書館職員が務める例は少ない。それぞれ児童サービス、レファレンス、図書館経営等研修のテーマにはっきりとした輪郭がある場合

は、その分野に成果がある講師を招聘することでスキルアップにつなげようという意図が働くためと思われる。

<参加対象者について>

《c 所属》

市町村立図書館、都道府県立図書館に所属していることがほとんどで、「児童サービス（ヤングアダルトサービス含む）」という研修が多く開催されているにも関わらず、学校図書館に所属している人を対象にすることは少ない。

《d 属性》

委託・派遣職員等含むという数値が高く、次いで非常勤職員等含むとなっている。図書館職員の非正規雇用化が進んでいる結果と思われる。

《e 経験》

経験を問わないという回答が多い。キャリアにかかわらず、図書館で働けれものが参加できる研修が多く準備されている結果と思われる。

《f 定員》

30～49名という設定が多く、次いで、70名以上となった。定員は、実施する施設の規模に規定される要因が大きいが、実施形式に、ワークショップが一番多いことから（後述）、実施しやすい30名～49名という人数が必然的に多くなったと思われる。研修の内容と定員とのバランスがとれている結果と推察される。

<g 実施日数>

1日、半日以下という回答が全体の7割を占める。連続しての研修は、参加者側にも主催者側にも、通常業務をやりくりして参加、実施している面があることから、1日以上の日程での研修参加は厳しいという結果と考えられる。

<h 形式>

ワークショップ（演習を含む）形式が全体の半数を占め、次いで、講義形式となった。「全公図報告書」では、両者はほぼ同率であったが、今回のアンケートでは変化している。ただ話を聞いているだけの研修よりも実践的な研修の実施が望まれていることがわかる。

#### < i 課題の有無 >

課題なしという結果が73パーセントで、ほとんどの研修は当日参加した際に理解できる内容の研修のようである。事前に予習が必要な事前課題のある研修が、18%ほどあるが、事後の課題を課したものはほとんどないようである。

#### < j 終了証の有無 >

終了証を発行している自治体は少ない。北海道、青森県、栃木県、埼玉県、東京都、山梨県、岐阜県、三重県、京都府等では発行している研修がある。

#### 【問2】貴図書館職員が平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）中に参加された館外の研修について

質問の意図が十分伝わらず、さまざまなレベルの研修について回答されることを避けるため、あらかじめ全国規模で実施される体系的な司書向け研修を選択枝にして回答を求めた。その他の項目を選択した図書館では、北海道、東京都、新潟県、山梨県、愛知県、三重県、広島県がそれぞれの館の方向性に沿った研修にも参加していることが伺われる。

選択枝が全国規模の研修で、多くの場合は県外への出張となるため、参加者の属性はほとんどが正職員となった。（概要表【問2】参照。）

#### 【問3】研修の実施または参加についての課題について

当館で研修を企画する際には、時期やテーマ、テーマにあった講師を見つけられるか、参加者のレベルに合うかといったことが常に課題となっている。図書館の課題を解決するための研修では、図書館という分野に絞られてくるため、講師が限定される。大学の集中する関東方面に招聘したい人材が多く、招聘のための予算のやりくり、日程調整等に労力を割いている。

参加者側について言えば、近年の人員削減、予算圧縮のながれのなかで、タイミングが合わず、研修参加を断念する場合もでてきている。(2)は、他の県立図書館とも共通の課題であるのかどうか、傾向を知るために設定した項目。特に課題となっている項目を3つまで選択できるように設定した。

(1) 企画、実施する際の課題 (以下、概要表【問3】参照)

「研修のテーマ設定」、「研修・講座の講師の選定」、「予算や助成金等の確保」、「研修ニーズ、意識の把握」といった項目の選択が多い。しかし、特に突出しているものはなく、研修の数以外を選択していることから、いずれの県立図書館も研修の質について追及しているものと思われる。

(2) 参加する際の課題

「旅費の確保」、「勤務日の日程調整、シフト勤務の調整」が特に課題となっているという結果となった。全館共通の課題であるといえよう。また、多くの図書館は、開館時間の設定がシフト勤務を前提としていることから、予算と勤務の調整については、永遠の課題であると思われる。

**【問4】 貴館が今後必要とお考えの研修について**

今後より必要となるテーマを見極めていくために、全国的な動きや特色のある活動をしている図書館を知るために設定した項目。

概要表にまとめたとおり、特に必要として挙げたテーマはなかった。研修の形態がワークショップ(演習)を選択する館が多いことから、より能動的に、考える機会を提供する研修、または実践的な研修が必要と考えられているのではないか。ワークショップ(演習)を組み込んだ研修ができる講師の選択、参加者のレベルにあった内容が求められていると考えられる。

<a 研修の内容> (d 以外は概要表【問4】参照。)

集計の際のカテゴリズに揺れが生じることを避けるため、あらかじめ選択枝を設定した。回答には突出した項目はなく、いずれも必要と捉えられているようである。



<b 研修の講師>

外部講師がほとんどである。それぞれ得意とする分野の講師によるより深い内容の研修を期待しているためと思われる。

<c 参加対象者>

域内の公共図書館職員、委託職員も含めてという回答の2つが大部分を占める。その他を選択し、ボランティアや学生、図書館外の部局の職員を対象とするといった回答はなかった。

<d 実施回数または時間>

選択枝を設けず自由記述としたが、ほとんどが1回～2回となっており、一日単位の研修を想定されているようである。佐賀県が3回と回答しており、形式は全てワークショップ（演習）を選択しているところから一つのテーマに関して時間をかけて深めていく研修が必要と考えているようである。

<e 形式>

ワークショップ（演習）を選択される館が多く、能動的に研修に参加することを求められている。

<f 課題の有無>

課題が無しとの回答がやや多いが、研修の講師や形態によって変動するのではないかとと思われる。

**【問5】 貴図書館職員の講師派遣や研究活動について**

図書館利用者に対してだけでなく、広く図書館界に対して、司書としての専門性を発揮しているかどうか、発揮する機会があるかどうかを尋ねた項目。（概要表【問5】参照）

研修については、いずれの県立図書館も充実した内容のものを実施、継続してきているが、調査研究については、課題が多い。

「望ましい基準」では、調査研究に努めることも求められている。研修ニーズや講師の選択をするうえでも、当館のこれからを検討するうえでも、何をどのように調査研究するのか、考えていく必要があるのではないか。

#### <講師の派遣>

90%近くの図書館が、派遣したことがあると回答している。「図書館関連の研修・講座等」、「都道府県単位レベルの図書館関係の研修」と「県内市町村図書館向け研修」が上位を占めた。

概ね勤続10年以上の中堅職員として活躍している人材が派遣されている。レファレンス、児童サービス、障がい者サービス、学校支援等専門的なスキルを積みあげ、それを活用する場面となっていると考えられる。図書館活動の核となる内容の研修の講師を務めることにより自身の仕事を整理し、参加者に還元するよい機会となっていることが伺える。

#### <研究活動>

職員の研究活動の内容を把握している館は少ない。図書館に関する研究については、組織的に取り組んでおらず、個人レベルでの活動となっているところが多い。公共図書館の職員は、利用者へのサービスが本務で、研究者ではないということから組織的に研究する場が設定されておらず、館外の研究グループへの参加といった個人的な努力に依っているところが大きいのが実態のようである。

**【問6】** 貴館にて実施されている図書館、学校および関連団体との連携事業について

「望ましい基準」では、総則の第四項に「連携・協力」について言及されている。当館では図書館間の連携・協力については、資料の相互利用（協力貸出・相互貸借）や研修といった形で行われてきたが、図書館以外の社会教育施設や調査研究機関、民間団体との連携・協力については、模索しているところである。他の県立図書館での実践例を参考とするため、設定した項目。（概要表【問6】参照。）

現時点では、いずれの県立図書館の事業も当館も実施していることや模索していることと変わらないようであるが、北海道、青森県、東京都、山梨県、長野県、京都府、広島県の取り組みは、参考になる。

検討中の事業があると回答があったのは、福島県、栃木県、東京都、新潟県、岐阜県、京都府のみ、資料の協力貸出や研修・実習の受入れ、出張研修・出前講座とあり、これまでの活動内容を拡充する方向のようである。新たな方向を考えることは難しいようである。

<a 連携先><b 実施内容>

ほとんどが、小学校から大学までの学校図書館で、次いで自治体の各部局・各施設となっている。その他を選択した県立図書館の事例でも PTA 子ども読書推進といったもので、学校からのつながりである。

また、実施内容も、資料の協力貸出、研修、実習の受入れ、レファレンスが主である。

最後に

各県立図書館の研修と実施状況については、当館での状況とそれほどの違いがないように思われる。東京都、埼玉県、千葉県と都市部にあり、自治体内に複数の図書館がある運営をしている場合は事業数も多く、内容も充実していた。一方、どの県立図書館もその県域の中核として地域性を活かした研修や事業を行っており、それぞれ詳細な中身については参考になることがあると思われる。

これまで当館で実施してきた研修は相応の成果があるものと考え、今後もその内容の精査や手法についての検討を行い、より良いものとしていきたい。課題である連携・協力についても、【問6】の回答を見つつ、実施館に問い合わせる等、参考となる事業を見いだせれば、と考えている。

すべての県立図書館からの回答を得ることはできなかったが、およその傾向はつかむことができ、データとして有用なものが収集できたと考えている。多岐にわたるアンケート項目に回答いただいた各図書館には感謝申しあげる。今後も県立図書館間の協力・連携を進めていきたい。

**【問1】貴都道府県立図書館・教育委員会・図書館協(議)会等が主催している図書館関係者向け研修について、お尋ねします。**

研修は、2年以上継続(または予定)実施しているものについてお答えください。a)欄からj)欄については、下記の各欄より1つだけ選択してください。各欄でその他を選択された場合は、別表その他の欄に詳細をご記入ください。

研修の名称	主催者	a)研修の内容	b)研修の講師	参加対象者				g)実施日数	h)形式	i)課題の有無	j)修了証の有無
				c)所属	d)属性	e)経験	f)定員				
<記入例>司書セミナー	大阪府立中央図書館	16	3	3	4	4	5	4	2	4	2

**【a)欄／研修の内容】**

1. 資料の収集・整理・保存
2. 図書館運営・経営
3. 図書館関連法規
4. 図書館情報システム関係
5. データベース等情報検索技術
6. レファレンスサービス
7. 児童サービス(ヤングアダルトサービス含む)
8. 障がい者サービス
9. 学校支援サービス
10. 地域資料関連サービス
11. 資料デジタル化関連
12. 行政(政策立案)支援サービス
13. 医療・健康情報サービス
14. ビジネス支援サービス
15. 法律情報サービス
16. 複数のテーマにわたる研修
17. その他

**【b)欄／研修の講師】**

1. 府県立図書館職員
2. 外部講師(図書館員)含む
3. 外部講師(大学図書館員等)含む

**【c)欄／所属】**

1. 市町村立図書館
2. 都道府県内中学校図書館
3. 1および2
4. 都道府県立図書館
5. 1および4
6. その他

**【d)欄／属性】**

1. 正規職員のみ
2. 非常勤職員等含む
3. 委託・派遣職員等含む
4. ボランティア含む
5. その他

**【e)欄／経験】**

1. 新任・転任職員
2. 中堅職員
3. 館長等責任者
4. 経験を問わない
5. その他

**【f)欄／定員】**

1. 10名未満
2. 10～29名
3. 30～49名
4. 50～69名
5. 70名以上

**【g)欄／実施日数】**

1. 半日以下
2. 1日
3. 2日
4. 3日以上

**【h)欄／形式】**

1. 講義
2. ワークショップ(演習)含む
3. その他

**【i)欄／課題の有無】**

1. 事前課題
2. 修了課題
3. 1および2
4. 課題なし

**【j)欄／修了証の有無】**

1. 有
2. 無

その他の内容については下記欄にご記入ください。

a) 17 (研修の内容)	
c) 6 (所属)	
d) 5 (属性)	
e) 5 (経歴)	
h) 3 (形式)	

**【問2】貴館図書館職員が平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)中に参加された館外の研修についてお尋ねします。**

a) 欄からc) 欄については、下記の各欄より一つだけ選択してください。

d) 欄には、直接都道府県名を、e) 欄には人数を直接ご記入ください。

a) 研修番号	b) 参加者の属性	c) 開催地	d) 県外開催地 都道府県名	e) 参加人数(人)	※a) 欄が16の場合のみ 16 の研修・講座等の名称
<記入例>5	1	2	島根県	1	

**【a) 欄／研修番号】**

1. 図書館司書専門講座(文部科学省・国立教育施策研究所)
2. 図書館地区別研修(文部科学省・各ブロック担当館)
3. 新任図書館長研修(文部科学省・各ブロック担当館)
4. 図書館等職員著作権実務講習会(文化庁)
5. 全国図書館大会(日本図書館協会等)
6. 全国公共図書館研究集会(日本図書館協会等)
7. 中堅職員ステップアップ研修(日本図書館協会)
8. 児童図書館員養成講座(日本図書館協会)
9. 日本図書館協会、同委員会で行う研修・研究集会
10. 国立国会図書館の研修・講座
11. 全国7ブロック公共図書館協議会主催の研修等
12. 都道府県単位(県レベルの図書館協(議)会・教育委員会・県立図書館)の図書館関係研修等
13. 国立情報学研究所図書館関係研修等
14. 大学による図書館関係研修・講座等
15. 図書館情報学関係研究団体の研究集会等

**【b) 欄／参加者の属性】**

1. 正規職員のみ
2. 非常勤職員等含む
3. 委託・派遣職員等含む
4. ボランティア含む
5. その他

**【c) 欄／開催地】**

1. 県内
2. 県外

16. その他の図書館関連の研修・講座等

**【問3】研修の実施または参加についての課題についてお尋ねします。**

(1) 研修を企画、実施する際に課題となっていることについて教えてください。特に課題となっている項目3つまで選択してください。

回答欄	具体的な問題点(自由記入)

K を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。

--

**項目**

- A 予算や助成金等の確保
- B 研修のテーマ設定
- C 研修・講座の講師の選定
- D 参加者の多寡
- E 主催する研修の数
- F 研修・講座の企画・準備・実施のための時間確保
- G キャリアに対応した研修体系
- H 研修ニーズ、意識の把握
- I 正規職員以外の職員に対する研修方針
- J 継続的、段階的研修の計画
- K その他

(2) 職員が研修・講座に参加する際に課題となっていることについて教えてください。特に課題となっている項目3つまで選択してください。

回答欄	具体的な問題点(自由記入)

J を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。

--

**項目**

- A 旅費の確保
- B 勤務日の日程調整、シフト勤務の調整
- C 職員の異動による研修成果の業務への反映
- D 職員の意識
- F 実践的に役立つ研修であるかどうかわかりにくい
- G 職員のスキル・レベルに合うかどうかわかりにくい
- H 類似のテーマが重なる
- I 正規職員以外の職員の参加
- J その他

**【問4】貴館が今後必要とお考えの研修について、お尋ねします。**

a) b) c) e) f) 欄については、下記の各欄より一つだけ選択してください。

各欄でその他を選択された場合は、別表その他の欄に詳細をご記入ください。

d) 欄については、検討されている回数もしくは、実施時間を直接ご記入ください。

a) 研修の内容	b) 研修の講師	c) 参加対象者	d) 実施回数または時間	e) 形式	f) 課題の有無


- 【a) 欄／研修の内容】**  
1. 資料の収集・整理・保存  
2. 図書館運営・経営  
3. 図書館関連法規  
4. 図書館情報システム関係  
5. データベース等情報検索技術  
6. レファレンスサービス  
7. 児童サービス(ヤングアダルトサービス含む)  
8. 障がい者サービス  
9. 学校支援サービス  
10. 地域資料関連サービス  
11. 資料デジタル化関連  
12. 行政(政策立案)支援サービス  
13. 医療・健康情報サービス  
14. ビジネス支援サービス  
15. 法律情報サービス  
16. 複数のテーマにわたる研修  
17. その他
- 【b) 欄／研修の講師】**  
1. 府県立図書館職員  
2. 外部講師(図書館員)含む  
3. 外部講師(大学図書館員等)含む  
4. その他
- 【c) 欄／参加対象者】**  
1. 館内職員のみ  
2. 域内公共図書館職員  
3. 域内図書館職員(学校図書館等含む)  
4. 委託職員等も含めた域内図書館職員全て  
5. その他
- 【e) 欄／形式】**  
1. 講義  
2. 講義とワークショップ(演習)  
3. ワークショップ(演習)  
4. その他
- 【f) 欄／課題の有無】**  
1. 有  
2. 無

その他の内容については下記欄にご記入ください。

a) 17 (研修の内容)	
b) 4 (研修の講師)	
c) 5 (参加対象者)	
e) 4 (形式)	

**【問5】貴図書館職員の講師派遣や研究活動についてお尋ねします。**

(1) 平成20年度以降、図書館関連の研修や講座の講師として貴館職員を派遣したことがありますか。  
(事例発表の発表者としての派遣は、除いてください。)

回答欄  1. 派遣した 2. 派遣していない

(2) 派遣したと回答された館に伺います。派遣した研修について教えてください。

a) 研修番号	b) 派遣職員の職	派遣職員 の勤続年 数	c) 開催地	d) 県外開催地都道 府県名	備考 (研修名)



<記入例>6	4	7~20年	府内4市町村		情報検出前講習

【a)欄／研修番号】 3以降については、備考欄1に研修名をご記入ください。

1. 図書館地区別研修
2. 中堅職員ステップアップ研修(日本図書館協会)
3. 日本図書館協会、同委員会で行う研修・研究集会
4. 全国7ブロック公共図書館協議会主催の研修等
5. 都道府県単位(県レベルの図書館協(議)会・教育委員会・県立図書館)の図書館関係研修等
6. 県内市町村図書館向け研修
7. 大学での授業(司書課程)
8. その他の図書館関連の研修・講座等

【c)欄／開催地】

1. 県内
2. 県外

【b)欄／派遣職員の職】

1. 司書部部长
2. 課長(課名)
3. 係長等チームリーダー(課名・係名等)
4. スタッフ
5. その他(具体的にご記入ください)

(3)現在、職員の研究活動、研究発表状況について把握されていますか。

1. 把握している    2. 把握していない

(4)把握していると回答された館に伺います。研究活動・発表については、どんなものがありますか。

a)研究活動番号	職員数(人)	b)研究発表番号	職員数(人)

【a)／研究活動番号】

1. 日本図書館協会の研究委員会
2. 都道府県単位(県レベルの図書館協(議)会・教育委員会・県立図書館)等の研究会
3. 全国7ブロック公共図書館協議会の研究会
4. 大学図書館、専門図書館関係の研究会
5. 図書館関係団体による研究会
6. その他(具体的にご記入ください。)

**【b)研究発表番号】**

1. 貴館で発行している「紀要」等研究報告集への投稿
2. 図書館関係雑誌など定期刊行物への投稿
3. 図書館関係図書への執筆
4. 行政関係の定期刊行物や図書への投稿
5. 館内研修での発表
6. 館外での研究会・研修会での発表
7. その他(具体的にご記入ください。)

**【問6】貴館にて実施されている図書館、学校および関係団体との連携事業についてお尋ねします。**

※実施内容は、過去3年間に継続している事業をご記入ください。実施内容は、実施中の項目全てを選択してください。

a)連携先	b)実施内容	担当課 (実施担当者)	回数(年間)	c)検討中の事業	備考欄1	備考欄2
<記入例>3	9	協力振興課	1		大阪府立高等学校対象協力貸出業務(試行)担当者情報交換会	

**【a)連携先】**

1. 幼稚園・保育園
2. 小・中学校(図書館)
3. 高等学校(図書館)
4. 特別支援学校(図書館)
5. 大学・短大(図書館)
6. 専門学校・職業学校
7. 専門図書館・資料室等
8. 都道府県庁内図書室、行政資料室
9. 地方議会図書室
10. 都道府県立公文書館・地域資料センター等
11. 博物館等社会教育・生涯学習機関
12. 福祉施設(介護施設等)
13. 児童福祉施設
14. 矯正施設(刑務所・少年院等)
15. 病院(図書室)
16. 自治体の各部局・各施設
17. その他

**【b)実施内容】**

1. 資料の協力貸出
2. 資料の相互貸借
3. 資料購入リクエストの受付
4. 文献複写
5. レファレンスサービス
6. 横断検索・総合目録
7. 出張研修、出前講座等
8. 研修、実習の受入れ
9. 連絡会等の実施(連絡会名を備考欄1にご記入ください。)
10. 人事交流
11. 展示・イベント等の共催・後援等
12. 読書会等交流事業
13. その他(具体的に備考欄2にご記入ください)

**【c)検討中の事業】**

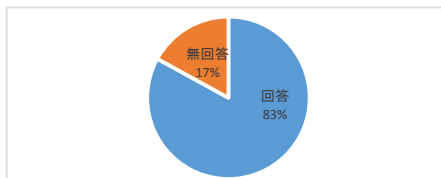
b) 欄の実施内容の項目から選択してください。

質問は、以上です。ご協力ありがとうございました。

概要

■回収状況

計	回答	無回答
都道府県図	47	39
	83.0%	17.0%



■研修の実施状況

計	実施あり	実施なし	無回答
都道府県図	39	39	0
	100.0%	0.0%	0.0%

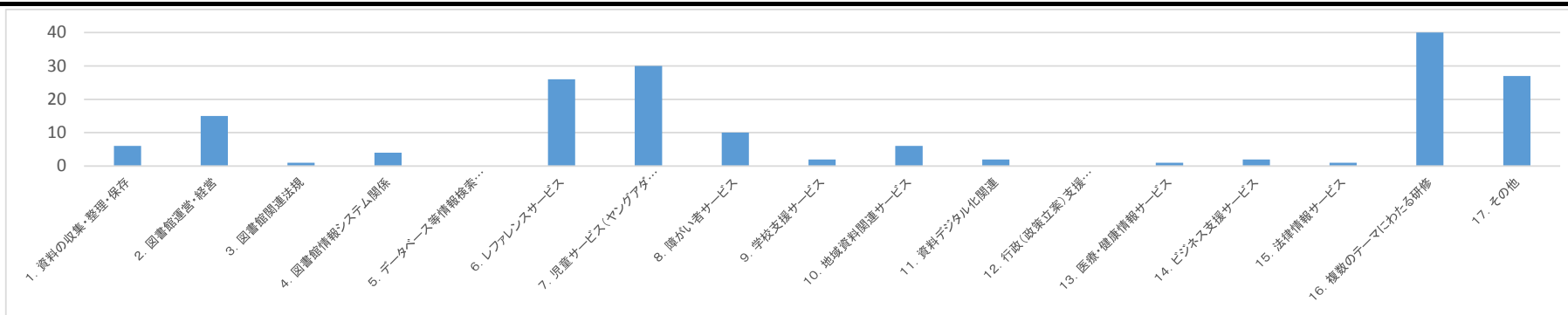


【問1】貴都道府県立図書館・教育委員会・図書館協(議)会等が主催している図書館関係者向け研修について、お尋ねします。

研修は、2年以上継続(または予定)実施しているものについてお答えください。

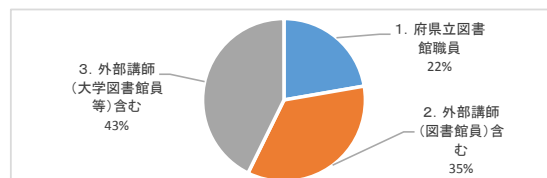
■a) 研修の内容

計	1. 資料の収集・整理・保存	2. 図書館運営・経営	3. 図書館関連法規	4. 図書館情報システム関係	5. データベース等情報検索技術	6. レファレンスサービス	7. 児童サービス(ヤングアダルトサービス含む)	8. 障がい者サービス	9. 学校支援サービス	10. 地域資料関連サービス	11. 資料デジタル化関連	12. 行政(政策立案)支援サービス	13. 医療・健康情報サービス	14. ビジネス支援サービス	15. 法律情報サービス	16. 複数のテーマにわたる研修	17. その他	
都道府県図	225	6	15	1	4	0	26	30	10	2	6	2	0	1	2	1	92	27
	2.7%	6.7%	0.4%	1.8%	0.0%	11.6%	13.3%	4.4%	0.9%	2.7%	0.9%	0.0%	0.4%	0.9%	0.4%	40.9%	12.0%	



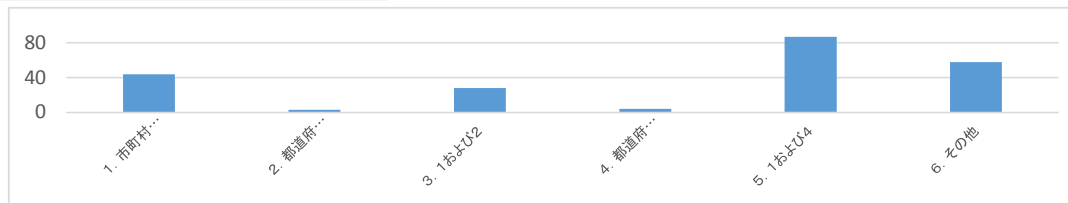
■b)研修の講師

計	1. 府県立図書館職員	2. 外部講師(図書館員)含む	3. 外部講師(大学図書館員等)含む	
都道府県図	220	49	77	94
		22.3%	35.0%	42.7%



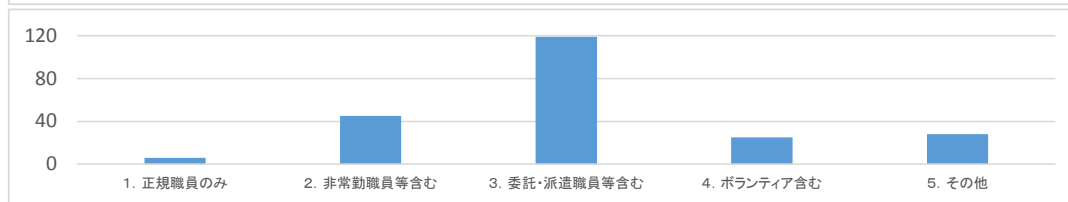
■c)所属

計	1. 市町村立図書館	2. 都道府県内学校図書館	3. 1および2	4. 都道府県立図書館	5. 1および4	6. その他
都道府県図	224	44	3	28	4	87
		19.6%	1.3%	12.5%	1.8%	38.8%
						25.9%



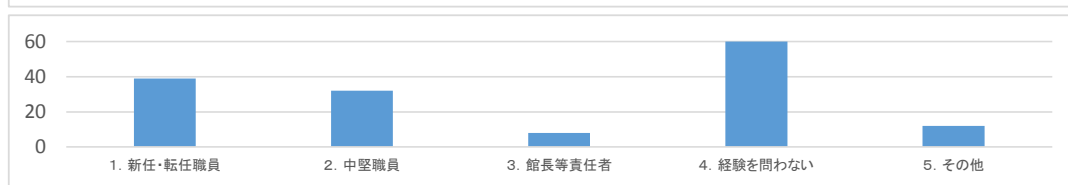
■d)属性

計	1. 正規職員のみ	2. 非常勤職員等含む	3. 委託・派遣職員等含む	4. ボランティア含む	5. その他
都道府県図	223	6	45	119	25
		2.7%	20.2%	53.4%	11.2%
					12.6%



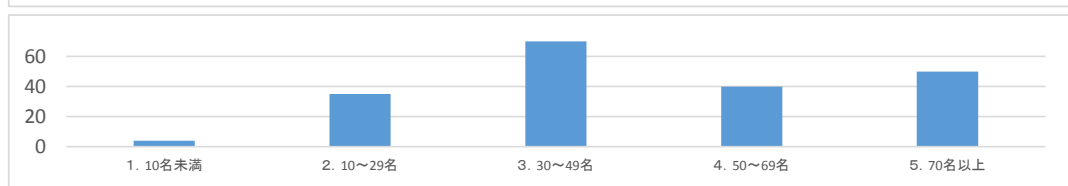
■e)経験

計	1. 新任・転任職員	2. 中堅職員	3. 館長等責任者	4. 経験を問わない	5. その他
都道府県図	224	39	32	8	133
		17.4%	14.3%	3.6%	59.4%
					5.4%



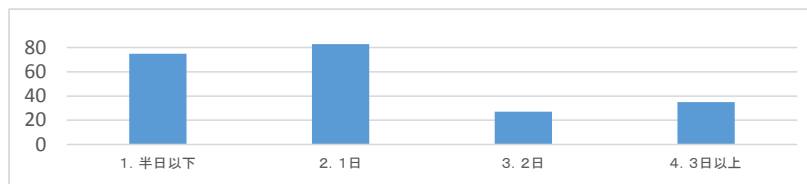
■f)定員

計	1. 10名未満	2. 10~29名	3. 30~49名	4. 50~69名	5. 70名以上
都道府県図	202	4	35	73	40
		2.0%	17.3%	36.1%	19.8%
					24.8%



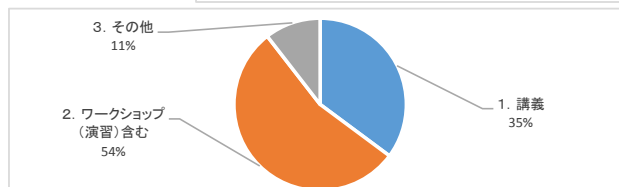
■g)実施日数

計	1. 半日以下	2. 1日	3. 2日	4. 3日以上	
都道府県図	220	75	83	27	35
		34.1%	37.7%	12.3%	15.9%



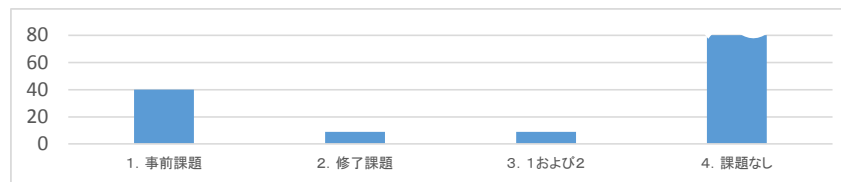
■h)形式

計	1. 講義	2. ワークショップ(演習)含む	3. その他	
都道府県図	219	77	119	23
		35.2%	54.3%	10.5%



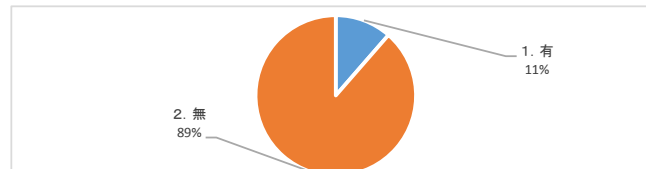
■i)課題の有無

計	1. 事前課題	2. 修了課題	3. 1および2	4. 課題なし	
都道府県図	217	40	9	9	159
		18.4%	4.1%	4.1%	73.3%



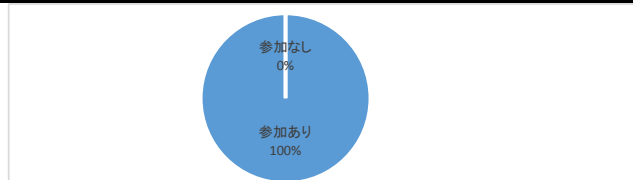
■j)修了証の有無

計	1. 有	2. 無	
都道府県図	219	25	194
		11.4%	88.6%



■研修への参加状況

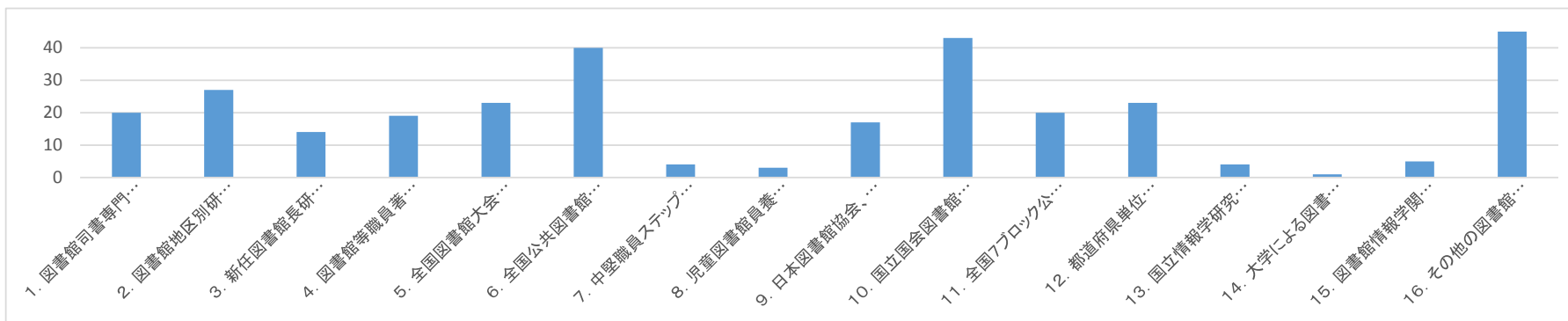
計	参加あり	参加なし
都道府県図	39	0
	100.0%	0.0%



【問2】貴館図書館職員が平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)中に参加された館外の研修についてお尋ねします。

■a) 研修番号

計	1. 図書館司書専門講座(文部科学省・国立教育政策研究所)	2. 図書館地区別研修(文部科学省・各ブロック担当館)	3. 新任図書館長研修(文部科学省・各ブロック担当館)	4. 図書館等職員著作権実務講習会(文化庁)	5. 全国図書館大会(日本図書館協会等)	6. 全国公共図書館研究会(日本図書館協会等)	7. 中堅職員ステップアップ研修(日本図書館協会)	8. 児童図書館員養成講座(日本図書館協会)	9. 日本図書館協会、同委員会で 行う研修・研究会	10. 国立国会図書館の 研修・講座	11. 全国7ブロック公共図書館協議会主催の 研修等	12. 都道府県単位(県レベルの図書館協議会・教育委員会・県立図書館)の 図書館関係研修等	13. 国立情報学研究所図書館関係 研修等	14. 大学による図書館関係 研修・講座等	15. 図書館情報学関係 研究団体の 研究会等	16. その他 の図書館 連の研修・ 講座等	
都道府県図	308	20	27	14	19	23	40	4	3	17	43	20	23	4	1	5	45
		6.5%	8.8%	4.5%	6.2%	7.5%	13.0%	1.3%	1.0%	5.5%	14.0%	6.5%	7.5%	1.3%	0.3%	1.6%	14.6%



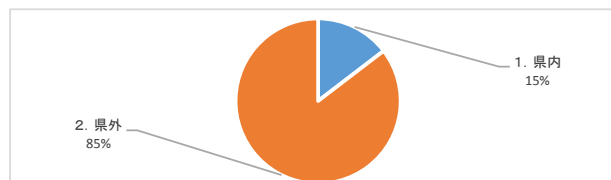
■b)参加者の属性

計	1. 正規職員のみ	2. 非常勤職員等含む	3. 委託・派遣職員等含む	4. ボランティア含む	5. その他
都道府県図	309	287	19	2	0
	92.9%	6.1%	0.6%	0.0%	0.3%



■c)開催地

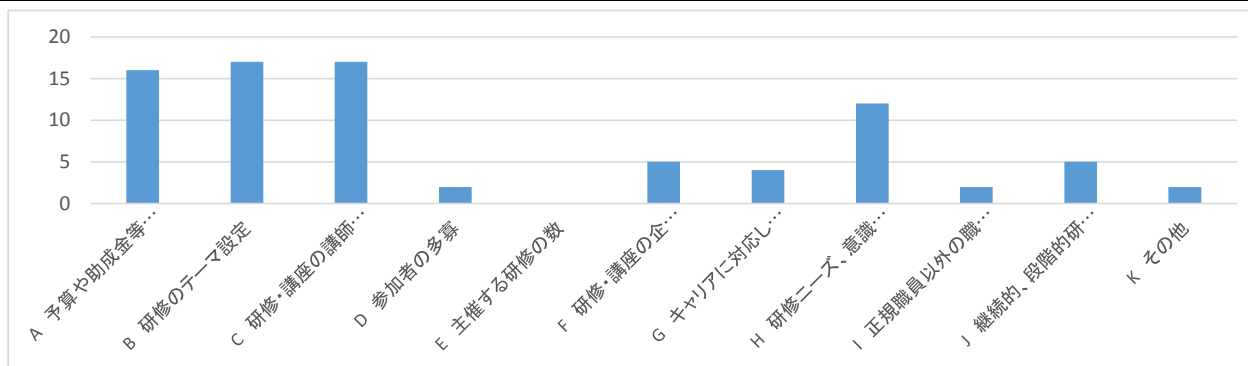
計	1. 県内	2. 県外
都道府県図	308	263
	14.6%	85.4%



【問3】研修の実施または参加についての課題についてお尋ねします。

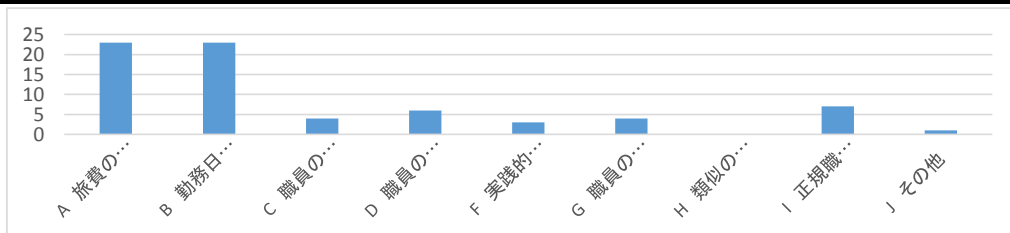
(1) 研修を企画、実施する際に課題となっていることについて教えてください。特に課題となっている項目3つまで選択してください。

計	A 予算や助成金等の確保	B 研修のテーマ設定	C 研修・講座の講師の選定	D 参加者の多寡	E 主催する研修の数	F 研修・講座の企画・準備・実施のための時間確保	G キャリアに対応した研修体系	H 研修ニーズ、意識の把握	I 正規職員以外の職員に対する研修方針	J 継続的、段階的の計画	K その他
都道府県図	82	16	17	17	2	0	5	4	12	2	5
	19.5%	20.7%	20.7%	2.4%	0.0%	6.1%	4.9%	14.6%	2.4%	6.1%	2.4%



(2)職員が研修・講座に参加する際に課題となっていることについて教えてください。特に課題となっている項目3つまで選択してください。

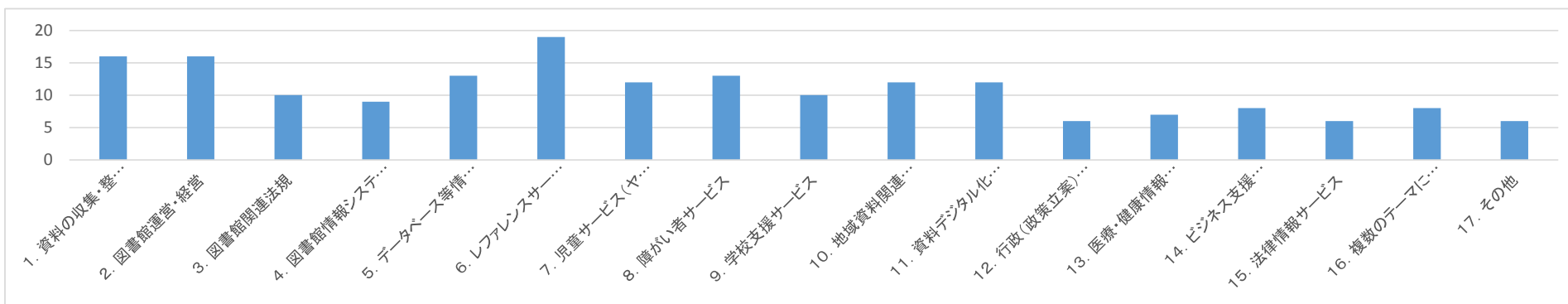
計	A 旅費の確保	B 勤務日の日程調整、シフト勤務の調整	C 職員の異動による研修成果の業務への反映	D 職員の意識	F 実践的に役立つ研修であるかどうかわかりにくい	G 職員のスキル・レベルに合うかどうかわかりにくい	H 類似のテーマが重なる	I 正規職員以外の職員 J その他の参加	J その他の参加
都道府県図	71 32.4%	23 32.4%	4 5.6%	6 8.5%	3 4.2%	4 5.6%	0 0.0%	7 9.9%	1 1.4%



**【問4】貴館が今後必要とお考えの研修について、お尋ねします。**

■a) 研修の内容

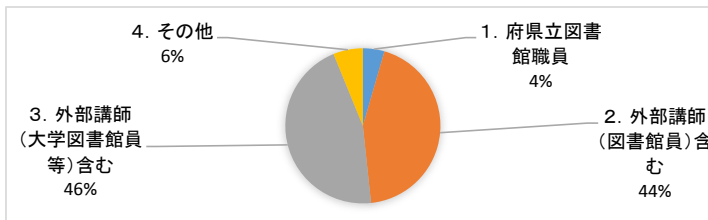
計	1. 資料の収集・整理・保存	2. 図書館運営・経営	3. 図書館関連法規	4. 図書館情報システム関係	5. データベース等情報検索技術	6. レファレンスサービス	7. 児童サービス(ヤングアダルトサービス含む)	8. 障がい者サービス	9. 学校支援サービス	10. 地域資料関連サービス	11. 資料デジタル化関連	12. 行政(政策立案)支援サービス	13. 医療・健康情報サービス	14. ビジネス支援サービス	15. 法律情報サービス	16. 複数のテーマにわたる研修	17. その他
都道府県図	118 13.6%	16 13.6%	16 8.5%	10 7.6%	9 11.0%	13 16.1%	19 10.2%	12 11.0%	13 8.5%	10 10.2%	12 10.2%	6 5.1%	7 5.9%	8 6.8%	6 5.1%	8 6.8%	6 5.1%





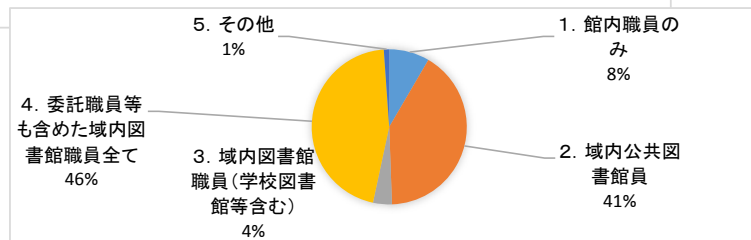
■b)研修の講師

計	1. 府県立図書館職員	2. 外部講師(図書館員)含む	3. 外部講師(大学図書館員等)含む	4. その他
都道府県図	178	8	78	81
		4.5%	43.8%	45.5%
				6.2%



■c)参加対象者

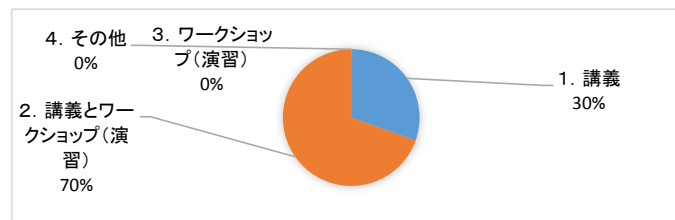
計	1. 館内職員のみ	2. 域内公共図書館員	3. 域内図書館職員(学校図書館等含む)	4. 委託職員等も含めた域内図書館職員全て	5. その他
都道府県図	178	15	73	7	81
		8.4%	41.0%	3.9%	45.5%
					1.1%



■e)形式

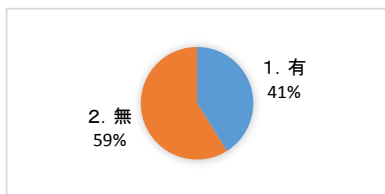
計	1. 講義	2. 講義とワークショップ(演習)	3. ワークショップ(演習)	4. その他
都道府県図	174	53	121	0
		30.5%	69.5%	0.0%
				0.0%

※未定と回答した館あり



■f) 課題の有無

計	1. 有	2. 無
都道府県図	129	53
		41.1%
		58.9%



**【問5】貴図書館職員の講師派遣や研究活動についてお尋ねします。**

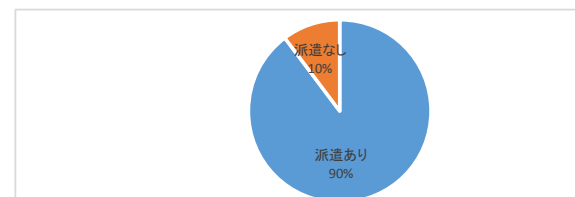
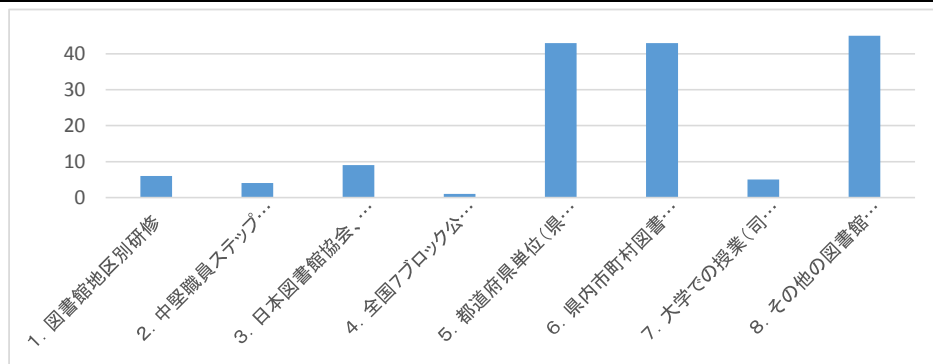
(1)平成20年度以降、図書館関連の研修や講座の講師として貴館職員を派遣したことがありますか。

計	派遣あり	派遣なし	無回答	
都道府県図	39	35	4	0
	89.7%	10.3%	0.0%	

(2)派遣したと回答された館に伺います。派遣した研修について教えてください。

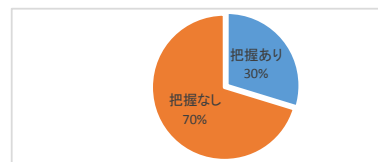
■a)派遣番号

計	1. 図書館地区別研修	2. 中堅職員ステップアップ研修(日本図書館協会)	3. 日本図書館協会、同委員会で行う研修・研究集会	4. 全国7ブロック公共図書館協議会主催の研修等	5. 都道府県単位(県レベル)の図書館協議(議)会・教育委員会・県立図書館)の図書館関係研修等	6. 県内市町村図書館向け研修	7. 大学での授業(司書課程)	8. その他の図書館関連の研修・講座等	
都道府県図	163	6	4	9	1	43	43	5	52
		3.7%	2.5%	5.5%	0.6%	26.4%	26.4%	3.1%	31.9%



(3) 現在、職員の研究活動、研究発表状況について把握されていますか。

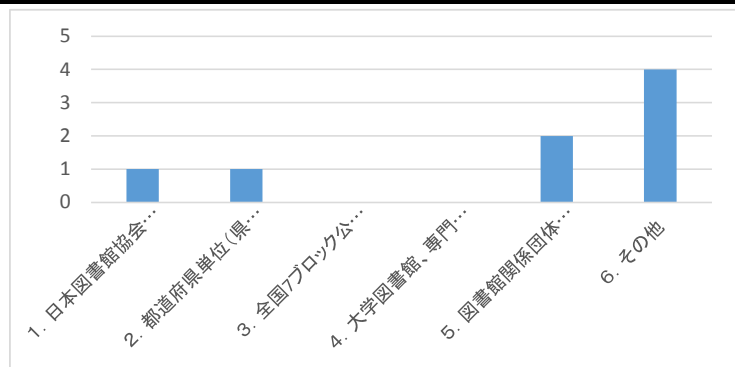
計	把握あり	把握なし	無回答
都道府県図	39	11	26
	28.2%	66.7%	5.1%



(4) 把握していると回答された館に伺います。研究活動・発表については、どんなものがありますか。

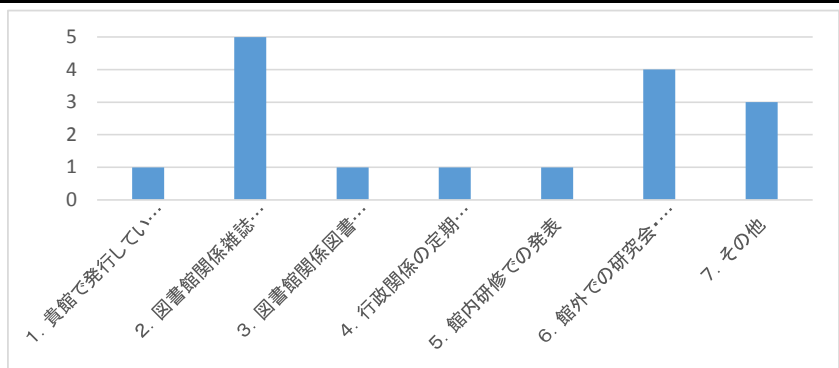
a) 研究活動番号

計	1. 日本図書館協会の研究委員会	2. 都道府県単位(県レベルの図書館協(議)会・教育委員会・県立図書館)等の研究会	3. 全国7ブロック公共図書館協議会の研究会	4. 大学図書館、専門図書館関係の研究会	5. 図書館関係団体による研究会	6. その他
都道府県図	8	1	1	0	0	2
	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%



b)研究発表番号

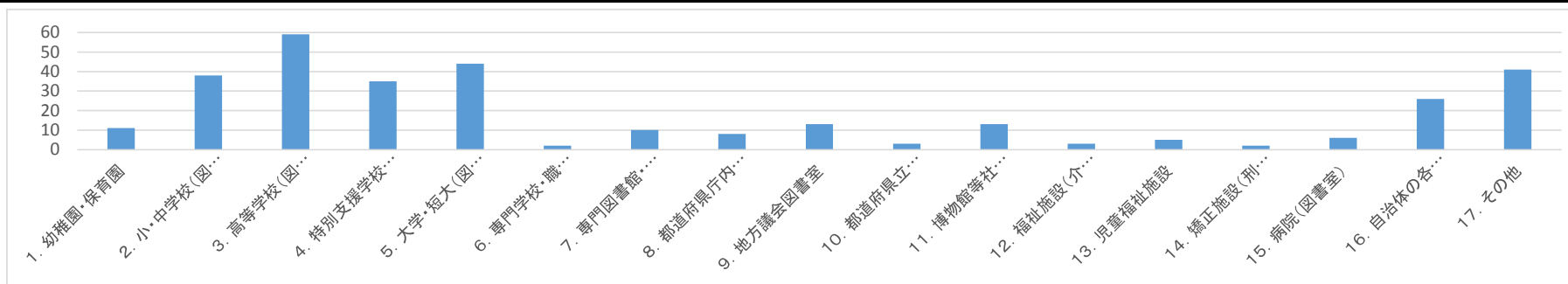
計	1. 貴館で発行している「紀要」等研究報告集への投稿	2. 図書館関係雑誌など定期刊行物への投稿	3. 図書館関係図書への執筆	4. 行政関係の定期刊行物や図書への投稿	5. 館内研修での発表	6. 館外での研究会・研修会での発表	7. その他	
都道府県図	16	1	5	1	1	1	4	3
		6.3%	31.3%	6.3%	6.3%	6.3%	25.0%	18.8%



【問6】貴館にて実施されている図書館、学校および関係団体との連携事業についてお尋ねします。

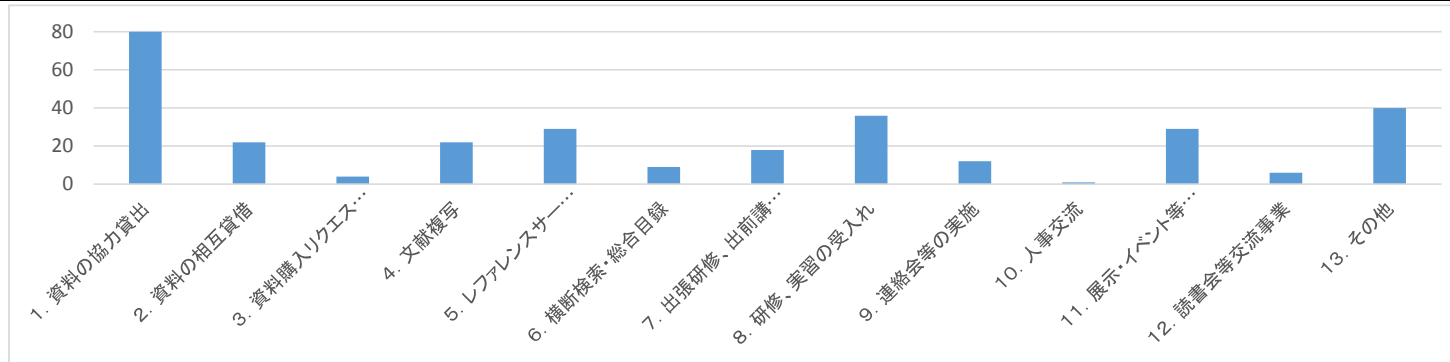
■a)連携先

計	1. 幼稚園・保育園	2. 小・中学校(図書館)	3. 高等学校(図書館)	4. 特別支援学校(図書館)	5. 大学・短大(図書館)	6. 専門学校・職業学校	7. 専門図書館・資料室等	8. 都道府県庁内図書室、行政資料室	9. 地方議会図書室	10. 都道府県立公文書館・地域資料センター等	11. 博物館等社会教育・生涯学習機関	12. 福祉施設(介護施設等)	13. 児童福祉施設	14. 矯正施設(刑務所・少年院等)	15. 病院(図書室)	16. 自治体の各部局・各施設	17. その他	
都道府県図	220	11	38	59	35	44	2	10	8	13	3	13	3	5	2	6	26	41
		5.0%	17.3%	26.8%	15.9%	20.0%	0.9%	4.5%	3.6%	5.9%	1.4%	5.9%	1.4%	2.3%	0.9%	2.7%	11.8%	18.6%



■b)実施内容

計	1. 資料の協力貸出	2. 資料の相互貸借	3. 資料購入リクエストの受付	4. 文献複写	5. レファレンスサービス	6. 横断検索・総合目録	7. 出張研修、出前講座等	8. 研修、実習の受入れ	9. 連絡会等の実施	10. 人事交流	11. 展示・イベント等の共催・後援等	12. 読書会等交流事業	13. その他	
都道府県図	236	84	22	4	22	29	9	18	36	12	1	29	6	40
	35.6%	9.3%	1.7%	9.3%	12.3%	3.8%	7.6%	15.3%	5.1%	0.4%	12.3%	2.5%	16.9%	



# 大阪府立中之島図書館棟札(旧称大阪図書館)に記された 現場係木内真太郎とドーム天窓 (写真1) について

ステンドグラス工房 我羅

金田 美世 博士(工学)

はじめに

『中之島百年—大阪府立図書館のあゆみ』(1) 281 頁に「“棟札の発見” 1998 (平成 10) 年 9 月、正面玄関天井の変状調査を実施中に調査員が、天井の下地枠上に埃をかぶった中之島図書館創建当時の棟札を発見した」とある(写真 2)。発見された棟札は、翌年 5 月 13 日付で国の重要文化財に追加指定されている。棟札は、檜材で作られ外形寸法、高さ 1488 mm、幅 362 mm、厚さ 34 mm の尖塔型、五角形である。

続いて「施主住友吉左衛門の名に加えて、工事顧問として辰野金吾(2)、技師長野口孫市(3)、技師日高胖、現場主任久保田小三郎……」とあるが、現場係員および棟札裏面についての記載はされていない。棟札の下段に記された木内真太郎と役職の現場係は、今まで語られることがなかったが筆者の論文から注目されることとなった。

筆者の研究テーマである「日本の近代建築ステンドグラス」の諸資料の中に大阪図書館建築工事に関する木内真太郎の文章が記されていた。筆者は、近代における代表的なステンドグラス製作者、および「宇野澤組ステインド硝子製作所」(4)の創立者の一人である木内真太郎が、遺した資料(以下、木内家資料)を調査研究しており、1907(明治 40)年から大正時代末までの木内の業績を論文等で報告をしている(5)。

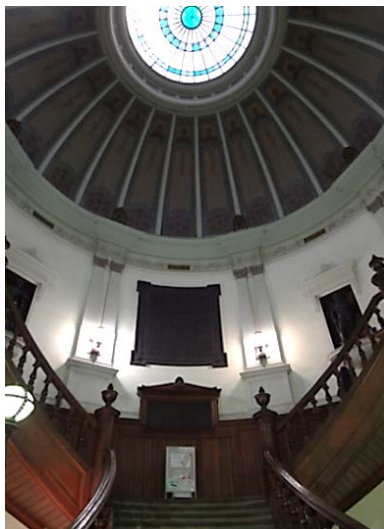


写真1 中央ドーム 天窓



写真2 大阪図書館棟札 表裏面

長い間、日本のステンドグラスに関する資料の多くは、関東大震災および戦災等で焼失したと思われていたが、幸いなことに木内家資料は、木内真太郎により戦災時に大阪市内から大阪府大東市に疎開をして残されてきた。

大阪図書館建築現場にて野口孫市と木内真太郎の出会いがあり、野口との関わりが、日本のステンドグラス製作工場創始者と木内に結び付き、木内の活躍が、日本近代建築におけるステンドグラスの発展に繋がった。その経緯は様々な木内家資料に残されていた。

本稿は拙稿(5)と木内家資料をもとに、発見された創建当時の棟札、および詳細不明であった中央階段上部ドーム天窗ステンドグラスの新たな情報を記していく。

## 1. 木内真太郎について

木内真太郎は、岐阜県羽島市・旧石田村出身の尾張藩士、後藤助七の長男として、1880(明治13)年8月22日に大阪で生まれた。父親は、1875(明治8)年大阪安治川の廻船業、四代目木内喜兵衛の養子となり、五代目木内喜兵衛として廻船業・貿易業・毛布製造業を営んでいた大阪の事業家であった。1886(明治19)年6歳、木内は、東成郡公立玉造小学校に入学するも馴染めず通わなかった。木内は、鯉坐橋、白髪橋、土佐稲荷境内等を遊び場として過ごし、勉学は土佐稲荷神社神官等に中庸や漢書(素読)を習った。

1889(明治22)年9歳、大阪市西区西長堀4丁目143番地に転居。1890(明治23)年10歳、木内は淡路町藤澤南岳主宰泊園書院(6)に当時、最年少で入塾し漢学を学ぶ。

1891(明治24)年11歳、父親の知人、旧薩摩藩出身で日本銀行に務めていた東京日本橋蛸壳町に住む中山尚之介(7)の元に預けられ、日本橋の久松尋常高等小学校に通う。中山家の生活は、夫妻と幼い子供二人、お手伝い二人に歳上の書生と木内であった。尚之介の



写真3 明治34年日本生命本館上棟式

下段左木内真太郎、右上山本鑑之進

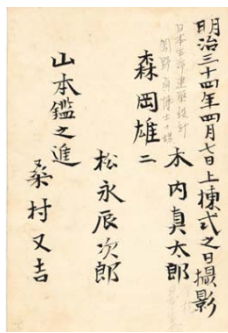


写真4 同3の裏面

木内自筆

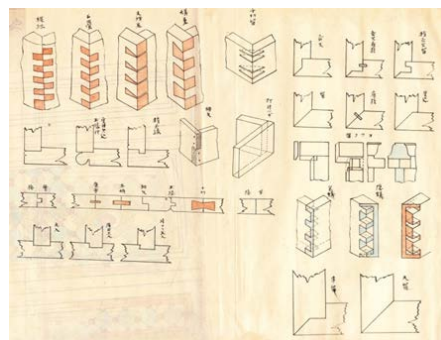


図1 製図練習

大阪商工学校時代か

妻、富子からは武家のしつけと教養を習い、出入りの旧薩摩藩士からは「天地正大気」「日本外史」「唐詩撰」等を教わった。木内は「人生の自立をここで学んだ」と手記に記し漢学塾にも通った。また木内は、漢詩を詠むのを得意とし、生涯多くの漢詩を書き残している。明治 40～41 年頃、木内は、葵橋にあった白馬会洋画研究所(8)に通い、絵画を学んでいた。画友岸田劉生の銀座にあった自宅を訪ねた思い出、および宇野澤辰雄から依頼され制作した神田の教会のステンドグラスは劉生の絵ではないかと懐かしむ気持ちを詠んでいる(9)。

七言絶句 懐劉三生（3種の内3番目） 昭和 41（1966）年 木内作詩

『橋畔聖堂素外觀中兄好求碧与円東面階窓発多彩劉子装意将可看』

1893（明治 26）年 1 月、母の逝去により大阪に戻る。同年、父の事業の失敗から家族離散となる。一人になった木内は、父の知人を頼り船舶を乗り継ぎ北海道の流浪を経て関西に戻り船舶機関長等のボーイに従事した。16 歳になっていた木内は、父親のいる釜山に移り廻船問屋にて働いた。木内は仕事である時は陸路で朝鮮半島内をまわり、ある時には海路で釜山と大阪を往復したという(10)。

1900(明治 33)年 19 歳、木内は徴兵検査のため日本に帰国し、大阪簿記学校へ半期通い商業簿記、会社簿記、工業簿記を習う(11)。同年 9 月、木内は当時日銀名古屋支店長であった中山尚之介に身の振方を相談し、中山の妻の妹、房子(12)の夫である山本鑑之進(13)の働く建築現場の日本生命保険株式会社（以下、日本生命本館）に就職を決めた。

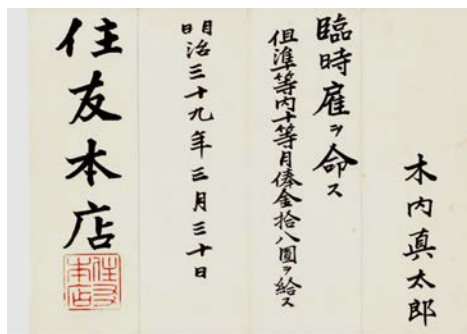


図 2 住友臨時建築部辞令



写真 5 木内の住友入社時か

1901(明治 34)年 3 月 1 日、日本生命本館（中央区今橋、明治 35 年竣工現存せず）に未経験で工事現場係に従事する。この現場は、設計指導・辰野金吾、設計・関野貞(14)、顧問・片岡安(15)であった。筆頭工事係の鑑之進（写真 3）は、身内に等しい木内を監督助手として配下に置いた。木内は、煉瓦積、屋根スレート葺き、塗装工事等を中心とする監督業を基礎から習い、夜間は関野貞の甥、森岡雄二（写真 4）から製図技法の教えを受け昼



夜休むことなく働いたことを〈昔の昔〉に記している(16)。

1902(明治35)年6月21歳、同社本館竣工落成に付き、建築顧問・辰野金吾、技師長・野口孫市、技師・日高胖等が在籍する住友臨時建築部に入社した木内は(写真5)、大阪図書館建築工事現場係に従事した。同年10月、木内は住友に勤める傍らこの年、平賀義美(17)が創立の大阪私立関西商工学校予科(第一回生)に入学し、夜学で建築(図1)を学んだ。翌年7月に修了し、同校本科へ入学するも1904(明治37)年1月病気を理由に中退した。同年2月28日、住友図書館新築落成につき住友を退職し、同年3月5日京都市下京区烏丸通り、第一銀行京都支店建築工事(設計、辰野葛西事務所)の建築係に従事した。

明治38(1905)年1月31日25歳、木内の陸軍手帳によれば、陸軍に補充召集され第二補助輸卒隊二補充兵として清国(中国)へ向かい、翌39(1906)年2月22日帰着し同年3月2日除隊している。木内は、同年3月30日付で再び、住友本店臨時雇い(図2)として再就職した。監督久保田小三郎、施工鴻池組の住友鋳工場の現場に配属され、南区清水町(現大阪市中央区東心斎橋)から通った。

表1 木内真太郎の略歴年表

西暦	年月日	年齢	事柄
1880	明治13年8月22日		大阪の廻船業木内嘉兵衛の養子となった尾州藩士、後藤嘉兵衛の長男として生まれた。
1891	明治24年3月	10歳	父親の知人、日本銀行事務主任、薩摩藩士中山尚之介宅に奇遇。
1893	明治26年	13歳	母親危篤(その後逝去)のため帰省。
	～		父親破産。父の知人の廻船業者を頼り一人北海道を流浪。
			関西に戻り船舶のボーイに従事。
1896	明治29年	16歳	父親の住む釜山に居を移す。
	～		廻船業に従事し日本を行き来する。釜山の小学校(夜間3年)に通い朝鮮語を習得。
1900	明治33年3月	19歳	徴兵検査のため帰国、大阪簿記学校入学。
	～		商業簿記、会社簿記、工業簿記を半年間学ぶ。
1901	明治34年3月1日	20歳	中山征之介の関係から、日本生命大阪本社新築工事、山本鑑之進筆頭工事係の工事現場係に従事。 (設計指導辰野金吾、設計関野貞、顧問片岡安)
1902	明治35年4月	21歳	同工事新築竣工に付き解雇。
	明治35年6月		住友臨時建築部、住友図書館(大阪府立中央図書館)建築工事現場係に従事。 (野口孫市設計、日高胖、久保田小三郎現場主任、石材は伴俣)
	明治35年10月		大阪市立関西商工学校予科 <sup>注1</sup> (夜学)第1期生入学。
1903	明治36年7月	22歳	同校予科終了、本科病気にて退学。
1904	明治37年2月28日	23歳	大阪図書館(現大阪府立中之島図書館)新築落成にて住友臨時建築部退職。
	明治37年3月5日		第一銀行京都支店建築工事建築係に従事、辰野金吾は毎月1回来場。 (設計辰野、葛西事務所、現場は桑村竹三郎と木内の2名、請負は京都清水組)
1905	明治38年1月	24歳	同行京都支店、軍隊徴集のため解雇。
	明治38年1月	24歳	陸軍第二補助輸送隊補充兵として清国へ。
1906	明治39年3月2日	25歳	帰国後除隊。
	明治39年3月30日	25歳	住友臨時建築部へ再就職、久保田小三郎現場監督の住友鋳鋼所の建築現場に従事。
1907	明治40年3月	26歳	野口孫市の勧めでステンドグラスの道へ。宇野澤辰雄の工房、東京芝区新銭座に居住。
	～		これ以降、木内の業績は別章にて。
1908	明治41年	27歳	菱橋白馬会に入会し岸田劉生等と絵を学ぶ。
1912	大正元年10月	32歳	宇野澤組ステインド硝子製作所を東京東京市芝区廣町にて別府七郎と設立、山本鑑之進の出資あり。
1913	大正3年12月	34歳	宇野澤組ステインド硝子製作所大阪出張所開設、大阪市南区末吉橋通にて。
1922	大正11年	42歳	宇野澤組ステインド硝子製作所終焉、大阪市南区天王寺南河掘町にて 瑠光社に名前を改める。
1942	昭和17年	62歳	大阪府大東市寺川5丁目に色ガラス類、道具類、デザイン画、資料等、家族とともに疎開。
1968	昭和43年11月18日	88歳	孫の木内保英に技術を伝え2代目瑠光社を託し逝去

注1: 月日が判明の場合は満年齢を記し、不明の場合はその年を満たすものと仮定し満年齢を記す。

明治 40 (1907) 年 3 月末、木内は建築現場係からステンドグラスの職へ移る。以後、木内のステンドグラスの業績は、表 3 を参考。なお木内真太郎の業績とは木内自身がデザイン、制作したものだけでなく、木内が組織の代表として請負って製作、統括したと考えられる作品を含めている。

## 2. 山本鑑之進、宇野澤 (山本) 辰雄について

木内と同居であった玲光社(18)二代目(故)木内保英(19)の妻は、生前の木内から、「鑑之進さんには足を向けて寝られない」と鑑之進の逸話を再三聞いている。鑑之進は建築業界へ自分を頼って来た木内を、公私ともに面倒をみていたことが木内家資料から分かる。以下、鑑之進については、山本秀雄著(20)『源流をたずねて』を主に参考にした。



写真 6 山本鑑之進



写真 7 宇野澤辰雄

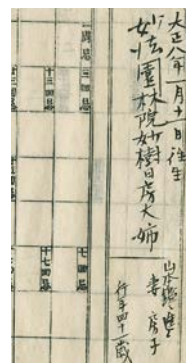


図 3 木内家過去帳

1864 (元治元) 年 1 月に阿部藩留守居役山本晴次の次男として江戸に生まれた鑑之進は(写真 6)、維新後に阿部藩事業の一環として誠之小学校建設、区画整理といった西片町(21)の街づくりに携わった父晴次を手伝い、その経験から建築に興味を持った。築地工手学校(現工学院大学)に入学し、1889 (明治 22) 年に卒業(一期生)した。翌年 26 歳の鑑之進は工手学校時代の恩師辰野金吾によって、日本銀行本店新築工事の工事主任(主人)を任せられた。当時の日銀建築部(22)には、後に事務主任を高橋是清から引き継ぐ中山尚之介が在籍していた。1896 (明治 29) 年、鑑之進は中山の妻の妹、房子と結婚し、さらに同年辰野の指示によって他の弟子達と共に、関西での仕事に従事する。

明治 35 年 5 月鑑之進は住友臨時建築部に入部する。明治 44 (1911) 年、鑑之進は所属していた住友臨時建築部を辰野が辞するのを契機として一緒に辞め、請負として独立し、「山本鑑之進工務店」として多くの建築に携わった。

晩年は 1919 (大正 8) 年 1 月妻、房子を亡くし同年末、病に倒れ翌年秋にはすべての業

務を整理して、鑑之進のもとで働いていた藤木正一（藤木工務店創始者）に後を託し引退した。療養先は鎌倉の中山尚之介別邸であった。関東大震災で罹災した後、高田馬場の中山尚之介宅隣地に居を構え、1924(大正13)年11月に生涯を終えた(享年61)(23)。

中山尚之介を介して繋がる山本鑑之進と木内の関係は強く、真太郎は木内家の江戸期から連なる過去帳(図3)に鑑之進の妻、房子(24)を載せ吊っている。身内同然の人間関係が形成されていたことが推測できる。

鑑之進の実弟、宇野澤(山本)辰雄(写真7)は1867(慶応3)年、父晴次の三男として江戸に生まれた。1882(明治15)年、東京職工学校(現東京工業大学)の機械科を第一期生として卒業。1886(明治19)年、バックマン貸費生としてステンドグラスおよびエッチング技術習得のためドイツ留学し、1890(明治23)年1月帰国した。辰雄は日本初のステンドグラス製作所を開設したが、時節が悪く多忙な仕事には至らず明治32(1899)年には、「宇野澤組織工所」(25)を創設して機械製造業も始めた。明治40(1907)年頃からステンドグラスの仕事が増え始め木内らの活躍も始まるが、妻を早くに亡くしたこともあり、1911(明治44)年6月辰雄は鎌倉にて病氣療養の後、逝去(享年44)した。



図4 〈出納帳〉

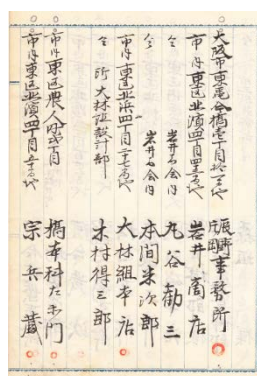


図5 〈姓名帳〉

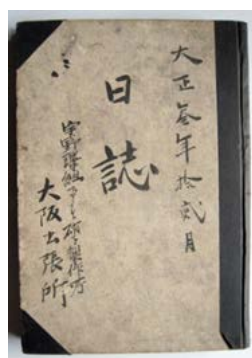


図6 〈日誌〉

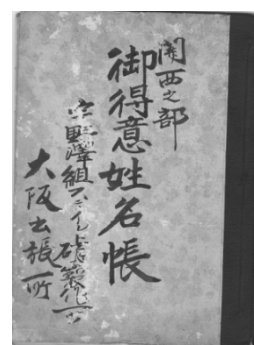


図7 〈姓名帳〉



図8 A4サイズに仮置きの小さなデザイン画類



図9 (図4~9木内家資料) 図8と同様

### 3. 木内家資料の書誌

木内家資料一覧(表2)に表した木内家資料とは、すべて木内真太郎が残した資料である。表紙を付けて製本され、年月日を記して一日ずつ細かい事項が書き記された〈日誌〉〈出納帳〉のような資料もあれば、一つずつの作品のデザインが記された図面やデザイン画の類もある。前者が正確な情報を記した一次資料であることは、その内容を詳細に分析した拙稿(26)にて明らかとなっている。後者は、同時に記されている年月日、建築名、寸法値および但し書きなどの筆跡が木内自身のものであること、宇野澤組や玲光社の印が押されている物があること、さらに使われている紙質や図の体裁などの一致により、木内自身が関わった一連の制作品についての資料であると判断できる。

木内家資料は、『日誌』(図6)(以下〈日誌〉)、『関西之部 御得意姓名帳』(図5、7)(以下〈姓名帳〉)、『金銭出納帳(抜粋)』(図4)(以下〈出納帳〉)、9.『自己記 感想』(以下感想)、10.『昔の昔』(以下昔の昔)、11. デザイン画、型紙、図面等(以下デザイン)等である。なお、残された木内家資料は、主に関西の部であり、あったであろう関東の部は、木内の経営が関東と分離したことに加え、関東大震災および戦災もありほとんど残されていない。

表2 木内家資料一覧

資料名	記載内容	作成時期	サイズ 縦×横 mm	記号
1 『日誌』	宇野澤組ステインド硝子 製作所大阪出張所	大正3年12月1日 —大正5年12月27日	231×160	〈日誌〉
2 『本支間製作品出入帳』	宇野澤組ステインド硝子 製作所大阪出張所	大正4年6月14日 —大正5年1月25日	232×160	〈出入帳〉
3 『小口金銭出納簿』	宇野澤組ステインド硝子 製作所大阪出張所	大正3年12月1日 —大正4年7月31日	233×160	〈出納簿〉
4 『製作原料品受拂簿』	宇野澤組ステインド硝子 製作所大阪出張所	大正3年12月1日 —大正4年8月17日	233×160	〈受払簿〉
5 『関西之部 御得意姓名帳』	宇野澤組ステインド硝子 製作所大阪出張所	(大正3年12月1日—)	233×160	〈姓名帳〉
6 『(資本金原簿)』	—	大正7年1月4日 —大正12年4月	333×225	〈原簿〉
7 『仕譯日記簿』	—	大正7年1月4日 —昭和2年2月5日	333×225	〈仕訳簿〉
8 『金銭出納帳(抜粋)』	—	大正5, 8, 9, 10, 12-15年 昭和3, 5年の一部	333×210, 264×198	〈出納帳〉
9 『自己記 感想』	右記期間の日記および それ以前の断片的記録	昭和38年2月5日 —昭和38年4月30日		〈感想〉
10 『昔ノ昔』	明治13年—明治38年の 記録	(昭和)38年4月20日—		〈昔ノ昔〉
11 デザイン画・型紙、図面等	実寸型紙、デザイン画を 整理したスクラップ帳4 冊、その他、千点以上	—		〈デザイン〉 〈型紙〉 〈図〉
12 メモ、写真、カタログ等	木内自筆メモ、製作品写 真、パンフレット、カタ ログ他	—		〈その他〉

本文中のサイズは(縦×横、単位はmm)を基本とする

#### 4. 大阪図書館 〈昔の昔〉(27)から

##### 4-1) 住友へ

明治 35 (1902) 年 21 歳、最初の現場である日本生命本館新築工事が竣成し木内は、2か所の工事現場から職を選ぶことが出来た。〈昔の昔〉には「先達皆様のご厚情で行き先が二か所御座いました。(中略) 一つ片岡安博士の建築事務所設計、三十四銀行新築、今一つ(中略) 住友家より寄贈の、現存外部総石造である何れに参りましても結構であります。(中略) 私は図書館に就職することに極めました ママ」と記され、また「銀行とは違った美的が多くあると知ったためと全部石造というのも経見(筆者注、経験)を得られるのでママ」と綴り木内の大阪図書館新築現場への志望動機が雇用条件ではなく、美的な感性と石造技術習得であったことが推測できる。

木内は、廻船業から建築業に移り始めて体験した監督の仕事および製図作業から、建築に強い興味と魅力を感じていた。〈昔の昔〉に「石造に銀行と違う美的を感じる」と記したことに集約されるであろう。さらに住友臨時建築部に入部当時の〈自己記〉には「現場主



写真8 明治 35、36 (1902 または 1903) 年頃か 住友臨時建築部 (木内家資料) 前列左から 3 人 目野口孫市、4 人目日高胖、中列左から 2 人目 中野愛之助、3 人目山本鑑之進、4 人目森岡雄二、後 列右から 3 人目木内真太郎

任は元百三十七銀行（筆者注記、百三十銀行）の主任で阿る久保田小三郎(28)さん 石材担当は大阪停車場石造の関係で阿る伴倬さん 鉄材は佐藤節雄さん 煉瓦は中野愛之助さん で、其外ニ会計山田建一さん 木材は主任自らと云ふ事ニな里升が石を除く外は全員の監督で阿る 住友臨時建築部ニ約四十名務めて居り時に転任の人も出来ます 須磨住友別邸又銀行地方支店など数あ里升ので技手陣の入替も出来ます 最後の一人迄居りましたのは私で時ニ主任久保田さんが見廻りニ来ル事になった ママ」とある。木内の記述から現場係の内容を以下にまとめてみた。

現場主任 —— 久保田小三郎（木材兼任）  
石材担当 —— 伴 倬（大阪停車場石造現場）  
鉄材担当 —— 佐藤節雄  
煉瓦担当 —— 中野愛之助  
会計掛 —— 山田達一

石を除く他は全員で監督をしたと記されているところから、木内は経験がまだ浅く主任および担当ではない。すべてをこなす現場係員であった。

記載部分を読み下せば「外部の石裏になる内部には、煉瓦を以て積あげられ、壁厚に尺三寸五分、煉瓦に致しまして三枚壁で有ります。内部の中心部丸型も同様であります、四隅は五枚厚さ四尺の処も有ります。石の積み重ねは二箇所に丸穴を掘り、五寸の時二分の丸ボルトを用い硫黄を以てうずめ、重ね合せに鉛を加えて目地の平均を見ることになり、煉瓦との取り合わせにはトンボ付き引き金物を使用します。石の積み重なる部分をならしおなじ高さ迄煉瓦積をいたし、建物に廻り積をいたします。石には一個ごとに番号が記してありまして図面と照合されますので石の定席は分かりやすい。私が参りました時は、一階廻り鉄物嵌込みの窓廻り、すなわち大島石の処は北を除いて出来て居りました」と克明に記憶を記している。木内は前任の職場である日本生命大阪本館において現場係として全ての現場監督業を体得しており石材、ペンキ塗り、煉瓦積み等のほとんどの作業工程を克明に同資料に記している。大阪図書館現場には1階の石組の途中から入っているが、現場および人間関係等の環境は木内の穏やかな性格もあって恵まれていたようだ。

さらに読み下しを続けて「茲も真に居心持ちよい現場で一同和気あいあいとして仕事は完成しました。ここでは石に関する研究が出来ました。彫刻も構内に陣取って毎日行われ

で見廻りされます。内部造作は日本生命本館と同様である。ドーム建築の構造が少し違うだけである。」と記している。他にも建築現場の手筈、工程が図入りで生き生きと記され、その当時の工事形態の詳細が分かる。

写真 8 は建物の左手入口に掲げられた看板に、住友臨時建築部事務所と記載され、中之島の住友本店構内の木造建物に建築の事務所があったのが分かる。事務所前の集合写真は、これまでの研究では年代不詳とされている。しかし木内家資料にある当時の各種写真を見比べると、木内の着物姿と顔の幼さから住友臨時建築部に入部したての明治 35、6 年頃と推測できる。

#### 4-2) 建設現場の出来事

木内は手記に「大阪図書館現場で 3 回厄難に遇った」とも書いている。読み下してみると「第一回は現場 2、3 階の処で煉瓦積ドーム廻り監目中、石工と煉瓦工の喧嘩が発生致したので、引分の仲裁に立回りましたときに踏み外して落ちたのです。地面迄 22 尺あります。途中で足場丸太につかまり助かりました。腕を強く打ちましたが軽い怪我で済みました。第二回目、北側中央窓の下地上に居りましたときに、石工の過ちで楯石約 170 貫を二階窓より落としました（その石は）足場丸太のそとへでました。本当に危機一髪でありました。私の左の肩と一寸位の離れでありました。冷や汗三斗の思いをいたしました。第三回目は三十六年の十月ドーム銅葺屋根に雨漏れの個所がありましたので調べに屋上に上りました。雨中全裸で一時間以上立ち廻り三か所程場所を調べて降りました。（中略～筆者注記、身体の異変を感じ）十六日阪大の市村医師（筆者注、市川）(29)の自宅へ参り診

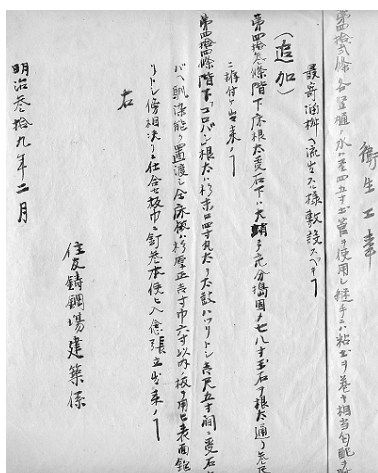


図 10 明治 39 年住友鑄鋼場木工上新築仕様書

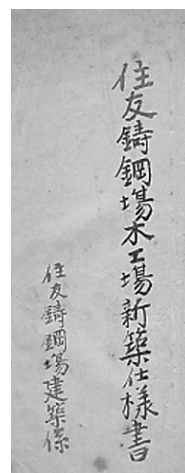


図 11 同仕様書表書き

察を受けましたところ、病原は腸チフスで既に手遅れと診断された。その十月十七日は祭日であり病院には当直医がいましたが、住友技師長野口博士のお友達でありました桃山病院院長増山正信さん(30)が野口技師長のお取り計らいで午後一時頃来院され特別の手当保護を受け後、出血が止まりました。(～中略、療養後現場に戻って) 其様な訳で私一人が図書館にただ一人留守居して居ましたのです。犬走り廻りの石を据付けたり鎖を張ったり内部便所の水漏れを直したり諸々のよごれを除いたりして過ごした。他日、阪大の市村博士(筆者注、市川)は桃山病院院長に就任されましたが腸チフスに罹られて天上された。生命は全く神の手のものと思われます(略～) 桃山病院入院の時野口技師長と増山博士との交流が無かったとしたらこれが人生の運命というのでしょうか」と伝染病の過酷さを述べ、木内は自分の運命の流れに感謝をしている。

病後の体調が万全でなかった木内は、大阪図書館竣工後の引き渡しまで一人で現場保守をした。掃除、片付け、保守等の体力を必要としない軽作業が妥当と住友から擁護されていたようだ。腸チフスに罹ったことが、木内真太郎履歴書(図 13)に記載された「大阪私立関西商工学校本科の中退」理由であった。

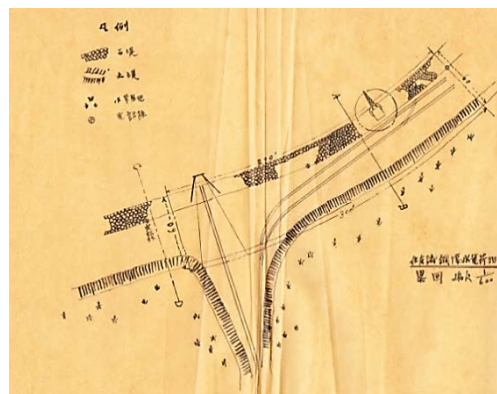
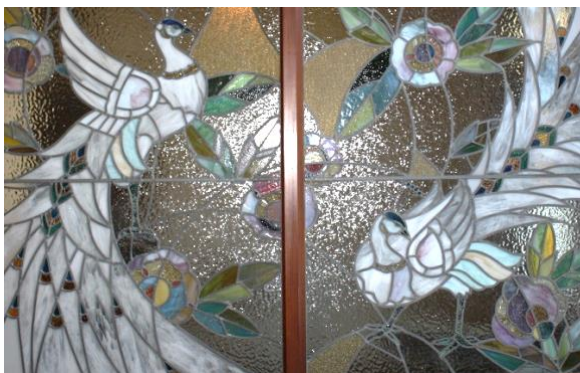


写真 9 鴻池本店玄関横、引き違い窓ステンドグラス 図 12 木内真太郎作図(住友鑄鋼場水運荷物図面)

### 3) 現場主任の久保田小三郎

1896(明治 29)年竣工、辰野金吾設計、日本銀行本店現場には、鑑之進に加えて久保田小三郎も建築技師として日本銀行建築部名簿抜粋(31)に記載がある。久保田は工手学校(第 3 回卒)にて鑑之進の後輩(32)であり、鑑之進と同じく辰野の建築物に多く関わった。久保田は木内より 2, 3 か月早く、明治 35(1902)年 2 月に住友臨時建築部に入部した。

1906(明治 39)年、住友関連工事である、住友鑄鋼場島屋町移転工事(図 10~11)では、久保田が現場主任そして木内が現場係であった。木内家資料には木内真太郎が描いた住友



鑄鋼場(図 12)の製図(33)が 5 枚ある。木内の住友における最後の建築業現場としての図面は長く手元において置きたかったのであろう。この種の図面資料はこれのみが残っている。

その後、明治末から大正 3 年にかけて久保田は大阪伝法町の鴻池本邸(34)を設計し、木内は同邸に金彩の社章紋入りステンドグラスやアールヌーボーのデザインが入ったステンドグラスを制作している(写真 9)。

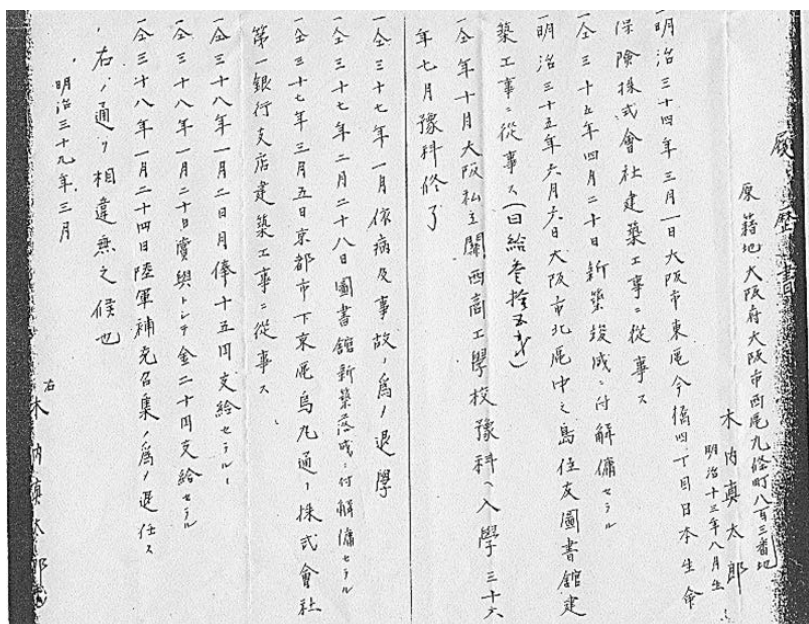


図 13 明治 39 年木内自筆履歴書(35)住友臨時建築部(鑄鋼場)再就職時(木内家資料)

#### 4-4) 野口孫市との関わり(36)

1894(明治 27)年、野口は帝国大学造家学科を成績優秀で卒業後、大学院に進み耐震家屋の研究をしている。卒業後は逓信省を経て明治 32(1899)年住友に入り、翌年、住友臨時建築部が設けられ技師長となる。住友の近代建築を担う役割を背負う野口は、住友から 1 年間の欧米視察の機会が与えられた。成果は大阪図書館および同時期に設計の住友須磨別邸(明治 37 年竣工)において如実に現れ高い評価を得ている。

野口の欧米視察時の資料は、少なく詳細不明な部分が多い。しかし木内家資料から前述した野口のドイツでの友人、増山正信桃山病院長のドイツ留学時期(37)について調べた結果、野口の欧米外遊の時期と合致するドイツの都市があった。ベルリンである。野口はドイツのベルリンにおいて、建築に関する情報を得る目的で滞在中、医学を研究していた増山氏と交友をもったと推測する。

明治 40 (1907) 年、26 歳の木内は、住友で働きながら夜間の専門学校で建築も学んだ。現場では石造建築の石組手法に芸術性を感じ、製図作業もこなした。徐々に監督業に喜びを覚え業務に精通し始めた時期、野口から聞かされた転業の薦めは青天の霹靂であったろう。木内の手記〈感想〉(38)には「住友技師長野口博士のお話によって今日も継続してきます装飾硝子を将来の仕事とする為に東京に転じた ママ」とあり、同年 3 月末から宇野澤辰雄のもとへ転職したことを淡々と記している。

当時、野口はステンドグラス需要の将来図を木内に示されたに違いない。辰野金吾、山本鑑之進等の多くの建築家が関西に事務所を設けた時期である。関東のみならず、彼らの設計した近代建築物にはステンドグラスが嵌め込まれる機会が増え始めていった。実際、木内が転業した翌年、ステンドグラス関連資料は残っていないが、野口の設計した須磨の鶴崎平三郎邸にステンドグラスが嵌め込まれている。その他にも野口はステンドグラスを嵌め込んだ建築を設計している。また野口の逝去後、部下の日高胖が設計した住友本邸(39)を始めとする住友家の諸建築に、木内がステンドグラス作品を制作したことが、新出の資料から明らかとなった。木内が住友臨時建築部から転職以後、野口、日高らとステンドグラス制作で絡んだことを鑑みれば、転職を勧めるにあたり、野口は木内へのステンドグラスの発注を約束していたとも考えられる。

その後、木内の関わったステンドグラス作品は、表 3 に示した。

## 5. ドーム天窓について

本稿執筆調査から新たな情報を入手した。住友臨時建築部創成期、建築顧問辰野金吾、技師長野口孫市等を配した時期の須磨別邸、大阪図書館建設工事に際しての支出項目の中に、下記のような硝子に関する記述(40)が認められた。

明治 37 年 2 月 6 日／「硝子板廿壹枚 森川清之助」／16.990 (円)

同 年 2 月 20 日／「丸型硝子外売点 島田硝子製造所」／15.500 (円)

大阪図書館においてのステンドグラス項目は見当たらず、棟札にある森川清之助と新出の島田硝子製造所(41)のガラスに関する支出を確認できた。

ドーム天窓(写真 10)の形態は銅製金物をドーム躯体(42)中心から釣る形状であり、天窓硝子を通して透かし見ることが出来る。島田硝子製造所の丸型硝子は、ドーム天窓中心の透明に近い薄青緑ガラスを指していると思われる。ガラスが設置してある天窓円形金枠は、同心円を 5 個描き 24 本の半径ラインが傘の骨のように中心円に向かう。ドームの裾に

つながる重要な要素だ。ドームから見る天窓は太陽にも思われ、時を刻むかのようにも感じる。外周から1、2本目同心円の間には、青色濃淡ガラスを配し、24の各間には丸型を置いている。少しの間を置き3、4本目間にも同様青色濃淡ガラスを使用し、ドーム二重屋根持送硝子棧は銅製で忍冬紋風な唐草模様を造形したステンドグラス(43)である。鉛線(棧)に半田付けを施してガラスを繋ぐ方法ではない。

博物館明治村聖ザビエル天守堂(44)のステンドグラスも鉛棧の使用はなく、鋳鉄の枠に色ガラスを嵌め込みしパテ止め施工である。当館と同様に模様の焼付技法はなく、白色の亜鉛華顔料をガラスに付着の様式である。(写真11)。

一方、大阪図書館と同時期に建設が進められた住友須磨別邸に関し、下記のような記述がある(45)。

明治35年12月8日／「ステント硝子四枚 宇野沢辰雄」／71.950(円)

住友須磨別邸ステンドグラスに宇野沢辰雄が制作をしていたことが明らかとなった。この記述から、辰雄が宇野沢組鐵工所(46)の設立後もポンプ製作とステンド硝子製作の両方を営んでいたことが判明した。同じく須磨建設物起業支出中の山本鑑之進の出張費に関し、鑑之進が12月6・7日に須磨に出張していることがわかり、兄弟が行動を共にした可能性もある。住友臨時建築部所属の鑑之進は中之島の事務所近くの現場に所属し、大阪図書館に顔を出すこともあったであろう。天窓ステンドグラスの構築に辰雄は意見を求められたことも推測される。しかしながら同資料には、宇野沢辰雄の記述は見当たらず天窓ステンドグラス製作の関与はない。棟札に名が載るガラス職、森川清之助(写真1)に、明治35年国産板硝子の製造を始めた島田硝子製造所の島田孫市の「丸ガラス納入」が確認できた。

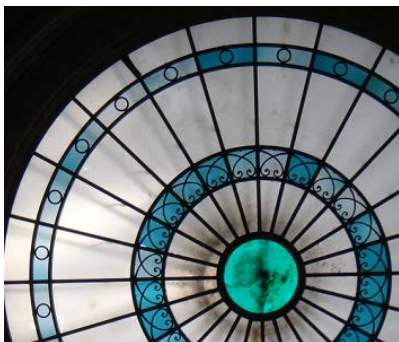


写真10 ドーム天窓中心青ガラス



写真11 ザビエル天守堂 絵付けステンドグラス

## 6. まとめ

大阪府立図書館（大阪図書館）創建当時の棟札が、1998年に天井下地枠上から見つかった。その棟札に名が書かれた現場係木内真太郎は、日本近代建築のステンドグラス製作に関わった制作者であることが明らかとなった。また大阪府立図書館の美しい天井ドームのステンドグラスに木内真太郎および日本のステンドグラスの祖、宇野澤辰雄も関わっていない。調査から日本で型板ガラス製造を創始した島田孫市の関与が判明した。

住友臨時建築部技師長、野口孫市設計の大阪図書館建築現場は、木内真太郎が現場係として野口と出会い、野口の薦めで木内は、住友から装飾硝子に転職をした思いで深い現場であった。そして木内真太郎は後世に多くの作品を残した。例えば大阪公会堂のように現在、修復保存されて我々が見学可能な近代建築物に木内の作品が数多残る。

## 謝辞

本稿の研究を進めるにあたり木内家資料をご提示下さった玲光社三代目木内英樹氏、また聞き取り調査に何度も応じてくださいました二代目（故）保英氏妻カオルさん、閲覧、複写等のご協力をいただいた住友資料館職員の皆様、ご助言を下さった同館副館長末岡輝啓氏、名古屋工業大学大学院教授河田克博氏、岐阜工業高等専門学校准教授清水隆宏氏、名古屋大学名誉教授飯田喜四郎氏、多大なご協力を頂いた大阪府立中之島図書館員本多まつ氏、大北智子氏、小笠原弘之氏ほか図書館職員の皆様、また調査に快く接していただきました関係各所の皆様に深く謝意を表します。

## 参考文献

- (A) 『中之島百年—大阪府立図書館のあゆみ』大阪府立中之島図書館百周年記念事業実行委員会 2004.
- (B) 金田美世, 清水隆宏, 西尾雅敏, 河田克博. 宇野澤組ステインド硝子製作所の設立と終焉 : 木内真太郎の関与を中心として 『日本建築学会計画系論文集』 2010. 5, 第 651 号, p. 1241-1246.
- (C) 金田美世, 清水隆宏, 河田克博. 「近代建築ステンドグラス制作者木内真太郎の業績 : 木内真太郎の関連資料を中心として」『日本建築学会計画系論文集』2013. 4, 第 686 号, p. 915~924.
- (D) 山本秀雄. 『源流をたずねて』 株式会社藤木工務店 平成 2 年 5 月.
- (E) 内田青蔵. 『建築工藝叢誌』復刻版 第一巻～第六巻, 柏書房, 2006.
- (F) 『大阪市立桃山病院 100 年史』 1987, 大阪市立桃山病院編
- (G) 小西隆夫. 『北浜五丁目十三番地まで日建設計の系譜』株式会社日建設計, 1991.
- (H) 坂本勝比古. 『日本の建築』「明治・大正・昭和」5 商都のデザイン三省堂, 1980.

- (I) 石田潤一郎. 『関西の近代建築』中央公論美術出版 平成8年11月15日
- (J) 古屋照治郎. 『近畿医家列伝 前編』大阪史伝会, 1902, p 二百二十～p 二百二十三
- (k) 野口英一朗. 島田孫市のガラス製造について 『日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸)』2002.8.
- (L) 宇野澤組鐵工所社史編纂委員会. 『ウノサワ 100年の歩み』宇野澤組鐵工所, 1999.

—執筆にあたり以下の文献を参考にした—

『鴻池社史(株鴻池組)』 社史編集委員会(株鴻池組) 社史編集委員会 昭和61年12月20日

『藤木工務店の五十年の歩み』(株藤木工務店 昭和45年11月21日

『明治工業史 建築編』 工學會 工學會明治工業史発行所 1930年

山本秀雄. 建築と人間の織り成す歴史と文化 『歴史に学ぶ』(株藤木工務店 平成9年11月22日

#### 注記

- (1) 参考文献(A) 参照。本稿では大阪中之島図書館を木内家資料の呼称大阪図書館を使用。
- (2) 1854(嘉永7)年生まれ。工部大学校(現、東大工学部)教授。造家学会(現、日本建築学会)設立。作品に日本銀行本店、東京駅等。
- (3) 後述。4-4)住友家の住友吉左衛門が大阪市へ寄付をする為の図書館設計の任務を受けた。東京帝国大学造家学科卒。
- (4) 日本で最初に ステインド 硝子製作工場を設立した宇野澤辰雄の後継者木内真太郎、および別府七郎が大正元年、東京芝区廣町に創立したステンドグラス製作工場。なお「ステインド 硝子」の使用は資料に従った。ステンドグラス 制作 と同 製作 の区別は、木内に限り、木内が作品制作をしたと考えられるときは「制作」とし、組織の代表としての作品製作は「製作」と分けた。
- (5) 参考文献(B)(C)参照。
- (6) 漢学塾、木内は一番年少の塾生であり寄宿生であった。南岳と寝食をともにした寄宿生活を〈昔の昔〉に記す。
- (7) 参考文献(D) 13頁に日本銀行建築部名簿(抜粋)高橋是清と共に事務主任とある。
- (8) 明治時代後期に存在した、黒田清輝らを中心とする洋画研究機関。
- (9) 『岸田劉生』武者小路実篤著 小山書店昭和23年発行。p 167に白馬会研究所、数寄屋橋にあった教会の記述あり。
- (10) 〈昔ノ昔〉(表2)〈10〉参照。木内の手記。釜山での木内は交易業に従事し、朝鮮語の習得のために小学校夜間部に全修養3年間通った。卒業時には2人だけであった。
- (11) 木内により記載された、宇野澤組ステインド硝子製作所の各種帳簿が木内家資料には残されている。

- (12) 房子は中山家に寄寓していた木内を覚えていた。手記〈昔の昔〉より。
- (13) 後述。2.
- (14) 1867（慶応3）年生まれ。東京帝国大学造家学科卒。日本生命本館を設計、後、母校の教官となる。
- (15) 片岡直温日本生命本館副社長の養子。明治30年、東京帝国大学造家学科卒。
- (16) 〈昔ノ昔〉に「四六時中現場、此四百坪の地内より一步も外に出ません。仕事に熱中するだけである。（中略）また大切な製図の練習の為に夜間三更に及ぶ事も毎度」との記述が見られる。この時期に木内が描いた日本生命本館の建築図面も、木内家資料には多数含まれている。
- (17) 東京帝国大学出身の化学者。工学博士。
- (18) 1922（大正11）年 木内は、宇野澤組ステインド硝子製作所から「玲光社」に名称変更した。  
木内は疎開し居住した大東市で逝去した。現在、曾孫が玲光社三代目を継いでいる。
- (19) 木内の孫、木内の一人娘富佐江の子。
- (20) 参考文献（D）参照。著者は山本鑑之進の一人息子、山本 <sup>いち</sup> の次男。
- (21) 現在の東京都文京区西片。
- (22) 参考文献（D）より。また、日本銀行提供の資料によると、中山の入行は明治23年1月、退職は明治38年6月である。
- (23) 参考文献（D）および、中山尚之介の孫、尚彦氏への聞き取りによる。
- (24) 木内家永代過去帳。文化6年（1806）元祖木内喜兵衛甥昭和20年2月16日（1945）娘婿の戦没まで139年間の記録。真太郎の代の縁者以外は房子一人のみ記載。
- (25) 芝区新銭座にあったステインド硝子工場、宇野澤組鐵工場共に、宇野澤家の戸籍簿によれば、宇野澤家所有の土地であった。
- (26) 参考文献（B）（C）参照。
- (27) 筆者の読み下し、および簡易な文章は（ママ）でそのまま載せた。
- (28) 後述。（4-3）
- (29) 大阪桃山病院第4代院長。在任中、腸チフスにて死去。参考文献（F）参照。
- (30) 増山正信（1868～1942）医学博士、明治30年（1897）～同33年（1900）ベルリン大学留学『大阪人名事料辞典』1913 文明社編纂参考。明治33年11月桃山病院第3代院長就任。参考文献（F）参照。
- (31) 参考文献（D）13頁に「日本銀行建築部名簿」（抜粋）に技手と記載。
- (32) 『工手学校同窓会名簿』（1993）p225.
- (33) 15トン起重機組立平面図他に3枚図面有。

- (34) 足立裕司、吉田正三らによる一連の研究がある。例えば、足立他、明治末期における新しい建築造形の動向についての一考察（旧鴻池組本店の調査研究 その1）『日本建築学会近畿支部研究報告集』昭和63年所収など。これらの中で、ステンドグラスについては「改装時に木内が製作したものと考えられる」と指摘している。
- (35) 鴻池組関係者より送付のコピー。オリジナルは住友資料館所蔵。
- (36) 参考文献（H）（I）を参考にした。
- (37) 参考文献（J）p 二百二十～二百二十三 「増山正信君」の項。フランクフルト、伯林等野口の欧米遊学と同時期の留学記録がある。
- (38) 表2 木内家資料一覧。
- (39) 表3 業績 参照。
- (40) 明治37年上半期住友本店会計課「元帳甲」図書館建設物起業支出の項（住友史料館収蔵史料）。
- (41) 参考文献（K）参照。
- (42) 写真10から透けてみる事が出来る。参考文献（G）p85 図書館仕様書鋼鉄工事 39条にドーム小屋組は鋼鉄製とある。同42条 p86 にドーム二重屋根の詳細仕様がある。
- (43) ステンドグラスの一般的な概念から鉛線（棧）およびカラフルな色ガラスの使用が無い当図書館は、ステンドグラスと厳密に言わないのではないかな…等、館内案内説明に捕捉。
- (44) パリ外国宣教会が1890（明治23）年京都に建造し聖フランシスコ・ザビエルに奉献した聖堂。1973（明治48）年博物館明治村に移築した。筆者が修復作業に関わった。
- (45) 「明治35年下半期住友本店会計課「元帳甲」須磨建設物起業支出の項（住友史料館収蔵史料）」。
- (46) 参考文献（L）参照。

表3 木内真太郎 主な関西の業績(抜粋)

制作または資料記載年	建物名	施工地	設計等	施工、取次等
明治40年	1907 神戸オリエンタルホテル	神戸	ゲオルク・デ・ラランデ	直営
明治41年	1908 村野山人邸	神戸	設楽貞雄	—
明治42年	1909 トーマス邸	神戸	ゲオルク・デ・ラランデ	—
明治42年	1909 村井吉兵衛邸	京都	ガーディナー建築事務所	—
明治42年	1909 奈良ホテル	奈良	辰野片岡事務所、河合浩蔵	辰野片岡事務所直営
明治44年	1911 (芝川邸)	兵庫	武田五一	—
大正元年	1912 愛国生命保険会社三階会議室	大阪	河合浩蔵	—
大正元年	1912 大浜潮湯	堺	辰野片岡事務所	—
大正2年	1913 噴泉浴場(新世界)	大阪	設楽建築工務所	大林組
大正3年	1914 三井銀行京都支店	京都	鈴木禎次、星野則保	竹中工務店
大正3年	1914 鴻池組本店	大阪	久保田小三郎	鴻池組
大正3年	1914 須磨遊園地	兵庫	—	—
大正3年	1914 神戸銀行集会所	神戸	辰野片岡事務所	竹中工務店
大正4年	1915 柴田邸	神戸	—	—
大正4年	1915 河盛勘次郎邸	堺	—	—
大正4年	1915 四十三銀行	和歌山	辰野片岡事務所	—
大正4年	1915 京都駅(交集天窓、便殿室衝立)	京都	西部鉄道管理局工務課(渡辺節)	大林組
大正4年	1915 都ホテル菱殿	京都	片岡安	山本鑑之進
大正4年	1915 片岡直温邸	伏見	片岡安	—
大正4年	1915 近江銀行	大阪	辰野片岡事務所	—
大正4年	1915 大阪商船会社	神戸	—	—
大正4年	1915 鈴木馬左也邸	神戸	—	—
大正4年	1915 神戸劇場	神戸	—	—
大正4年	1915 京都ホテル	京都	—	—
(大正4年)	(1915) (舞子ホテル洋館)	神戸	—	—
大正5年	1916 川島織物	京都	—	—
大正5年	1916 加賀邸	京都府	—	—
大正5年	1916 久原房之助邸、天井	神戸	久原建築事務所	—
大正5年	1916 三井銀行神戸支店	神戸	長野宇平治	竹中工務店
大正5年	1916 内田信也邸	神戸	宗兵蔵	—
大正5年	1916 緒方邸	大阪	—	—
大正5年	1916 住友須磨別邸(修理)	神戸	住友営繕課(住友臨時建築部)	—
大正5年	1916 東洋紡績	大阪	辰野片岡事務所	清水組
大正7年	1918 日本商業銀行	神戸	設楽建築工務所	竹中工務店
大正7年	1918 兵庫農工銀行	神戸	設楽建築工務所、武田五一	竹中工務店
大正7年	1918 日本郵船神戸支店	神戸	曾禰達蔵、中條精一郎、徳大寺彬麿	橋本料左衛門
大正7年	1918 京都住友(鹿ヶ谷別邸)	京都	住友営繕課(日高胖)	八木甚兵衛
大正7年	1918 四本萬二郎邸	神戸	—	—
大正7年	1918 大阪市公会堂	大阪	辰野金吾、片岡安、岡田信一郎	清水組
大正7年	1918 湯浅竹之助邸	神戸	—	—
大正7年	1918 千浦友七邸	神戸	宗兵蔵	—
大正7年	1919 十合呉服店3階	大阪	竹中工務店	竹中工務店
大正7年	1918 日本郵船大阪支店	大阪	曾禰達蔵、中條精一郎、徳大寺彬麿	大林組
大正8年	1919 内田汽船会社	神戸	設楽貞雄	鴻池組
大正8年	1919 内田支配人邸	須磨	—	鴻池組
大正8年	1919 横浜正金銀行神戸支店	神戸	長野宇平治	竹中工務店
大正8年	1919 平賀義美邸(鶴の荘)	川西	鴻池組松本	鴻池組
大正8年	1919 静商店(北浜)	大阪	—	浜商店取次
大正8年	1919 京都辻邸	京都	—	京都大丸呉服店
大正8年	1919 村越邸	大阪	—	浅野商店取次
大正8年	1919 大阪市民博物館	大阪	原設計:久留正道	—
大正9年	1920 西尾類蔵邸	神戸	設楽建築事務所	旗手組
大正9年	1920 神戸海洋气象台	神戸	渡辺節	竹中工務店
(大正10年)	1921 岸本邸	芦屋	—	—
大正10年	1921 大阪市庁舎	大阪	大阪市庁舎臨時建築部(片岡安、他)	銭高組、鴻池組
大正10年	1921 (日高胖邸)	宝塚	日高胖	—
大正11年	1922 (住宅改造博覧会第6号)	箕面	薄井英隆(日本建築協会)	—
大正11年	1922 (同 片岡建築事務所)	箕面	片岡建築事務所	—
大正11年	1922 (同 横河工務所)	箕面	横河工務所	—
大正11年	1922 新町演舞場	大阪	片岡建築事務所	—
大正12年	1923 大原孫三郎邸	大阪	内藤太郎	藤木工務店
大正12年	1923 谷口房蔵邸	大阪府	担当:和田貞次郎	—
大正13年	1924 三木楽器店	大阪	増田清、本野精吾(音楽室)	鴻池組
大正13年	1924 都ホテル(新本館)	京都	片岡安	藤木工務店
大正14年	1925 住友本邸(田辺貞吉邸)	神戸	野口孫市、日高胖	—
大正14年	1925 (草鹿邸)	宝塚	小笠原鋳	—
大正14年	1925 小倉捨次郎邸	神戸	笹川慎一	藤木工務店
大正15年	1926 住友ビルディング	大阪	住友工作部	大林組
大正15年	1926 宮崎弥七郎邸	西宮	笹川慎一	藤木工務店

\* 金田美世・清水隆宏・河田克博著「近代建築ステンドグラス制作者木内真太郎の業績—木内真太郎の関連資料を中心として—」(『日本建築学会計画系論文集』Vol.78 No.686 pp.915~924)より近畿圏を抜粋して作成、その後の研究で新たに判明した事項及び訂正部分を書き加えた。

\* ( )は著者推定。

\* 年代は、ステンドグラスの制作またはその関連事項が資料で確認できる年であり、建物の竣工年と異なることがある。

\* 制作品とは木内自身がデザインを担当した、または加工したものだけでなく、木内(の属する組織)が請負って制作したと考えられる作品すべてのこと。\* 根拠資料は『日誌』『本支間制作品出入帳』『小口金銭出納帳』『制作原作品受払簿』『関西之部 御得意姓名簿』『資本金原簿』『仕譯日記簿』『金銭出納帳(抜粋)』『実寸デザイン(型紙)、縮尺デザイン、手記、竣工パンフレット、感謝状など。また木内家資料の詳細も記したものもある。



大阪府立図書館1世紀からの新たな歩み 年表でたどる10年の軌跡

西暦 (元号)	大阪府立中之島図書館のできごと	大阪府立中央図書館のできごと	大阪府・大阪の図書館	日本の図書館のあゆみ
2004 (平成16)	<p>2. 開館百周年記念式典を開催</p> <p>2. 百周年記念「この街と100年 大阪府立中之島図書館～写真と資料で振り返る～」展示</p> <p>2. 百周年記念誌『中之島百年－大阪府立図書館のあゆみ』刊行</p> <p>4. ビジネス支援サービスを開始（「一般資料室」「よみものコーナー」を廃止、「ビジネス資料室」「デジタル情報室」「新聞室」からなる「ビジネス支援室」を設置）</p> <p>4. 別館にサテライト大学院（神戸大学・関西大学）開講</p> <p>4. ビジネス支援サービスを開始</p> <p>6. 百周年記念事業「住友春翠からの贈物」展示</p> <p>7. 百周年記念 正面玄関&amp;記念室オープン</p> <p>7. 百周年記念事業「住友春翠と住友家の蔵書」講演会</p> <p>7. 第1回ビジネスセミナー（以後毎年開催）</p> <p>10. 百周年記念事業「大和銀文庫」展示</p> <p>11. 百周年記念事業「大和銀文庫の収蔵資料について」「大坂川魚問屋文書から近世大坂を考える」講演会</p>	<p>2. 盲ろう者向けIT講習会（H16/2からH26/2まで毎年実施）</p> <p>3. 「大阪府マルチメディア・モデル図書館展開事業」終了（以後一部を「大阪府マルチメディア・モデル図書館成果継承事業」として継続）</p> <p>4. デジタル画像「フランス百科全書」をWeb公開</p> <p>7. IT講習会（一般利用者向けにH18まで毎年開催）</p> <p>8. 視覚障がい者向けIT講習会（H13以後毎年開催）</p> <p>9. 貸出・返却カウンターを1階小説読物室に集約（こども資料室は除く）</p> <p>10. 韓国図書館協会代表団来館</p>	<p>5. 吹田市立千里山・佐井寺図書館開館</p> <p>11. 高槻市立阿武山図書館開館</p> <p>11. 第52回大阪公共図書館大会（於：和泉シティプラザ）テーマ「公共図書館におけるビジネス支援」</p> <p>12. 柏原市立国分図書館開館</p>	<p>1. 国立国会図書館、レファレンス協同データベース・システムの運用開始</p> <p>10. 国立国会図書館東京本館新装開館</p> <p>11. 第90回全国図書館大会を開催（高松）大会テーマ「瀬戸内の風にのせて、未来へ発信-情報の泉・図書館を考える」</p>
2005 (平成17)	<p>2. 百周年記念事業「善本百選展」展示</p> <p>3. 百周年記念事業「善本百選と近世浪華文芸史」「都市大阪の100年と中之島図書館」講演会</p> <p>4. 課名変更 一般資料課をビジネス支援課 大阪資料課を大阪資料・古典籍課</p> <p>5. 携帯対応版ホームページ運用開始</p> <p>7. 図書館情報システム更新 Web複写、携帯対応版Web-OPAC、英語版Web-OPAC、Web-OPACの多言語対応開始</p> <p>8. 百周年記念事業「古典講座-古典籍をあなたの身近に～中之島図書館へ遊学」</p> <p>8. 中之島図書館百周年記念事業 ビジネス基礎講座</p> <p>9. 中之島メールマガジン発行（以後毎月第1・3水曜日に発行）</p> <p>10. 館内OPACからの予約サービス、e-mailによる連絡サービス開始</p> <p>10. 「からくりの宇宙とその周縁-なにわ・からくり事始」展</p>	<p>2. 久野収図書収蔵記念展および記念講演会「久野先生からの贈り物」（天野祐吉氏）</p> <p>4. 中平正子、第6代館長に就任</p>	<p>4. 堺市立東図書館開館</p> <p>4. 枚方市立中央図書館建替開館</p> <p>5. 大阪市立鶴見図書館建替開館</p> <p>5. 大阪市立西淀川図書館建替開館</p>	<p>1. 文部科学省、「社会教育施設における指定管理者制度の適用について」発表</p> <p>8. 日本図書館協会「日本目録規則 1987年版改訂2版追加および修正」発行</p> <p>9. 日本図書館協会、第1回図書館政策セミナー「公立図書館の指定管理者制度」</p> <p>10. 第91回全国図書館大会を開催（水戸）大会テーマ「常陸国（ひたちのくに）から図書館の未来を探る-読書の地から、図書館の力が社会を変える」</p> <p>12. 国立国会図書館、レファレンス協同データベース、一般公開</p>
2006 (平成18)	<p>1. Web(PC・携帯)からの予約サービス開始</p> <p>4. 政策立案支援サービス(Pサポート)開始</p> <p>4. 課名変更 資料情報課を企画情報課</p> <p>4. 鳴澤成泰、第21代館長に就任</p>	<p>4. 開館10周年特別開館DAY 大阪府立中央図書館「10年の歩み」展</p> <p>4. システム変更等のため「インターネットを利用した録音図書ネットワーク配信」を休止</p>	<p>1. 枚方市立中央図書館市駅前サテライト開館</p> <p>1. 第53回大阪公共図書館大会（於：柏原市立国分図書館）テーマ「ほんものの図書館を目指して」</p> <p>4. 大東市立西部図書館開館（府内初の指定管理者制度導入館）</p>	<p>6. 日本図書館協会障害者サービス委員会、「障害者サービス担当職員養成講座（基礎コース）2006」</p> <p>6. 国立国会図書館「カレントアウェアネス・ポータル」の提供開始</p>

西暦 (元号)	大阪府立中之島図書館のできごと	大阪府立中央図書館のできごと	大阪府・大阪の図書館	日本の図書館のあゆみ
	7. レファレンス事例データベースをWeb公開			6. 日本図書館協会「日本目録規則(NCR)1987年版改訂3版刊行
	8. 中之島図書館百周年記念 大阪資料・古典籍講座 9. 中之島図書館百周年記念ビジネス講座「大阪経済の現況と今後-阪急・阪神統合の効果と阪神タイガース-」 9. 大阪府立中之島図書館の利用に関するアンケート(大阪市立大学と共同調査) 10. 「これがおもちゃ絵だ！」展 11. 百周年記念事業「大和銀文庫の収蔵資料について」「大坂川魚問屋文書から近世大坂を考える」講演会 12. 第1回ビジネスサポートフェア in 中之島図書館	7. 分野別情報リンク集をWeb公開 10. 「DAISY録音図書ネットワーク配信サービス」開始(「インターネットを利用した録音図書ネットワーク配信」の後継サービス) 11. 開館10周年特別開館DAY		10. 第92回全国図書館大会を開催(岡山)大会テーマ「晴れの国岡山から未来へ向けて 広げよう図書館の可能性」
2007 (平成19)	2. 文化講演会「大阪と出版-大阪の出版はユニークですか?」「雑誌”辻馬車”と波屋書房の周辺-大阪出版史の一齣-」「三好米吉とは何者か?」 3. 大阪府立中央図書館・大阪府立中之島図書館と公立大学法人大阪府立大学学術情報センター図書館の相互協力に関する協定書締結 4. 協力車等による物流配送先の拡大(大阪府立大学学術情報センター図書館、大阪府立女性総合センター情報ライブラリー) 6. 「俳諧一枚摺」展示 7. 「俳諧一枚摺-挨拶と披露の配り物-」に関連して 講演会 11. 「経営者・ビジネスマンが知っておきたい知的財産権の基礎知識」講演会(大阪府立特許情報センターと共催) 11. 「なにわグルメ百景-食いだおれの街・点描-」展示 12. 「なにわグルメ百景」に関連して講演会	2. 第1回若者ダンスカーニバル開催(以後毎年開催) 3. 「19世紀薬用植物の世界」をWeb公開	1. 第54回大阪公共図書館大会(於:枚方市立中央図書館)テーマ「住民のための図書館サービスを拡げ深めよう 図書館員の専門性を追求し、住民の知る権利を保証しよう」 4. 大阪市立中央・鶴見・東住吉・西成図書館、窓口業務を委託 5. 門真市立図書館門真市民プラザ分館開館	4. 国立国会図書館関西館、電子情報提供サービス開始 5. 国立国会図書館「NDL書誌情報ニュースレター」創刊(紙媒体の「全国書誌通信」は127号(2007.5)で終刊) 10. 国立国会図書館、デジタルアーカイブポータル(PORTA)提供開始 10. 第93回全国図書館大会を開催(東京)大会テーマ「つなげよう未来へ、ひらこう現在を-文化が集まる、情報が集まる、人が集まる」
2008 (平成20)	3. 第2回ビジネスサポートフェア in 中之島図書館 4. 隆琦大我、第22代館長に就任 4. 大阪府、「財政再建プログラム試案資料(公の施設)発表、府立中央・中之島図書館を「集約、多機能化」、国際児童文学館の機能を中央図書館に「移設」と提言 4. 協力車による府城市町村図書館(室)間相互貸借資料の搬送(試行)開始 5. 第1回図書館職員スキルアップ研修(以後随時開催)	1. 大阪府立中央図書館サイエンスカフェ(以後平成22年度まで開催) 3. 『はらっぱ』復刊 4. 岡田重信、第7代館長に就任 4. 手話通訳者配置 5. YA向けWebサイト「YA!YA!YA!べんりやん図書館」開設	1. 第55回大阪公共図書館大会(於:大阪市中央公会堂)テーマ「進化するレファレンス・ツール」 1. 大阪市立住吉図書館建替開館 2. 豊中市立千里図書館建替開館	2. 文部科学省、子ども読書応援プロジェクトの一環として情報サイト「子ども読書の情報館」開設 3. 国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(第二次)」が閣議決定 4. 全国学校図書館協議会「全国学校図書館協議会図書選定基準」改定 6. 図書館法改正を含む「社会教育法等の一部を改正する法律案」(法律第59号)公布・施行

西暦 (元号)	大阪府立中之島図書館のできごと	大阪府立中央図書館のできごと	大阪府・大阪の図書館	日本の図書館のあゆみ
	11. 「近代大阪を代表する日本画家 菅橋彦の典雅な世界」所蔵絵画展 12. 知的財産権セミナー「知的財産活用のための基礎知識 -What is 'Chiteki Zaisan' ?-」(大阪府立特許情報センターと共催) 12. 大阪府、「大阪版市場化テストの新たな対象行の決定について」発表、「府立図書館管理運営業務」が加わる	6. 第1回あなたのおすすめ本のPOP広場募集開始(以後毎年開催) 9. 大阪府立中央図書館メールマガジン創刊 12. 府立高等学校図書室への協力貸出(試行)開始	6. 羽曳野市立青少年センター図書室開室 7. 和泉市南部リージョンセンター図書室開室 11. 岸和田市立旭図書館開館	6. 全国学校図書館協議会、「学校図書館法の一部を改正する法律」公布・施行日を「学校図書館の日」に制定 9. 94回全国図書館大会を開催(神戸)大会テーマ「はばたこう未来の図書館へ-元気な兵庫からの発信」
2009 (平成21)	2. ビジネス講座「後継者がやる経営革新～後継者に告ぐ『早く気付け！早く取組め！』」(大阪府商工会連合会と主催) 5. 大阪府、大阪府立図書館の業務を含む市場化テスト事業提案の公募を開始 7. 無線LANサービス本格実施 9. 大阪府、大阪版市場化テストにより「府立図書館管理運営業務」の一部を平成22年度から民間開放することに決定	3. 国際図書館連盟会長来館 4. 「DAISY録音図書ネットワーク配信サービス」終了 4. 資料展示「石井桃子の世界」 5. 開館しながらの蔵書点検を初めて実施(以後継続) 5. 「スクールサービスデイ」を初めて実施(以後継続)	1. 第56回大阪公共図書館大会(於:大阪市立中央図書館)テーマ「中・高校生への図書館サービスを考えてみませんか」 11. 第57回大阪公共図書館大会(於:大阪市立中央図書館)テーマ「ホームページから広がる図書館サービス」	10. 第95回全国図書館大会を開催(東京)大会テーマ「図書館は力-人・本・情報・まちづくり」
2010 (平成22)	1. Web経由の新サービス開始(マイブックリスト、貸出期限のセルフ延長、読みたい順予約) 1. 「文化遺産としての中之島図書館」特別講演会 3. 新着図書お知らせサービス開始	9. 地下書庫改修工事(H22/2まで) 9. 聴覚障がい者向け図書館ガイドツアー 10. 旧レストラン跡(現 国際児童文学館閲覧室)改修工事(H22/3まで) 10. 「上海の窓」常設コーナー設置 12. 「大阪府立図書館Z39.50横断検索サービス」終了		1. 改正著作権法施行、図書館において資料を視覚障害者が利用できる形式に変換し資料提供が無許諾で行うこと、インターネット情報の検索サービス実施のための複製、国立国会図書館における所蔵資料の電子化のための複製が可能となる 3. 日本全国の図書館の資料所蔵状況・貸出状況を検索できるサービス「カールル」がウェブに公開
	1. 「文化遺産としての中之島図書館」特別講演会 3. 新着図書お知らせサービス開始	3. 聴覚障がい者向け図書館ガイドツアー 3. 「児童サービス担当者連絡会」(以後毎年開催)		
	4. 民間事業者との協働による業務開始(大阪版市場化テストによる業務委託) 4. 組織再編により、総務課、大阪資料・古典籍課、ビジネス支援課の3課体制となる 4. 酒本毅、第23代館長に就任	4. 組織再編により、総務企画課、協力振興課、資料情報課、調査相談課、読書支援課の5課体制となる		

西暦 (元号)	大阪府立中之島図書館のできごと	大阪府立中央図書館のできごと	大阪府・大阪の図書館	日本の図書館のあゆみ
	<p>8. 「日本万国博覧会のころ-上海万博によせて」展示</p> <p>8. 「日本万国博覧会のころ-上海万博によせて」講演会</p> <p>10. 「蕪村展」</p> <p>11. 「蕪村のなかの&lt;芭蕉&gt;『蕪村句集』の仕掛け」特別講演会</p> <p>12. 個人向けe-レファレンス サービス本格実施</p> <p>12. 「重要文化財・中之島図書館 -その魅力をさぐる」講演会・見学会</p>	<p>5. 大阪府立中央図書館国際児童文学館、府立国際児童文学館の資料約70万点を引き継ぎ開館</p> <p>7. 「紹介と解説 2009年に出版された子どもの本」(以後毎年開催)</p> <p>8. 無線LANサービス本格実施</p> <p>9. 児童文学館オープニングイベント「12歳からの読書」</p> <p>9. 「子どもの読書推進活動支援員派遣事業」開始(以後H22/3まで実施)</p> <p>11. 「特別貸出用図書セット」貸出開始</p> <p>11. Webサイトに「学校支援のページ」開設</p>	<p>7. 高槻市立中央図書館ミュージアム子ども分室開館</p> <p>11. 岸和田市立旭図書館開館</p> <p>12. 大阪府立特許情報センター廃止</p>	<p>7. 文部科学省、「国民の読書推進に関する協力者会議」設置を決定</p> <p>9. 第96回国民読書年・図書館法施行60周年・全国図書館大会奈良大会を開催大会テーマ「温故創新-平城遷都千三百年からの発信」</p> <p>11. 日本図書館協会、第1回日本図書館協会認定司書の申請受付開始</p> <p>11. 国立国会図書館、OCLCを通じてJAPAN/MARCデータの国際的な提供開始</p>
2011 (平成23)	<p>3. 東日本大震災にともない、被災県在住個人からのe-レファレンスを受付(H24/6まで)、利用者登録の臨時的措置</p> <p>3. 「大阪府立図書館の基本方針と重点目標」および「アクション・プラン」と活動評価を公表</p> <p>4. 資料購入先の決定に割引率による入札制度を導入</p> <p>6. 「城下町・大坂武士が見た風景-なにわのサムライ・ライフ-」展示</p> <p>7. 「城下町・大坂武士が見た風景」講演会</p> <p>7. 「住民生活に光をそそぐ交付金」によるマイクロ・デジタル化作業及びビジネス関係資料購入(～H24/3)</p> <p>7. 大阪府域市町村立図書館対象「ビジネス支援サービス」に関するアンケート調査実施</p> <p>8. ビジネス情報活用講座(以後随時開催)</p> <p>8. 「大阪府内図書館案内展」展示</p> <p>11. 「第1回業界新聞案内展 食べる！飲む！編」展示</p> <p>11. 第1回資格セミナー(以後随時開催)</p>	<p>1. 「公立図書館と学校との合同研修」(以後毎年度3回程度開催)</p> <p>2. Webによるアンケート「読書と図書館利用に関するアンケート」実施</p> <p>3. 開館以来の入館者、1000万人突破</p> <p>4. 服部道代、第8代館長に就任</p> <p>4. 府内市町村立図書館向け「情報検索出前講習」を試行実施(10月実施の第2回以降本格実施、毎年度 数回実施)</p> <p>7. 「住民生活に光をそそぐ交付金」によるマイクロ・デジタル化作業(～H24/3)</p> <p>7. 利用者向け「情報検索講座」(以後毎年度数回開催)</p> <p>11. 1Fにブラウジングコーナーをリニューアルし、企画展示エリア、グループ読書エリアを開設 企画展示「名誉館長上田正昭の視座」</p> <p>11. 国際児童文学館開館1周年記念「講演と弦楽四重奏で楽しむ宮沢賢治ファンタジー・ワールド」</p>	<p>1. 大阪市立東成図書館建替開館</p> <p>1. 大阪・堺市立図書館、電子書籍の貸出提供サービス開始</p> <p>2. 第58回大阪公共図書館大会(於：大阪市立中央図書館)テーマ「地域資料と図書館」</p> <p>3. 和泉市立和泉図書館建替開館</p> <p>3. 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館山田駅前図書館開館</p> <p>3. 「第2次大阪府子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>12. 第59回大阪公共図書館大会(於：大阪市立中央図書館)テーマ「電子書籍と図書館サービス」</p>	<p>4. 東日本大震災被災地支援のためのsave library, save museum等が一体化して「saveMLAK」が発足</p> <p>9. 国立国会図書館「国際子ども図書館調査研究シリーズ」創刊</p> <p>10. 第97回全国図書館大会を開催(東京・調布市ほか)大会テーマ「広げよう、図書館のある暮らし-つなげよう知の拠点/続けようHelp-Toshokan」</p> <p>11. 国立国会図書館「日本全国書誌」2011年43号をもって終刊</p>

西暦 (元号)	大阪府立中之島図書館のできごと	大阪府立中央図書館のできごと	大阪府・大阪の図書館	日本の図書館のあゆみ
2012 (平成24)	<p>4. 野本康憲、第24代館長に就任</p> <p>5. レファレンス紹介パンフレット「図書館の力!! あなたの「しらべる」応援します」作成、Webでも公開</p> <p>5. みんなで選ぶ社史グランプリ(神奈川県立川崎図書館との共催)</p> <p>5. 社史グランプリ関連講演会</p> <p>5. 館内閲覧率調査実施</p> <p>5. レファレンスアンケート調査実施</p> <p>6. 大阪府市統合本部、「基本的方向性(案)」公表(図書館については、府市連携事業拡大の検討・試行、府立図書館2館・市立中央図書館間の資料搬送の緊密化に向けた検討、民間委託拡大の余地の検討等について言及)、府立中之島図書館を廃止、別施設に転用することも表明</p> <p>6. 「大阪の都市遺産と住友」展示(関西大学大阪図書遺産研究センターと共催)</p> <p>7. 「大阪の都市遺産と住友」関連フォーラム</p> <p>7. 「人口減少を変革のチャンスに」展示(大阪府政策企画部と共催)</p> <p>7. 「地域から見る人口問題と日本経済」セミナー(大阪府政策企画部と共催)</p> <p>8. 「和本の楽しみ」展示</p> <p>8. 「実務で使えるノウハウを学ぶ障がい者雇用セミナー」(大阪府商工労働部雇用推進室と共催)</p> <p>10. おおさかカンヴァス推進事業2012「ミンハメグリ」展示(大阪府府民文化部と協力)</p> <p>10. 「織田作之助の世界」展示</p> <p>11. 「織田作之助の世界」特別開館&amp;ギャラリートーク</p> <p>11. 「オダサク音楽のタベ」(大阪市立図書館特別協力企画)</p> <p>11. 「織田作之助 -青春の大阪作家」講演会</p> <p>11. 大阪府立中之島図書館を廃止する動きに対し、「中之島図書館を守る会(仮称)」設立総会、「アピール文」採択、日本図書館協会等4団体が支援のメッセージ</p>	<p>1. 国際児童文学館情報システムを更新</p> <p>3. 障がい者向けIT講習会(聴覚障がいコース含む)</p> <p>4. 館内で国立国会図書館歴史的音源(れきおん)提供開始</p> <p>4. 乳児院・児童養護施設への出前おはなし会本格実施(以後、毎月実施)</p> <p>7. 企画展示「科学と仲良しになる書物展」</p> <p>9. 「子どもの読書活動支援員養成講座」(以後毎年開催)</p> <p>9. 「大阪府内公共図書館等障がい者サービス情報交換会」(以後毎年開催)</p> <p>10. 企画展示「夢を描く 夢をはこぶ 旅とのりものいまむかし展」</p>	<p>4. 大東市立東部図書館開館</p> <p>4. 羽曳野市立古市図書館建替開館</p> <p>7. 大阪中部10市(八尾市・柏原市・東大阪市・富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・大阪市)で図書館広域相互利用開始</p> <p>9. 吹田市立千里図書館建替開館</p> <p>11. 第60回大阪公共図書館大会(於:大阪府立中央図書館)テーマ「公共図書館と学校図書館との連携」</p> <p>12. 東大阪市立永和図書館建替開館</p>	<p>1. 国立国会図書館館内サービスを全面更新、「国立国会図書館サーチ」、新NDL-OPAC、「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDL Authorities)」、「国際子ども図書館子どもOPAC」の本格サービス開始、新「全国書誌」の提供開始</p> <p>3. 日本図書館協会創立120周年を迎える</p> <p>7. 国立国会図書館、歴史的音源の公共図書館への配信提供を本格実施</p> <p>10. 第98回全国図書館大会を開催(松江)大会テーマ「文化を伝え未来を創る図書館-古事記編纂1300年 神々の国しまねから」</p> <p>12. 「図書館の設置及び運営上望ましい基準」告示(文部科学省告示第172号)(図書館における専門職員の明確化、障害者サービスにおける朗読サービスの位置づけ、私立図書館の基準など)</p>
2013 (平成25)	<p>1. 情報活用講座の出張開催(以後、「情報検索出前講習」として府内市町村立図書館向けに実施)</p>	<p>1. 国際児童文学館開館3周年イベント「原ゆたかさん講演会&amp;おえかき会:『かいけつゾロリ』人気のヒミツ!」企画展示「原ゆたかの世界」</p> <p>2. 文部科学省図書館地区別研修(近畿地区)</p>	<p>1. 吹田市立千里丘図書館開館</p>	

西暦 (元号)	大阪府立中之島図書館のできごと	大阪府立中央図書館のできごと	大阪府・大阪の図書館	日本の図書館のあゆみ
	3. 耐震補強工事実施に伴う臨時休館	2. 聴覚障がい者向けIT講習会 3. 大阪府立図書館協議会、「大阪府立中央図書館 国際児童文学館の今後のあり方について」提言 3. 企画展示「大正浪漫 その時代と文化」		
	3. 「大阪府立図書館レファレンス業務取扱要領」改正施行		4. 寝屋川市立寝屋川市駅前図書館開館 5. 箕面市立小野原図書館開館 6. 高槻市立服部図書館開館	7. 国立国会図書館、民間のオンライン資料(無償かつDRM(技術的制限手段)なし)の制度収集(オンライン資料収集制度eデポ)開始
	5. 中之島図書館書庫見学ツアー開始(以後随時開催)	7. 企画展示「図書館 ～過去、現在、そして未来～」		
	8. 「大阪府立図書館 基本方針と重点目標(平成25-27年度)」を公表			
	8. 明日の中之島図書館を考える会、「大阪府立中之島図書館の今後について要望書」を府教育委員会・教育委員長・教育長あてに提出(10/2回答) 9. 起業・創業・経営相談会(大阪中小企業診断士会と共催)(以後随時開催) 11. 大阪府知事、定例記者会見にて、大阪府立中之島図書館を図書館として存続させる方針を明示 12. 耐震補強工事実施に伴う臨時休館	10. 企画展示「ごんぎつねとともに-新美南吉生誕100年記念-」	11. 岸和田市立桜台図書館開館 11. 岸和田市立八木図書館開館 11. 第61回大阪公共図書館大会(於:大阪市立中央図書館)テーマ「地域の課題を解決する～打って出る図書館～」	10. 国立国会図書館、民間オンライン資料の提供開始(館内限定) 11. 第99回全国図書館大会を開催(福岡)大会テーマ「あなたの未来をひらく図書館」
	12. 「知と情報のワンダーランドへようこそ！～専門ライブラリー in Osaka」フォーラム			
	12. 利用者用インターネット端末 提供終了			
	12. 大阪府立図書館ツイッター 運用開始			

\*「大阪府立中央図書館のできごと」については紙面の関係上、主なものに限って掲載しました。

『萬色一瞞』目録稿

—乾二・乾三の部—

小林 孔

(大阪城南女子短期大学教授)

高井 悠子

(舞鶴工業高等専門学校非常勤講師)

本稿は前々稿の坤の部四冊、前稿の乾一の部に続く乾の部二冊目および三冊目(但、小番号60まで)を、以下の凡例にしたがい目録稿としたものである。

〔凡例〕

- 一、本稿は、大阪府立中之島図書館所蔵『萬色一瞞』全七冊(朝日新聞文庫 226・3-1)のうち、乾の部二分冊目、三分冊目の六十枚までに含まれる俳諧一枚摺を収録したものである。
- 一、配列は、原本の順にしたがい小番号を記し、該当する年次を冒頭に▼を付して明示した。
- 一、記載項目は、前記の小番号、分類、判型、主催者、画者、画題、彩色、画の配置、筆耕、入集者、段組の順でこれを示し、必要事項を備考に※を付して加えた。
- 一、分類は、歳旦、春興、夏興、秋興、冬興、歳暮、追善、慶賀、その他とし、その他に分類したものはその内容を備考に記し

た。

一、判型は、大半が全紙大であるが、半裁以下のものについては前々稿の凡例にしたがった。

一、主催者は詞書などで判明する場合を除き、おおむね最終行の人名を採録した。

一、作品に画が含まれる場合、画者、画題、彩色、画の配置を記したが、画が含まれない場合は、画者に×を付し、残りの画についての情報はすべて―を記した。

一、彩色は、多色摺の場合は○を付し、単色摺の場合は「単」と記した上で( )内に色を示した。

一、画の配置は、一枚摺を四分割した場合の右上をア、右下をイ、左上をウ、左下をエとし、画像が含まれている箇所を記号を用いて示した。

【例】

ウ	ア
エ	イ

一、画者の情報がない場合は「画者不明」と記し、現時点で判読できない印記がある場合は「画者未詳」とした上で画像を付した。

一、入集者は、一枚摺に含まれる作者名をすべて採録した。また、肩書がある場合は人名の前に（ ）で示し、連句、漢詩、和歌等の作者は□で囲むこととした。連句については、同一連衆でくり返されるものは五吟半歌仙などとして、略記した場合がある（後掲句数の項参照）。なお、段移りがわかるように、段末の作者に「印をいれた。「斑竹」、「班竹」等、入集者の表記が二種類確認できる場合は一方に統一した。同一人物とおぼしき併号に表記のゆれのある場合は、「ゆきを」、「ミき雄」、「多代女」、「きく雄」、「起久守」のように統一を加えたものがある。「己有」、「已有」、「已有」は同一人物かと思われるが、判読上、文字通りに活字化した。

一、句数は、半裁以下のものについてのみ採録したが、全紙の一段組のものは原則として句数を数え、連句などが含まれる場合はその旨別に明記した。なお、前項の入集者に関連して、連句の場合、同一連衆でくり返されるものは、たとえば、五吟半歌仙などとした。

一、行数は、同様に半裁以下のものを対象とし、年記、人名、画中詞および画にまつわる記載を除いた本文とした。

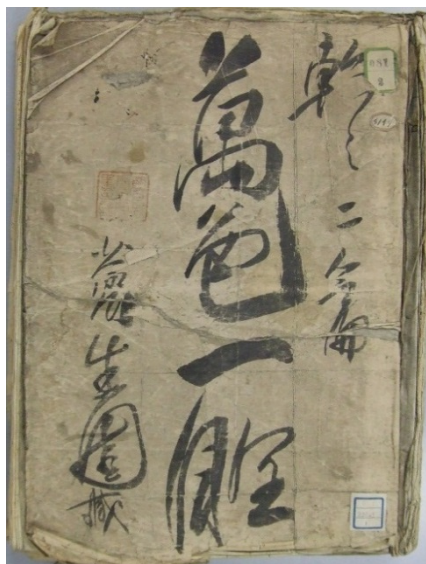
一、備考には、年記がある場合は原本のとおりこれを採録し、その他については前記の内容を含め、必要に応じて適宜記載を加えた。

一、表記は可能な限り原文どおりとした。なお、経年の擦れで判読できなかった文字および想定される文字が表記できなかった

たものに関しては□で、推定できる文字に関しては「」で示した。

## 乾二

「乾之二篇／萬色一睜／齋生園蔵」



後表紙に「比太廼舎」とあり。

▼天保十四年

1 慶賀 全紙 桃室 順堂岸弘 事始図 ○ アイ ×

淡叟・白鷗・其瓏・必山・超然・鶯宿・素屋・井左・鼎左・撫歌・  
修竹・一得・芦江・芦雪・斗雪・松好・豊樹・不二門・（芦舟更）  
松栄・□□・淡雪・花朴・千柳・月住・得寿・三餘・鶴松・度聲・  
古山・朗水・染風・山住・松陽・友月・（エナミ）吳朗・素陶・  
枝雄・楚水・□□・其遊・五葉・節一・杉夫・淇水・（江口）  
桃若女・奇龍・軸人・素梅・桃岳・老圃・其柳・米老・其隣・  
桃室

三段組



※ 桃室卜居祝

2 歳旦 全紙 梅民 我布 松竹梅図 単(墨) ウエ ×

梅室・九起・岱年・梅通・黙池・苍涼・百翠・不醉・政雄・松雨・卓丈・淡節・木容・岱美・鼎左・其山・素屋・(南都菊の香社) 墨居・玄浦・全葩・(瓶原社) 里玉・其月・紫島・慈弓・(城南筒城社松翠社) 可雪・専枝・一翠・一甫・松嵐・山石・花**罍**・里菊・魚鳥・月舟・春眠・貞我・志木・□□・白鶴・雪屋・龍月・孤月・百梅・梅賀・一覚・柳枝・醉月・半山・志波・露川・菊枝・鼎・いろは・二玉・一鳳・其如・巷声・孤隆]・梅月・梅香・梅雪・浅風・湖月・住鶴

(女)糸子]・(フシミ) 岳鳳・(フシミ) 丁翁・(フシミ) 蘭室・

(ヤハタ)可調・(ヨド) 吟風・檜笠・(防州) 閑雲・(奥州) 一仙・(奥州) 茶三・(越後) 應泉・(備前) 孤山・(備中) 史也・(但マ) 弓月・(但マ) 百竹・(江州) 瓦棗・(江州) 耘龍・(洛社中) 一英・九和・米汁・岱里・如蓮・松寿・和石・美村・哥桂・不休・鳩亭・勢良・貫太・旭子・梅々・寿二・永友・(橋丸改) 旭来・帟丈・不点・蘭尾・梅□・□□・静丸・堅石・化助・三尺・(柳鶴庵) 梅民

三段組

※ 画賛五言絶句紀我布

3 追善 全紙 悠々 春鷗 散桜図 ○ アイウエ 董義

蒼虬居士・悠々・春圃・素月・雪満・詠芥・木二・禾堂・素遊・

淇水・沙中・井左・完和・霞翠・樗山・松宇・有両・一馬・太素・

之同・静湖・雀巢・麦紫・赤彦・其青・可節・桃雨・可考・寸長・

巴石・米呉・烏明]・(大坂) 淡叟・鼎左・其□・素□・□□・白□・

(京) 杜蓼・杜鷲・岱年・九起・丈翠・梅通・多郎・有節・芹舎・芳英・岳鳳・梅室・(チクゼン) 宇逸・宇甲・詠丸・和風・文十・未英・雨堂・斗丈・花木・五雪・(チクゴ) 蘭堂・東鶴・東鱗・舒鶴・松代・和戎・山公・麦映・塵五・(有田) 桶斎・鶴芝・松巨・文兒・(早岐) 古由・幼我・春月・春湖・陶々・(諫早) 史我・(長サキ) 甫旧・干江・二石・子栄

※ 4と一対

二段組

4 追善 全紙 悠々 [春鷗] 遠山・花卉図 ○ イウエ 董義

旭水・雨笠・眉山・暁雨]・龍風・瀾長・壺天・遲流・月窓・駿臺・

梵阿・一具・直節・由誓・山外・抱儀・永久・晨支・氷狐・素瓏・松什・かつら・三和・南枝・三星・技國・水由・臥息・茶静・得蕪・鳳朗・(ムサシ) 千端・(上毛) 木公・(下毛) 得所・嵐斎・ミち雄・(デハ) 稻洲・(ラク) 心阿・尊阿・□□・乙良・(カミ) 柏奚・(エチゼン) 半瓶・(シナノ) 圭布・(サガミ) 立宇・(サガミ) 安成・如々・(カヒ) 歛哉・嵐外・(エン洲) 且松・(ミカハ) 塞馬・六蟬・卓池・(ヲワリ) 沙鷗・而后・鶴雄・應知・蓬陽・黄山・一清・(ヲフミ) 虚白・白蕙・(イセ) 桐一・(テハ) 鳳棲・巴中・(サヌキ) 茂椎・(イヨ) 鶯居・眉山・悠々・風外]・竹友・駒童・



(丹ゴカヤオク)有兆・(チクゼン)宇逸・斗丈・(アキ)雪頂・卓池・鶴叟・惟草・抱儀・一朗・山外・起久守・晨支・護物・鳳朗・梅室・(カハチ)古鏡・不二門・(ハシラ本)都春・(上トバ)如柳・(下トバ)椋南・(和束)太諫・(和束)叢菊・(洛)李浪・其勇・雨村・仙歩・禾明・政雄・若雅・素龍・富勢・桂芳・松雨・聞可・雅若・乙雅・太朗・杜蓼・風光・寿堂・明良・柳厓・泰川・以乙・山彦・兔水・一斧・万丈

二段組

※ 四端立机披露 / 6と一對

8 夏興 変形 應門 清暉 果樹・小禽図 ○ アイ ×

鳳朗・淡叟・白鷗・鼎左・其山・素屋・箕年・晨支・梅室・岱年・九起・有節・木容・閑嶺・淡節・馬良・由誓・風外・卓池・塞馬・流芝・舍用・良台・虚白・宇逸・宇甲・斗丈・廣五・波文・申志・白鱗・立正・谷女・其水・淇文・ノ亜・史外・朶山・蘭岡・懷玉・山骨・馬垵・其葉・楓人・双蘭・五風・青李・一原・亭玉・一夢・應門

二段組

※ 「天保癸卯夏五月」 / 半裁よりやや大 / 発句部分に朱囲み枠

9 春興 半裁 素因 青潮 葵・雲上楼阁図 ○ イ ×

虚白・鶴叟・卓丈・此一・松父・梅通・翫鳥・(アフミ)九斎・楓下・拾五・正甫・(ラシミ)丁翁・(ナニハ)素屋・鷺雄・(タンゴ)馬良・

百之・登起名・三斎・(タジマ)松翁・弓月・(タンバ)桂眉・呉梅・(イセ)汲古・(アハチ)呂川・(チクゼン)斗丈・(ムサシ)讚月・梅室・木容・(カミ)大夢・棹江・磨弥・龜石・東来・南窓・悠平・燕臺・雨桃・三枝・(エツ中)山沢・乙雄・東邱・(ミノ)素因

42 33

10 夏興 半裁 卓丈 画者不明 川床納涼図 ○ イエ ×

梅室・梅通・芳英・丈翠・鶯語・孤柳・馬良・雨翠・護芳・其桃女・かうち・雨香・如柳・万丈・岳鳳・(在京)大夢・素屋・曲阜・鷺雄・白雀女・都春・其山・(カミ)悠平・鹿裘・應叟・霞石・木圭・豊収・北園・柏奚・柯亭・立芳・如蘭・柳壺・(エド)鳥吟・(ハリマ)一箕・影之・(ビゼン)羽林・(アハチ)鷗池・(フト)淇洲・(チクゼン)虚舟・(ヒウガ)正葩・(タジマ)其頼・(タンバ)九花・(タンゴ)本道・(アフミ)玉脂・橘雄・月坡・桃谷・(イセ)木壺・東宇・流芳・桐一・梅曦・省吾・卓丈

56 38

11 夏興 全紙 雲帯 清亮 鶉飼図 ○ イエ ×

梅室・虚白・山外・湧瀧・其岐・夜白・南涯・岱年・梅溪・楓下・柳緑・唇風・梅通・耕春・鶴叟・枝月・一藤・北窠・松夢・方汀・青岐・有節・一堀・九斎・梅林・其楽・砺山・丈翠・馬筋・梅曦・伯遠・塵外・素屋・杜蓼・桃夭・冬岐・渭橋・岳鳳・美中・帟竹・林曹・風光・草楽・芳英・卓丈・月撫・南溪・鳳朗・富山・月坡・

惟草・樂遊・杜鷲・耕雪・九起・松露・九華・千丈・大年・蓬雨・  
香雪・雲帶

62 62

12 秋興 全紙 西疇 月窓 朝顔・撫子図 ○ アイウエ 半儼

由誓・雄嶺・山外・溶々・萬古・松什・聽松・臥春・流芝・得蕪・  
一具・梅室・九起・梅通・丈翠・淡叟・素屋・其山・虛白・閑那・  
紫人・映門・雙鳥・宇逸・慶五・悠々・禾月・心阿・相翠・柏突・  
年緒・□□・□□・竹煙・又々・梅曦・雀叟・而后・芝石・蓬宇・  
卓池・機蝶・春室・ひで女・萬翠・鷺眠・邦昌・嘉尚・魚都間・  
蕪琴・大経・松由・鳳朗・淇斎・禾葉・若非・杜有・月窓・壺天・  
扶圃・丈之・素明・風外」・道雄・守年・応翁・竹鶯・古苞・木山・  
孤雲・秋富・光応・尔知何・南窓・菊水・眉白・梅溪・耕甫・  
青阿・定柳・南斎・荷月・指山・芳雨・悠々・梧葉・乙良・  
阿支帆・西疇

二段組

※「癸卯秋」

13 その他 全紙 有節 萬鷗 朝顔図 ○ ウエ ×

省吾・蘭舟・楚江・松圃・杞柳・米室・五畝・老思・修巷・桂蔭・  
虚舟・橘林・白止・和楽・蕪一・米牛・東宇・桂洲・石鼎・橘栖・  
雀渚・稻甫・昌風・淇石・米山・蟻菜・潮蒼・淇悠」・青松・之青・  
青崖・菱青・梅西・在竹・六川・樗山・榮祥・楠亭・桐一・半江・  
時兆・里冬・六松・江平・有節

二段組

※ 五仲庵主人餞別

14 秋興 全紙 悠平 素亜 蜀葵図 ○ アイ ×

梅室・杜鷲・淡節・祭魚・木容・卓丈・九起・鼎左・素屋・林曹・  
卓池・石采・梅曦・西馬・砺山・一具・風外・逸澗・溪斎・見外・  
水壺・(行脚) 碩水・為山・米山・吳城・南々・金令・晨支・鳳朗・  
(越中) 如蝸・(放生津) 東雄・(四日市) 桃室・(ノジリ) 梅素・(杉木)  
巨淵・(僧) 常露・嵐汐・乙海・可幽・五丈」・(ノト七尾) 竹塢・  
半江・語水・文丈・千蔭・之謹・霞曉・曉雨・淇洲・路蓬・貴存・  
五雄・美升・一葉・(松波) 稻波・如月・(中居) 潤松・奇鼎・  
(ウシツ) 習之・(正院) 鳳兮・(大正寺) 呼亭・(本□) 霞石・(寺井)  
由之・(小松) 桃亭・松坡・里魴・(ツバタ) 鶯呼・石紅・熊月・  
我柳」・桑固・北山・好山・遊夢・みつ女・美泉女・里川・雪杖・  
桃花・素玉・雲我・鹿裘・克亭・應叟・晴江・龜石・桐響・雪下・  
茂斎・白二・超翠・林坡・霞朗・初香女・白玉・素桃・五桑・  
江波・柳壺・呂鳳・悠平

三段組

15 秋興 全紙 必山 成錦 綿花図 ○ アイ ×

(播魚崎) 南陽・前川・恕拾・響江・春岐・榭月・柳坡・霞龍・  
一方・鳳池・芦川・白山・桃林・俊丸・祐圓尼・如年・砂北・  
瓦松・硯水・菜丘・破曉・路大・渾江・魚水・可摘・楸月・杉月・  
東野・馬良・一枝・外志・雨山・福也・心海」・(大塩) 花菜・美川・



19 追善 全紙 嘯窓 清暉 山茶花・笠図 ○ イ ×

(タジマ) 一橋・左和義・無着・白雅・物外・(アハチ) 堯洲・墨雨・  
希康・孔照・富草・李雪・荊角・李青・好之・梧園・梅興・樹々・  
茶城・蝶子・蔣池・半谷・梅堂・鶉居・井田・佳城・李洲・守溪・  
楓所・梅盧・裁霞・回風・一蕉・蓬壺・恣洲・羅十・鷗池・梅士・  
仙翁・青栗・霞恣・荊北・子昌・月窓・尺桜・泉朝・霞濃・其雪・  
奧丸・鶴項・且梅・如潮・秋橋・素悠・樵隱・木岱・桐中・曉梅・  
玉梅・葛老・花喬・原子・厦尺・壺天・環里・默齋・星介・鳳朗・  
護物・由誓・一具・風外・惟草・卓池・沙鷗・而后・虛白・岳鳳・  
杜蓼・梅通・九起・岱年・梅室・淡叟・鼎左・必山・素屋・豐樹・  
其山・(ビツ中) 史也・(ハリマ) 古谷・甘水・(タンバ) 蕉夢・大栗・  
烏笑・白燕・野卵・桂眉・吳秀・遊夢・(丹ゴ) 白水・柳甫・  
(タジマ) 弓月・標梅・石燕・(山シロ) 古好・梅丘・松甫・(河内)  
古鏡・指月・梅塵・可嘯・(山シロ) 路鳥・南岳・器之・萬南・  
老波・半山・(大津) 百之・(江戸) 關水・(江戸) 雪川・(ヨド) 鳳水・  
百川・鷹巢・月下・剛地・流江・三千丸・素什・廣山・一考・  
朴亭・秋山・魚眼・旭水・鱗光・竹涯・榎太・江翠・和六・鴻地・  
素友・鶯語・素琴・赤水・掬水・友之・其友・輕舟・吟風・嘯窓

※ 芭蕉百五十回忌

三段組

▼ 弘化元年

20 歳旦 全紙 鼎左 秋亭・長水 富士・書初図 ○ アイウ ×

蘭秀・草居・買山・荷涼・翠葉・秀竹・希声・其珀・耕春・桃年・  
(自樂改) 春萌・秋幄・(大湖更) 芝耕・文賀・井竹女・楓可・素屋・  
松隣・(かふち) 不二門・(かふち) 瀧門・(かふち) 山樂・(かふち)  
青簑・(かふち) 松桂・(大和) 寿翠・(大和) 庭柳・(大和) 二朗・  
(兵庫) 布流・(兵庫) 右汐・(さかひ) 鹿野女・(茨木) 柳月・(若山)  
芦汀・(南紀) 一雅・(いせ) 笑々・(赤穂) 棹雪・(作丞) 雪塘・(作丞)  
崑久山・(作丞) 桃坡・(さぬき) 月窓・(松山吐雲更) 撫石・(廣嶋)  
写山・(石菟) 九和・(石菟) 一桃・(雲菟) 寥雨・(江戸) 伯遠・(新潟)  
有成・(カヅ) 悠平・(ノト) 荷月・(さかひ) 此方・(わか山) 月下・  
鼎左 50 50

※ 「甲辰元旦」

21 歳旦 全紙 梅室 東山義亮 万歳図 ○ アイ ×

(矢掛) 一柳・(矢掛) 琴月・(矢掛) 翠左・(矢掛) 月好・(矢掛) 蟻山・  
(矢掛) 楓紅・(松山) 猿月・(松山) 梅露・(妹) 里生・(ツキ) 一窓・  
(湛井) 一玉・(新見) 三世房・(羽嶋) 艸路・(羽嶋) 萬年・(ラザキ)  
素涛・(大井) 白鳥・(ミツ流霞更) 桑飛・(八田部) 滴露・(八田部)  
素外・(山ノ内) 碩志・(東園) 琴雨・(西園) 花月・(西園) 帰春・  
(西園) 不詠・(田上ノ庄) 梅也・(岡の庄) 香雨・(高野) 鼎峰・  
(エチゴ) 蒼海・(大坂) 素屋・(京) 有節・(京) 梅室 二段組

22 慶賀 全紙 山麓 米冲 紅梅図 ○ アイ ×

鼎左・淡叟・吐屑・鶯宿・万利・貞哉・其瓏・桃室・草斎・春人・  
餘力・良化・杜鴻・斑竹・楓良・(イタミ) 紫金・井竹女・馬禿・  
祇白・月江・(サカイ) 此松・(サカイ) 此方・真丸・貞菊・霞笠・  
友月・綾雄・不角・十洲・瓠舟・其柳・都升・杉古・其翠・柏葉・  
炉雪・天来・三舎・其月・子元・白梅・露鳥・素屋・為聲・青山・  
玉呂・仙夢・笛三・浪燕・兔月・知風・粧山・鶴年・梅思・春光・  
湖龍・清渚・春花女・琶水・淡水・曾洲・豊一・青良・朝霧・  
其声・梅英・竹一・山朝・臥堂・竹児・牛角・秋水・**玄祐**・**珣定**・  
**□□家**・**保教**・(カハチ) 亀友・(カハチ) 素琴・(水魚社) 仙麓・  
夏月女・曾根丸・湖漁・湖石・玉簾・松寿・季一・山鳥・茱女・  
玉兔・(全) 桃雨・桃林・墨池・桂花・後蝶・楽魚・露淵・露白・  
(東籬園) 山麓 三段組

※ 東籬園継号記念

23 春興 半裁 鶯宿 秋亭 帰雁図 ○ アウ ×

梅室・(糸海) 曲阜・可成・松好・貞路・松嬰・あやを・直丸・  
里柳・里隠・為聲・不角・金英・鶯江・李純・鶯宿 16 3 8

24 歳旦 半裁 木容 文輝 綱引図 ○ イエ ×

梅室・虚白・風光・寿堂・富勢・此山・路夕・雨翠・轡角・鶯隨・

一斧・禾明・栞亭・乙雅・(サガ) 丈翠・(トバ) 如柳・(ラシミ) 岳鳳・  
護芳・(ナニハ) 素屋・雨草・鶯雄・方江・万寿人・白雀・(三田) 冬岐・  
(チクゼン) 山公・(アフミ) 松巢・五郎・(イセ) 梅曦・春整・  
梅西・宇栗・汲古・素薙・塩里・流芳・掠斎・(カゴ) 大夢・  
鹿裘・悠平・素玉・車休・柳壺・掉江・丹嶺・木圭・(エツ中) 東邱・  
(備ゼン) 布国・(ヒロシロ) 雪頂・(イヨ) 漁翁・卓丈・雨江・淡節・  
木容 54 3 0

※ 「甲辰の春」

25 春興 全紙 梅笠 幻外 春遊図 ○ イ ×

梅室・(京) 虚白・九起・岱年・有節・梅通・禾明・風光・丈翠・  
祭魚・蔦明・仙歩・明良・雨江・杜良・山公・三草・木容・淡節・  
卓丈・杜鷺・(アハツ) 砺山・(イセ) 流芳・都岐雄・霞汀・一幽・  
梅西・石鼎・桐一・岐蝶・霞裳・(アフミ) 玉脂・石雄・素口・  
佐迪・(遠江) 笠保・鶯居・百之・烏舌・(雲水) 荷了・烏穆・餘力・  
天遊・(浪花) 淡叟・鼎左・素屋・白鷗・晋夫・素白・乙鷺・蟻兄・  
林曹・(三河) 卓池・石采・水竹・蓬宇・桐古・茶岡・吳雪・(カイ) 岳中・  
(イヨ) 映門・(遠江) 且松・(スルガ) 漣山・碧山・(シナノ) 椿嶺・  
(エチゴ) 乙良・茶山・(雲水) 石外・(サヌキ) 烏谷・(ヲハリ) 一清・  
月底・而后・鳳朗・遅流・茶静・苴菜・伯遠・吳城・松什・宣女・  
百丈・双・祖郷・風外・(上毛) 西馬・竹煙・松蔭・(ムサシ) 寄三・  
南々・青扇・木芝・春羊・白駒・素文・寄風・豆人・是鶴・

舟谷・桂賀・(カヅザ) 東湖・(ムサシ) 桃郷・(サガミ) 如々・可碩・  
立宇・護物・大鵬・氷谷・谷鳩・月芳・東岡・梅二・貫四・南々・  
梅岳・渡月・碩水・見外・卓郎・秋香・雨兆・樗由・米山・扇要・  
萱草・キ外・逸淵・確嶺・金令・太良彦・山外・□□・□□・  
魯心・梅雪・仁宝・護岳・一具・惟草・森布・幻外・一貴・稻塙・  
徳阿・鷄宜・麟芝・我好・小蝶・溶々・由誓・得蕪・小柯・麻交・  
南枝・叩月・流芝・志一・梅寿・都遊・藤人・千鶴・一和・松秀・  
三眠・木猿・半遊・萬里・柳樹・梅雄・呂川・弄化・溪齋・為山・  
梅笠

※「辰の春」

三段組

26 春興 全紙 山蔭 文輝 桜・雀図 ○ アイ ×

梅室・杜鷺・梅通・かうち・岳鳳・岱年・鳳朗・鶯居・遅流・  
蟻兄・乙鵝・さき雄・素屋・卓池・水竹・而后・柴人・太花・  
器推・映門・菊圃女・馬雪・唇風・水哉・虚白・九芥・砺山・  
松巢・可松・五朗・芋丈・玉脂・楓下・蟻洞・素因・曉山・墨川・  
噪雀・樂只・花賞・老山・淇石・圮柳・米山・石鼎・篤之・東宇・  
之青・亀声・菱亭・青崖・梅曦・雀叟・都岐雄・岐蝶・霞汀・  
探斉・流芳・麟和・湖遊・一珊・素楽・蘭遊・知足・梅風・珂月・  
一如・孤雲・如一・再童・一種・不苦・嵐夕・友鶴・南海・曳尾・  
山露・里蝶・可及・折吹・竹葉・茁蓬・碧水・桔梗・りと女・  
竹合・一水・(艾園) 山蔭

三段組

27 春興 全紙 明良 日華 独楽回図 ○ イエ ×

(トバ) 如柳・(トバ) 松雨・(天ツ) 東蒼・(ラシミ) 護芳・(ラシミ)  
岳鳳・(下トバ) 梅南・(ナニハ) 其山・(ナニハ) 素屋・(ナニハ) 白雀  
女・(ナニハ) 天淵・(ミタ) 冬岐・(ヌカタ) 桂眉・(イセ) 探斉・  
(イセ) 流芳・(ツ) 梅曦・(ツ) 春整・(イヨ) 葵笠・(アワヂ) 半谷・  
(クルメ) 山石・(ブンゴ) 春坡・(ツチ山) 虚白・(タヂマ) 松翁・  
(セツ玉川) 一方・(ハリマ) 春朝・(ミヤヅ) 本道・(ミヤヅ) 馬良・  
(みね山) 登起・(みね山) 兎雪・(みね山) 嘯風・(越中) 東神・  
(小バマ) 内海・(カヅ) 朴風・(カヅ) 篤朗・(カヅ) 悠平・(カヅ)

北山・(カヅ) 鹿裘・(カヅ) 柳壺・(カヅ) 素玉・(フト) 鳳兮・(フト)  
生花・(フト) 桐芽・(奥エサシ) 馬蓼・梅通・芳英・荃涼・柳雁・  
乙雅・萬丈・桃里・萬可・梅斜・槲亭・阜秋・桂芽・一斧・麦浪・  
雨翠・孤柳・此山・松雨・霞赤・春翠・松宣・花勝・路喬・一花・  
柳枝・輿角・杜歳・湖路・遷甫・禾明・仙歩・其雪・霞釣・漁應・  
鶯隨・布雪・都雀・都月・宿山・松月・小松・三瓢・可嶋・三寫・  
茶溪・素峰・仙巢・成之・如蓬・翫鳥・逸路・松花・佳寿・祭魚・  
(サガ) 文翠・寿堂・風光・有節・杜鷺・九起・卓丈・岱年・烏谷・  
淡節・木容・梅室・明良

二段組

28 慶賀 全紙 東升 来章 山桜図 ○ アイウ ×

九起・烏谷・芳英・荃涼・孤柳・木容・淡節・馬良・伍員・一花・



閑嶺・雨翠・有節・梅通・默池・卓丈・吳明・祭魚・文翠・得雅・  
 月桂・谷雄・芳路」・虛白・梅室・梅巖・松花・柳枝・一斧・風光・  
 九蒼・柳鶻・霞仙・早丸・禾明・篤明・仙步・朗風・十代丸・  
 (ナニハ) 林曹・鼎左・素屋・祇白・蘿彦・松笠・停雲・其山・  
 仙夢・(江戸) 鳳朗・祖郷・見外・惟草・伯遠・鳥吟・松什・一具・  
 (城南) 半山・老坡・(ヲハリ) 而后・黄山・一清・(ミカハ) 卓池・  
 蓬宇・石采・桐古・(イセ) 一幽・竹外・雀叟」・(イヨ) 映門・九江・  
 (タンバ) 九花・月樵・松露・遊夢・(ビゼン) 孤山・里恵女・  
 (ビツ中) 一亭・淡亭・桑坡・(ハリマ) 伍柳・古谷・北梅・甘水・  
 丈瓠・(ワカサ) 漸箭・千翠・大夢・北山・柯亭・素玉・悠平・  
 (ノト) 鳳兮・生化・桐芽・勤泥・林藤・(越中) 子邁・和鳴・里風・  
 (越後) 乙良・(ラク) 茶三・(近江) 芋丈・岳米・鷺洲・花屑・玉脂・  
 十柴・九光・(南越府) 素坡・素山・映峨・馬角・一成・己青・  
 富羊・烏明・化遊・簑笠・東升

三段組

※ 「天保甲辰」／東升薙髮記念

29 春興 全紙 呂鳳 画者未詳 八重桜・籠図 ○ アイ ×

(江戸) 鳳朗・風外・見外・□□・□□・杜有・五株・茶静・逸洩・  
 護物・(大正寺) 呼亭・丹嶺・木圭・(寺井) 南圃・(ハネダ) 子用・  
 (ツルギ) 梅嶺・棋樵・(ツバタ) 我柳・石紅・鶯呼・(ノジリ) 木兄・  
 (金ヤ本郷) 米村・(杉木新町) 巨淵・梅隣・嵐汐・鶯里・可幽・  
 五丈・(ミヤ丸) 松兮・(言出) 都山・千丈・(田中) 千清・(放生ゾ)

東雄・昇齋・子邁・(伏木) 和鳴・(バツ) 大路・(正院) 鳳兮・(中居)  
 一秀・我則・奇鼎・(寺口) 重嶂・(ウシジ) 習之・(松ナミ) 稻波・  
 因越・其玉・松鹿・美井・芦丈・(イ、ダ) 勤泥・(ウカイ) 生化・  
 (江戸) 一具・卓郎・金令・祖郷・松什・惟草・得蕪・由誓」・  
 (ヲハリ) 而后・(遠江) 砺山・(ミカハ) □□・□□・□□・□□・  
 龍史・之諱・梅朝・雲遊・都水・有之・明々尼・(高マツ) 蘭丈・  
 (杉ノヤ) 柳堤・(ノトベ) 其種・(タラカケ) 龜村・(二ノミヤ) 鯉口・  
 (二ノミヤ) 鶴居・(トギ) 花溪・(タケベ) 貴存・青鷺・五雄・  
 (アシマチ) 吐雲・自笑・(高宮) 池塘・蕉風・淇成・六也・鯉桃・  
 芭碩・荷月・北山・応叟・五桑・みつ女・遊夢・(在京) 素玉・  
 晴江・雪下・鹿裘・克亭・(浪花) 淡叟・林曹・素屋・鼎左・(京)  
 有節・卓丈・九起・梅室・柳壺・悠平・呂鳳

二段組

※ 画者は九栄か

30 慶賀 全紙 此恠 小虎 松樹図 ○ アイウエ ×

(終日庵) 此角・(ナニハ) 淡叟・秋水・桃室・白鷗・水月・呂國・  
 其山・餘力・素屋・鼎左・三舎・其聲・梅英・仙麗・湖漁・金英・  
 不角・牛角・山麓・百堂・休叟・天来・竹水・花調・松甫・直丸・  
 井資・眉山・井左・(京) 祭魚・梅室」・(壽社) 此虬・寿松・寿望・  
 芳園・樵松・双恵・(樵二更) 南舎・竹扉・萍左・(虹橋社) 麦雨・  
 拾翠・青陽・巴水・弄花・金江・(初音社) 遥角・曙才・晴才・  
 琴夫・籟夫・(青柳舎) 竜枝・江鳥・北覽・芦亭・(夏越社) 露竹・



柳枝・笠齋・鹿野女・千塵・李山・華実」・(江戸)思交・(南紀)月下・一鷺・(高崎)才竹・寿松・(ナニハ)里旭・(タンバ)柳月・(エチゴ)浦丸・(ヤマト)龜逸・(河内)良山・(八尾)升明・山石・秋苴・(大ツ雀社)芝旭・其月・種悠・石雅・都友・月彦・(和流社)容雨・一朝・五楓・千枝・(葎社)此水・子眼・此山・此雪・柳圃・此鳳・(春樹園)桃枝」・(南江社)春就・鈍兔・雪村・馬風・貴人・史梅・寿草・南橋・松和・子麦・南暉・梅眉・井美・友枝・松雨・野螂・松涛・梅壺・史友・此雀・此雲・支諾・此調・松子・荷月・(聴水庵)藻雨・(翠廼屋)此方・(梅蔭居)此恠  
四段組

※ 此恠授号祝／「花<sup>西</sup>峯吉祥」の朱印あり

31 慶賀 全紙 岱年 文鱗 水田蚩図 ○ イエ ×

梅室・禾葉・茂椎・有橘・秋對・素屋・虚白・紫蜺・笠峰・暮甫・山月・松丈・暮均・桐一・蘭石・芦岬・黄山・蕙逸・東蒼・方汀・仙歩・十代丸・篤明・朗風・禾明・月雄・孤柳・氷狐・養瓜・升山・東居・卯角・万像・鬼章・郊馬・成祇・葵笠・可涼・白臺・敲松・静池・儀秀・菁華・雪桃・春彦・笛三・仙夢・素熊・雨翠・其答・桃年・帟尺・蔣池・祇白・杜蓼・伯遠・知風・元史・婦牛・習竹・子容・烏谷」・得雅  
二段組

※ 岱年快気祝／32と一對

32 慶賀 全紙 岱年 文鱗 水田蚩図 ○ アイウエ ×

卓池・淡叟・逸瀾・楓下・鷺洲・且松・路夕・浪燕・其山・米花・月坡・桑湖・杞柳・淇石・松圃・蒼璫・梅曦・無唇・双龍・子遷・佳笑・北鷓・陶年・一居・仁寶・粧山・釣月・蘿彦・涼枝・鳳棲・桑葉・其岳・五髀・柏年・茶静・山外・玉朗・金陵・如柳・鷺峰・三也・霞赤・輿角・笠介・蓬陽・岱月・亦夢・七尺・晋夫・北年・布国・凉呼・竒陵・砂年・半谷・節堂・百齡・秀何・史雪・對鷗・岱年  
61 61

※ 岱年快気祝／31と一對

33 夏興 全紙 烏谷 清暉 撫子・煎茶図 ○ イエ ×

(江戸)一具・得蕪・流芝・金令・伯遠・見外・南枝・禾葉・由誓・(スルガ)碧山・尚古・一晁・竹茂・幸彦・雪堂・洋乎・木仙・(トホタフミ)杜水・梧容・且松・(ミカハ)卓池・水竹・蓬宇・完伍・(イセ)梅曦・子遷・岱月・可涼・亦夢・暮甫・鳳筌・米花・芳禾・双龍・静池・儀秀・夜白・石鼎・東宇・桐一・虚白・(ハリマ)玉朗・可大・(ヒゼン)北年・布国・凉和・砂年・竒陵・(イヨ)映門・菊圃・竹處・竹臣・其白・卯角・鬼章・芦岬・蘇澄・月人・郊馬・暮均・井峨・雪舸・曙山・雪人・五百里・雪柴・蘭秀・烏江・(サヌキ)金陵・此君・狙月・麻嶺・五蕉・杜麦・今是・其岳・玉瀾・霞柳・葵園・探水・茂椎」・(ナニハ)淡叟・白鷗・其山・祇白・仙夢・粧山・(惠月更)柏年・浪燕・笛三・

知風・素屋・鼎左」・梅室・杜鷺・有節・九起・風阿・卓丈・祭魚・  
筌涼・芳英・杜蓼・風光」・梅通・文翠・雨翠・孤柳・葵足・楚夕・  
雪萍・禾明・仙步・篤明・巴江・朗風・松臚・重恭・川砂・立志・  
明良・如柳・(在京)東升・成祇・得雅・霞赤・秀何・路夕・輿角・  
雪桃・笠介・秋對・岱年・烏谷  
四段組

※ 「甲辰夏」

34 夏興 全紙 呂国 岸章 橋下夕照図 ○ アイウ ×

(江戸)鳳朗・由誓・一具・風外・見外・茶静・伯遠・梅笠・梅令・  
(ミカハ)卓池・(ヲハリ)黄山・(上毛)西馬・(ヒタチ)野巢・(カバ)  
悠平・柳壺・(ノト)呂鳳」・(京)梅室・岱年・九起・(フシミ)岳鳳・  
(高野)閑那・鼎峰・(ハリマ)必山・(イタミ)曲阜・(サカヒ)麦雨・  
此松・笠斉・金江・藻雨・看雨・此方・(玉川)都春・(大和)南岳・  
鵬雲・(肥ゼン)奇思・悠々・(イヨ)映門・卯角・(作忍)七尺・  
徐来・(備中)香雨・(石忍)青池・(雲忍)尺山・(日向)駝岳・月雄・  
双鳥」・淡叟・鼎左・桃室・白鷗・(其臚更)水月・素屋・鶯宿・  
井左・超然・秋水・祇白・松隣・光林・壽扇・其山・大年・耕春・  
藜々・二桎・桃年・椿枝・醉茶・九瓜・帟尺・春路・古楽・玄有・  
烏白・都升・杜鴻・斑竹・柿守・愚佛・笛三・知風・巨洲・竹水・  
文賀・翠葉・井竹女・一來・竹児・臥堂・曾洲・史友・花調・  
洗志・(雲水)蕙山・餘力・箕年・月坡・(清得房)呂国 三段組

35 秋興 半裁 鼎左 画者不明 七夕図 単(纏) アイウエ ×

風葉子・蘭秀・雨外・李暁・秀竹・柳柯・和葉・(八十二翁)方珠・  
荷涼・其珀・翠葉・左栗・花調・可成・正一・家寿・秋亭・可就・  
井竹女・楓可・秋岬・鶯宿・素屋・松隣・井左・光林・(行脚)  
荷了・(行脚)且斎・鼎左・文賀・卦龍・卦龍・文賀・鼎左

34 35

※ 「浪花片岡梓」の朱印あり／二星細工仕様

36 夏興 半裁 瀧川 九華 大瀧図 単(墨) アイ ×

鼎左・不二門・月所・自来・素屋・畔月・燕子・山楽・和集・  
左栗・瀧川・桑旭・茶楽・雲駄・南齡・豊谷・松隣・松眉」・素屋・  
和集・燕子・畔月・松隣・月所・不二門・自来・茶楽・山楽・  
松眉・南齡・豊谷・蘭旭・雲駄・洞淳・左栗・瀧川 36 21

37 慶賀 全紙 蟠龍 長水 富士雲龍図 ○ アイウエ ×

梅室・淡叟・鼎左・呂国・水月・素屋・井左・白鷗・秋水・鳳朗」・  
(日州富高)一蹊・(日州富高)月雄・(江州多賀)凹峰・(日州延岡)  
駝岳・(細島社)縮柳・兔隣・化龍・頭龍・花隣・琴糸・眠龍・  
起龍・順龍・青龍・砂龍・月龍・交龍・洞龍・如龍・遊龍・集龍・  
随龍・飛龍・尺龍・二龍・臥龍・湖龍・双龍・白龍・孟龍・鮮龍・  
登龍・寸龍・(ナニハ)松人・成龍・(姪)玉川・(妻)梅茵・

(薩州楠外) 史杵・(古松庵) 蟠龍・蟠龍

二段組

※ 耳順祝賀

38 秋興 全紙 西疇 真清 炭売図 ○ イ 仙亀

(京) 梅通・柳悠・岳鳳・丈翠・(ナニハ) 其山・素屋・(ヲハリ) 而后・黄山・(ミカハ) 水竹・塞馬・(イセ) 梅曦・桐一・(キイ) 閑那・(アハ) 露泉・鳳棲・(イヨ) 鶯居・柴人・(トサ) 嵐夕・(出雲) 一映・(因幡) 佛兄・寸風・(タンバ) 九華・湧瀧・(備前) 布國・(ヒゼン) 悠々・(日向) 双鳥・(サツマ) 波文・(カヅ) 柳壺・悠平・(ノト) 呂鳳・(近江) 虚白・楓下・(シナノ) 圭布・(上野) 木公・(下毛) 嵐斎・得所・(ムツ) 心阿・一止・(デハ) 古翠・御風・(遠江) 且松・貞山・(カイ) 欽哉・(スルガ) 碧山・(サガミ) 如々・(下総) 江月・(ヒタチ) 野巢・(武蔵) 松什・太良彦・五渡・(江戸) 萬古・金令・茶静・伯遠・三和・素瓏・杜有・聴松・機蝶・此洋・沙堂・鷺眠・ひで女・道雄・北里・梅逸・守年・古巷・柳木・乙良・梧葉・眉白・西疇 二段組

※ 「甲辰秋」

39 秋興 半裁 升塙 景雲 朝顔図 ○ アイエ ×

梅室・九起・素屋・淡叟・樸翁・悠平・北山・鶯呼・賀水・柳堤・潤姿・青鼎・可大・龍史・之謹・有之・土好・升塙 18 18

40 秋興 半裁 鼎左 蜨睡 月照・芦図 ○ イウエ ×

風柴・蘭秀・雨外・買山・草居・月人・荷涼・翠葉・李曉・耕雲・斑竹・杜鴻・碎石・可成・陶李・芝耕・荳郷・李雀・春水・曳尾・真起・文賀・(二貫更) 可生・萬項・井竹女・楓可・其珀・秋岬・(江戸在坂) 和集・(江戸在坂) 暁峰・(左海) 此方・(兵庫) 蟻道・(若山) 月下・(伊丹) 紫金・(河内) 松眉・(ナダ) 草居・(ナダ) 一撫・(兵庫) 布流・(兵庫) 甲嶺・(ニイジマ) 一〇・(ハリマ) 撫風・鶯宿・素屋・其山・卦龍・光林・松隣・超然・鼎左 49 33

41 秋興 全紙 乙路 画者未詳 松樹・満月図 ○ アイ ×

梅室・鳳朗・卓池・淡叟・残夢・素屋・鼎左・風柴・拓响・都春・児丸・山月・美彦・美躬・成美・觀来・千翠・梅舟・秋人・都雀・石雄・嵐叢・杜泉・三朝・笑花・呂調・京文・我無者・華丸・有隣・(美月更) 旭翠・如秀・蘭亭・芦江・疇水・舍流・松斎・霞汀・一方・梅枝・一枝・旭山・春暁・華應・田月・鹿聲・栄枝・野月・香月・半僧・文好・柳月・竹房・李黙・東里・嘯山・(百之更) 栖山・苜洲・寄樂・乙古・乙蟻・臥石・松月・北貫・如菊・岱年・茶朝・成祇・呂國・水月・乙路 二段組

※ 画者は鷺洲か。



42 秋興 全紙 大年 一鳳 月下鹿威図 ○ ウエ ×

梅室・岱年・鳥谷・卓丈・有節・砺山・夜白・黄山・李曠・而后・  
鳥津・蓬宇・水竹・卓池・鳳朗・風外・流芝・茶静・由誓・金令・  
山外・溪斎・為山・一具・多代女・双鳥・岱雲・悠々・冬岐・

此方・淡叟・其山・祇白・素屋・巨洲・秦々・佳峰・花兄・自来・  
白居・(行脚)荷了・白鷗・**起武**・**起武**・白鷗・荷了・大年・白鷗・

荷了・大年・白鷗・荷了・大年・白鷗・荷了・大年・白鷗・荷了・

大年・白鷗・荷了・大年・露泉・舍潮・史白・臥尺・南亥・御雲・  
真鶴・木狙・月旧・桑葉・蘿彦・松丈・木龜・應吏・大年

※ 「甲辰年」  
二段組

43 追善 全紙 淡水 石湖 芭蕉図 単(墨) アイ ×

護物居士・虚白・岱年・梅通・杜鷲・有節・雨翠・鳥谷・其山・  
鼎左・素屋・波同・南洋・九起・梅室・卓池・而后・黄山・一陽・  
柳壺・悠平・楓下・涼呼・多代女・立宇・可厚・鷄周・葛古・  
東梧・呼牛・桃曉・冬岐・嵐外・流芳・探斎・雀叟・石鼎・桐一・  
夜白・鳳朗・逸澗・風外・祖郷・流芝・魯心・為山・萬古・三龜・  
由誓・湖山・一具・溪斎・得蕪・惟艸・秋香・吳城・青和・遲流・  
卓郎・太良彦・碓嶺・淡叟・大鵬・亘萊・怡兮・徐道・眉年・  
雨兆・露谷・喜川・□水・金令・護岳・谷鳩・**糖扇**・ちかき・

大峰・曳秋・月桑・東岡・和柳・柳木・青柯・苜丸・湖柳・句光・  
碩斎・溶々・伯遠・山外・助宣・五株・米山・呂鳳・千分・鉤雪・  
髻仙・荷了・月芳・奔蝶・松什・見外・悠志・文賀・杜有・くめ・  
無香・田蓼・淡水  
三段組

※ 「甲辰之秋」／護物追善／護物の句紺紙金泥

44 追善 全紙 湧瀧 清暉 寒鴉枯木図 ○ ウ ×

(寺村)愚仏・(寺村)南礪・(寺村)養父仲・(寺村)小島・(寺村)  
椿交・(寺村)紫流・(寺村)成章・(氷上)野卯・(カスカベ)梅子・  
(モリ)九價・(ホツ)世外・(ホツ)紫山・(ホツ)耕雪・千丈・雲帶・  
蓬雨・大年・(洛)梅室・(洛)九起・(洛)乙雅・(洛)梅峯・(洛)  
風光・(洛)若雅・(洛)杜鷲・(アフミ)虚白・(ナニハ)鼎左・  
(ナニハ)素屋・(フシミ)岳鳳・(サガ)丈翠・梅雪・蕉笠・馬耳風・  
楓水・撫雨・梅溪・ト水・錦華・萬山・住之・富山・梅林・青波・  
一柳・旭坊・一藤・一堀・草樂・九華・塵外・(女)松露・湧瀧

※ 芭蕉追遠  
二段組

45 追善 全紙 流芝 真清 白椿 小菊図 ○ イ 憲斎

来賀・以禮・機好・新・楓室・石嵩・愛景・素晋・桃江・三江・  
清漪・省已・先考・静和・雅松・半裡・素丈・勝錦・魚水・篋甲・

玄子・流芝

二段組

※ 初孫追善

46 秋興 半裁 兒遊 集雅堂 橋上月見図 ○ イエ ×

大夢・青城・鹿裘・雲我・吟路・朴陽・雅蓬・梅生・きらく・  
如鼠・遊夢・貫甫・(ツバタ)鶯呼・賀水・(越中)嵐汐・朴丈・  
子邁・和鳴・(ノト)荷月・六也・鯉桃・苞翠・芦舟・花笠・茶園・  
里山・柳堤・竹鴉・(エド)一具・見外・得蕪・南枝・石居・百尺・  
米山・夷則・鳥吟・金令・茶静・風外・(ナニ)素屋・其山・  
杜鴻・斑竹・(イセ)石鼎・(京)有節・祭魚・九起・柳壺・呂鳳・  
悠平・北山・兒遊

53 28

▼ 弘化二年

47 慶賀 半裁 米叟 清亮 伊勢海老・橙図 ○ イウエ ×

退歩・紫金・鼎左・素屋・其山・林曹・退又・樗太・藤涯・松亭・  
金馬・舟路・(江戸)伯遠・(フシミ)岳鳳・(老樹亭)朗寿・(女)  
てい・(てい弟)曲阜・(二男)素白・(長男)米叟 二段組

※ 「弘化二乙巳春」／老樹亭朗寿還曆祝

48 慶賀 全紙 卦龍 秋亭 盆栽図 ○ アイ 黍西

遅流・松什・杜有・伯遠・山外・太郎彦・卓郎・交左・流芝・  
得蕪・風外・洞天・帷草・由誓・(七十八)卓池・(七十二)虚白・  
楓下・笠斎・且斎・餘力・可大・砺山・蒼岱・卦龍・梅室・鳳朗・  
鳳朗・卦龍・梅室・梅室・鳳朗・卦龍・(七十七)梅室・(八十四)  
鳳朗・(以上十一句分色紙仕立)・卦龍・淡叟・鼎左・卦龍・  
淡叟・淡叟・鼎左・卦龍・風葉子・(八十三)方珠・雨外・蘭秀・  
友之・荷涼・李曉・井竹女・楓可・秋岬・其珀・文賀・秋亭・  
翠葉・斑竹・杜鴻・花調・花頭・萬項・祇白・其山・巢居・九起・  
風光・道機・黙池・祭魚・萬年・梅通・卓丈・淡節・杜鷲・杜蓼・  
岱美・有節・岱年・素屋・鶯宿・桃室・祇杖・井左・呂国・鳳車・  
光林・松隣・花屋菴・卦龍・卦龍・卦龍・(詠婦堂)卦龍 三段組

※ 「弘化第二乙巳春日 應需黍西主人書」／卦龍還曆祝

49 歳旦 全紙 萬古 圭岳 蝶玩具図 ○ アイウ 仙鳧

梅室・岱年・丈翠・梅通・杜鷲・風光・祭魚・寿堂・卓丈・淡節・  
有節・九起・淡叟・白鷗・素屋・其山・曲阜・冬岐・可大・蟻兄・  
鼎左・茂稚・烏谷・柴人・映門・器推・碩水・岱雲・悠々・駝岳・  
虚白・蛎山・流芳・桐一・桃鳥・思文・黄山・而后・月底・卓池・  
水竹・塞馬・完伍・且松・漣山・碧山・杜水・雲里・欽哉・  
〔艸〕也・可轉・嵐外・雨青・如々・立宇・呼牛・金波・霞雪・  
東梧・西馬・楓関・嵐斎・多代女・鶯阿・心阿・一止・南幽・

江三・御風・擔月・古眼・事松・北山・柳壺・悠平・呂鳳・春室・  
梧葉・夏桐・西疇・乙良・鳳朗・風外・鳥吟・萬里・三和・焉哉・  
逸瀾・湖山・太良彦・南々・弄化・仁室・吳城・寄三・虬園・  
碓鼎・山外・帷草・伯遠・幻外・由之・太乙・五株・呂川・叩月・  
杜有・梅笠・卓郎・松什・丁知・抱儀・濱□・言山・峽舍・芦窓・  
枝玉・萬項・□□・麻友・得蕪・茶靜・百丈・大鵬・亘來・春峩・  
為一・聽松・小柯・冰壺・椎陰・溪齋・遲流・米山・夷則・除道・  
金令・見外・一具・流芝・祖鄉・玄子・太珉・双・秋香・只涛・  
如艸・一祐・勝錦・溶々・魯心・為山・由誓・萬古・萬古

※ 「弘化二巳年正月」

三段組

※ 「弘化二乙巳歲」

51 歲旦 全紙 為山 洞章 探幽扇面物語図 ○アイウエ 半儷

惟艸・弄化・万古・秋香・万丈・雙・梅笠・樗由・幸舍・幻外・  
萬里・鳥吟・大鵬・遲流・溪齋・由誓・得蕪・溶々・玄子・魯心・  
夷則・太珉・祖鄉・風外・一具・梅室・為山 二段組

※ 「弘化乙巳春」

52 春興 全紙 春室 雀巢 山桜図 ○アイウエ 規夙

鳳朗・風外・一具・伯遠・雲里・太良彦・有節・呂鳳・御風・  
多代女・梅通・而后・塞馬・茂椎・眠宣・素屋・越峨・周化・  
石庭・素雷・棠花・歌仙・応村・玉鳴・抱溪・柳臯・雪良・耕甫・  
梧塘・乙彦・令我・偉文・(五泉) 寿山・越有・李年・一二三・  
応翁・鯉友・梅節・梅溪・婦耕・左竹・甫山・秋圃・丈水・有谷・  
芳雨 一段組

※ 53と一對

53 春興 全紙 春室 雀巢 山桜図 ○アウ 規夙

淡叟・三和・悠平・茶靜・梵阿・林曹・苞竹・吳城・溶々・一止・  
礪山・可大・一清・為山・駝岳・碧山・萬古・竹烟・清民・呂風・

50 歲旦 全紙 石居 其一 片栗図 ○イエ 半儷

梅室・岱年・杜鷲・有節・九起・梅通・淡叟・其山・白鷗・素屋・  
鼎左・冬岐・曲阜・蔣池・愛象・鳳棲・桑葉・得雅・涼呼・北年・  
淡亭・柴人・虛白・巾帆・石鼎・夜白・笑々・黃山・月底・而后・  
卓池・完伍・碧山・尺葉・太郎彦・呼牛・東梧・西馬・一止・  
御風・淡節・乙良・恕兮・呂鳳・北山・悠平・柳壺・風外・米山・  
徐道・李且・松什・幻外・由之・萬古・鳳朗・由誓・助宣・一具・  
逸瀾・風外・杜有・為山・得蕪・北揚・彦二・一雅・太乙・惟草・  
祖鄉・伯遠・流芝・交左・金令・山外・大鵬・卓郎・茶靜・見外・  
百尺・石居 二段組

舍用・楓関・柳壺・其山・焉哉・梅室・茶山・乙良・北洋・玉岱・松舎・花船・嵐々・璣斎・乗化・□□・晴楓・秋富・春哉・鷺眠・稲彦・映窓・清水・日何・一花・秀草・美桶・蕉園・素年・友徳・越山・青湖・井草・梅籬・(丸山)蕉月・原泉・梅逸・可村・梅甫・寥雨・黄羽・眉白・芒岡・応光」粗哉・山幸・越彦・一誓・邦昌・萬遊・藤川・峨紅・蓬月・確鷺・洲玉・宇洪・和生・花朝・素外・和養・奇峰・北雄・琴遊・良眠・峯暁・憑權・素氏・梅遥・峰楼・菊水・可及・整斎・廣遊・李情・一涛・東明・出之・松遅・素白・孝遊・□□・□□・□□・好□・菊□・あ岐雄・志氏・董塙・松亭・(駒井)蕉月・(水原)寿山・亀栄・春庭・可月・梅雲・萬涯・蘆雪・一雄・碧山・半醒・月照・豊盛・里桂・梅九・之水・涼洲・規夙・竹鶯・竹二・抱嶺・春室

※ 52と一対

二段組

54 歳旦 全紙 柳壺 × | | | ×

梅室・有節・杜鷺・岱年・冬岐・曲阜・素屋・鼎左・鳳棲・芳之・臥雲・雪居・御風・南崖・梧葉・眉白・西畴・乙良・晚籟・竹雨・習之・梅兄・哺鳩・美升・寄鼎・勤所・竹塙・之諍・貞孝・荷月・六也・鶴居・花溪・柳堤・香醉海・大雄・北鳴・角招・桃夭・竹水・貴存・逸洌・伯遠・助宣・荷少・梅笠・流芝・風外・溶々・鳥吟・仁寶・梵阿・西馬・鳳朗」卓郎・溪斎・魯心・右斤・太乙・得蕪・太良彦・杜有・恕兮・季円・杉朝・嵐汐・松今・如塙

乙雄・木兄・甫草・都山・柳窓・可丈・栗山・和鳴・子邁・北園・子用・玉碇・里魴・武亥・賀水・我柳・鶯呼・鹿裘・應叟・児遊・季節・清由・克亭・悠平・金令・大鵬・米山・寄三・梅樓・百尺・石居・見外・呂鳳・北山・卓丈・柳壺

※ 飾梓上天地色違打曇料紙

二段組

55 その他 全紙 百舟 凌雲 出帆図 ○ イエ 仙鳧

百舟・百舟・瑶池・渡鶴・不爭・(少年)彦二・不爭・瑶池・百舟・瑶池・瑶池・不爭・百舟・彦二・渡鶴・不爭・瑶池・百舟・彦二・渡鶴」百舟・石居・百尺・見外

二段組

※ 「弘化乙巳年晩春」／百舟舟旅記念

56 その他 全紙 荷少 椿年 青楓 瀧図 ○ アイ ×

梅室・岱年・九起・杜鷺・有節・雨翠・孤柳・丈翠・淡叟・林曹・鼎左・鶴翁・其山・白雀女・素屋・水月・白鷗・杜鴻・素日・為声・乙蟻・松緑・呂國・紫金・退歩・与祢女・竹陰・金麗・梅賀・一束・朗壽・静峨・五柳・樗太・鳴々・舟路・藤涯・さく雄・一東・崑久里・金陵・幽水・赤志・枝雄・葦秋・曲阜・太乙」虚白・礪山・夜白・石鼎・東宇・卓池・鳳朗・由誓・為山・得蕪・見外・流芝・卓郎・呂川・一具・松什・丁知・萬項・南枝・助宣・杜有・由之・萬古・桃郷・可道・芥舟・松五・淇石・杜風



酒長・折桂・山外・百丈・素伯・溪齋・五株・伯遠・荷少

二段組

※ 「巳の初夏」／百丈・素伯送別

57 夏興 全紙 曲淵 来章 青楓・瀧図 ○ アイ ×

梅室・道機・風光・琴亭・雨翠・孤柳・吳明・九起・杜鷺・梅通・  
梢蘿・龜洞・柳水・南徳・盛美・岱年・芳英・乙雅・(少女)  
きく丸・枝月・梅石・丈翠・杜涼・富川・縫女・大竹・柏翠・  
芳水・祭魚・禾明・篤明・仙歩・豊見・其夕・巴江・朗風・其山・  
素屋・史隆・此方・曲阜・蕙逸・東蒼・米友・無九口・陶年・可松・  
桃谷・芋丈・里声・烏都雄・楓下・鷺洲・養瓜・桐一・東宇・  
石鼎・梅西・青松・之青・篤之・笑々・鶴渚・昌風・李曠・鳥朝・  
市雪・思父・且松・碧山・柳壺・悠平・勤泥・北山・鳳兮・呂鳳・  
成之・茶溪・如蓮・三蒿・仙菓・委水・蒼雪・静丸・素峰・有節・  
(菴裡) 曲淵  
二段組

58 夏興 全紙 梅盧 鶯宿 松原図 ○ エ ×

虚白・林曹・九起・有節・梅通・其山・杜鷺・可大・梅室・五機・  
伯遠・山外・助宣・西馬・月下・此方・世外・石鼎・愿泉・吳明・  
霞村・玉脂・霞洲・岳鳳・柴人・史也・器推・木長・岑磨・潮・  
太六・万像・閑雲・悠々・雲耕・堯洲・墨雨・富草・朝江・芽之・  
希康・半谷・梅堂・茶城・李洲・蔣池・暁梅・玉梅・子昌・鷗池・

松洲・蓬壺・回風・秋十・楓所・裁霞・光頭・素琴・柏堂・世粟・  
撫雨・梅盧  
二段組

59 慶賀 全紙 淡叟 文泰 素戔男降臨図 ○ アイウ ×

(エド) 一具・風外・溪齋・伯遠・惟草・見外・流芝・山外・荷少・  
卓郎・金令・玉光・太良彦・了枝・旬宣・杜有・逸瀨・鳳朗・(奥)  
多代女・清民・一止・(出羽) 松花・國彦・(エチゴ) 春室・乙良・  
(ノト) 竹塙・龍史・(ミカワ) 卓池・(スルガ) 岱充・漣山・(遠江)  
文龜・(ワワリ) 黄山・我竟・(イセ) 夜白・藏六・笑々・雀叟・  
一幽・井左・水月・白鷗・鼎左・鶯宿・素屋・秋水・呂國・起然・  
空静・松隣・山庵・葛齋・斑竹・杜鴻・名都躬・一葦・四竹・  
六龍・孤支・秀紫・炉雪・苜民・桃年・貞華・椿枝・九瓜・可推・  
柳扈・春萌・梧琴・五音・醉茶・自来・蓁々・南崖・里鶴・雀蛤・  
耕春・桂花・墨池・桃霞・招鶴・如慶・棠居・巫山・仙夢・浪懸・  
笛三・粧山・柏年・知風・祇白・其翠・苜雀・苜江・墨山・松室・  
其風・史友・松栄・米山・玉呂  
二段組

※ 八千叟快氣慶賀／60と一對

60 慶賀 全紙 淡叟 文泰 素戔男降臨図 ○ イ ×

(アフミ) 楓下・(イガ) 養瓜・(ヤマト) 鵬雲・八千男・富洲・南岳・  
(高野) 鼎峯・昭々・閑那・(京) 岱年・九起・有節・杜鷺・鳥谷・  
雪桃・梅石・得雅・梅室・(美作) 徐来・春溪・雲路・益彦・益雄・

七尺・小軒・青州・鷗浪・龜遊・千々春・半桂・玉川・耳水・  
 (備ゼン) 几麗・楚狂・涼呼・樗江・(備中) 北湧・春柎・(イツモ)  
 一婦・一誠・眉英・亮□・尺山・完臺・綠島・(ハリマ) 箕堂・  
 梅且・耕耘・飯盛・羽白・宗謙・(サヌキ) 龜山・五石・糸翁・  
 薰花・米人・(イヨ) 玄和・浮舟・映門・素亭・井峨・著均・(トサ)  
 花仏・(アハ) 蘿彦・松丈・大年・釣月・(赤間セキ) 岑磨・(フゼン)  
 三窓・春暉・桜兄・昌人・柳后・(ブンゴ) 素隱・伍尺・榛園・  
 春和・春星・朝翠・陽和・其芳・蘭之・湖声・石友・秀蘭・菊人・  
 烏洲・台栗・(肥前) 帶月・曙山・玉山・蛙水・蘆山・几蝶・(ヒゴ)  
 十帟・(日向) 双鳥・駝岳・(行脚) 且齋・餘力・佳峯・波同・(兵ゴ)  
 董秋・(イトミ) 紫風・曲阜・太乙・紫金・(サカイ) 此方・此松・  
 荒野女・麥雨・笠齋・(傳法) 重威・一東・春艸・竹兒・臥堂・  
 曾洲・青良・竹人・竹一・不角・月桂・都貴・栖鳥・椿立・帟尺・  
 可風・春帖・知流・半窓・晒波・文鶯・其山・烏白・烏誠・古樂・  
 李蝶・二桎・花調・風月・吳雀・箕年・詞山・金二・洗志・淡叟・  
 淡叟

※ 八千叟快氣慶賀 / 59と一対

三段組

61 追善 全紙 珪琳 一峨 赤松函 ○ アイ ×

蓮之居士・珪琳・瓢圃・梧十・叟竹・甘志・介我・不老・罔父角・  
 素雄・珪雨・鳳朗・確嶺・梧十・風外・桂臺・一賀・岱阿・岱巢・  
 旬光・松什・山外・梅室・岱年・九起・水眠・松花・溪齋・梅笠・

見外・風齋・玉志・楠嶺・杜鷲・其山・鼎左・林曹・必山・草室・  
 草屋・金午・秋桂・由之・昨非・呂川・山峰・逸澗・稻塢・丁知・  
 萬里・蛾屋・半湖・□□・芳松・高松・游寿女・文路・素屋・  
 淡叟・虛白・悠々・雀叟・都遊・無角・其月・隨風・月峰・為山・  
 得蕪・惟草・太郎彦・伯遠・溶々・卓郎・流芝・一具・由誓・  
 舛山・夜白・蓬宇・觀外・而后・水竹・卓池・道舊・萬嶺・松欣・  
 湖松・竹砂・甘志・不老・草庭・三止・竹馬・双山・普船・都月・  
 □□・□□・介我・吉良・(古人) 一雨・(古人) 関雄・(樽巷郎)  
 瓢圃・とよら女・雪彦・萬俄・椿操尼・(水廻屋器叟改勿時庵) 珪琳

三段組

※ 「弘化二己夏」 / 珪琳齋蓮之居百十一回忌

62 慶賀 その他 雅琴 清暉 涼縁台函 ○ イ ×

(京) 岱年・有節・芳英・薺堂・芹舍・荃涼・雨翠・丈翠・木容・  
 成祇・風阿・枝月・曲澗・秋對・雨江・淡節・鳥谷・輿角・默池・  
 梅通・九起・杜鷲・梅室・(江戸) 鳳朗・一具・確嶺・由誓・(尾州)  
 而后・黄山・梅裡・一清・蓬陽・(ナニハ) 淡叟・其山・素屋・  
 林曹・鼎左・曲阜・仙夢・祇白・白鷗・(參河) 卓池・蓬宇・(江忍)  
 虛白・芋丈・楓下・可松・陶年・砺山・(ハリマ) 可大・(山田)  
 東宇・松圃・五畝・樗山・梅西・篤之・石鼎・(四日市) 流芳・  
 霞汀・柳塢・岐蝶・自耕・都岐雄・(松坂) 夜白・自臺・睦水・  
 舛山・月ノ舍・米府・抱節・示豊・霞涯・いはほ・(シマヌキ) 蒼龍・

静池・對鷗・(イガ)養瓜・(ツ)貉睡・雀叟・(山田)桐一・淇石・  
 (ツ)梅曦・不山・単白・初哉・春整・紫玉・芦暁・野鳥・野芳・  
 花因・花明・竹友・松堤・土丈・巴丈・梅巢・亦夢・霞丘・鳳笙・  
 雪嶺・唇冷・米花・芳禾・岱月・可涼・素留・□□□□若葉・  
 蟻扇・五鈴・立蒼・柳眉・麦子・花麦・最隱・梅季・春月・春糸・  
 春遊・春霞・花月・柳固・川竹・中舎・世音・給墓・左石・吞蝶・  
 春蝶・豊青・龜叟・香甫・春灑・石水・荻舎・畚麦・  
 雅琴・烏谷・雅琴・烏谷・雅琴  
 二段組

※「弘化二巳乃夏」／雅琴五十賀／全紙横型

63 春興 半裁 此恠 梅陰 白樂天謡本図 ○ ウエ ×

此角・麦雨・桃教・(ナニハ)鼎左・素屋・山麗・餘力・休叟・  
 淡叟・(ナニハ)米仲・梅蒼・祥亭・籟夫・蝶花・晴方・琴屋・  
 琴夫・松夫・松庭・(蝶夢更)一之・竜教・其律・此水・帰撫・  
 芦舟・(南紀)月下・(行脚)蘇山・(洛)祭魚・此方・藻雨・笠齋・  
 槐月・宥雨・(タンバ)怒月・光月・寛来・柳月・(フセヲ)不二・  
 (カフチ)一松・春籠・南暉・史梅・野螂・荷月・孤鳳・馬風・  
 日半・此雲・千教・梅壺・松涛・史友・此恠  
 53 3 3

※「花西峯吉梓」の朱印あり

64 秋興 半裁 鼎左 秋亭 大江図 ○ アウ ×

雨外・買山・蘭操・李暁・翠葉・耕雲・梅人・秋亭・素白・其珀・  
 楓可・芝耕・佳水・秋岬・素屋・光林・超然・(さかひ)麦雨・  
 (さかひ)芦舟・(さかひ)春籠・(なだ)草居・(大和)幹陰・(在若山)  
 花林・(三田)冬岐・(赤穂)聴洋・(なら)可生・(日向)其石・(土佐)  
 木笠・(土佐)花佛・(石見)青池・(左海)此方・(若山)月下・鼎左

33 1 9

65 秋興 全紙 凡来 小虎 月下蘇鉄図 ○ ウ ×

(洛)梅室・九起・有節・風光・琴亭・祭魚・梅通・杜鷲・丈翠・  
 芳英・雨翠・鉄好・理芳・岳鳳・岱年・(浪速)鼎左・素屋・松隣・  
 其山・淡叟・秋水・石苔・五芳・竹水・水月・花鷗・千齡・潮水・  
 異聲・(高野)閑那・鼎峯・(若山)月下・世外・閑令・華実・麦雨・  
 拾翠・金江・弄花・升峰・月窓・春黛・笠齋・桃枝・鹿野女・  
 藻雨・春籠・槐月・松雨・野螂・馬風・子麦・松涛・史梅・荷月・  
 南暉・梅壺・日半・史友・此松・富春・芦角・五岳・芦丸・其律・  
 千塵・子尺・松庭・其風・江鳥・竜枝・芦舟・此方・凡来  
 二段組

66 その他 全紙 太乙 祭魚 天徳丸出帆図 ○ アイウエ ×

伯遠・芥舟・酒長・牡有・松什・荷少・鳳朗・一具・由誓・溪齋・

見外・五株・素伯・百丈・梅室・有節・九起・杜鷲・淡叟・其山・  
白雀女・乙蛾・松緑・貫道・素屋・鼎左・林曹・紫□・退歩・  
糠人・□□・樗太・崑久里・五柳・藤涯・静峨・よね女・鳴々・  
曲阜・太乙  
二段組

※ 百丈素伯帰東送別

67 追善 全紙 孤松 桃嶺 落葉図 単(墨) イ ×

(亡) 露淵・孤松・岳鳳・桃五・杜鷲・古鏡・梅室・貞哉・斑竹・  
斜月・杜鴻・蓬子・素屋・岳鳳・杜鷲・九起・鶯語・有節・可大・  
桃五・木容・虚白」・(七十八叟) 岡翁・(少年) 辰祐・富江・小猿・  
(八十一翁) 白叟・芙蓉・一海・柯調・古鏡・孤松  
二段組

※ 露淵(河内国交野の住) 追善

68 秋興 全紙 北山 景雲 萩図 ○ イエ ×

梅室・有節・祭魚・木容・曲阜・鼎左・鶯宿・光林・松隣・素屋・  
竹塙・貴存・青鷲・蘭亭・鶯叟・由年・大雄・北鳴・李旭・花溪・  
梅明・潤恣・寄鼎・帛切・蛤城・友朔・文輔・秋雲・花友・美升・  
稿波・鳳兮・乙雄・樂水・素紉・鯉逸・峰水・林水・花弟・德地・  
可丈・月川・恕兮・廉夫・甫草・五柳・都山・山沢・幾年・柳窓・  
旭芝・木兄・林處・恣兮・乙良・春室・涼莎・二葉・玄子・鼎峰・  
可恣・芋丈・漣山・石采・卓池」・見外・溪齋・茶静・流芝・伯遠・

徐道・呉城・百丈・千端・梅石・氷壺・風外・卓郎・逸淵・丹嶺・  
呼亭・木圭・里魴・松坡・棋樵・芦舟・鶯呼・賀水・我柳・季節・  
児遊・素玉・武亥・柳壺・卓丈・呂鳳・北山  
二段組

69 秋興 三裁 呉翠 天翠 秋草図 ○ イエ ×

(京) 九起・祭魚・(大サカ) 素屋・里橋・(ムツ) 江三・三朝・一止・  
(カド) 柳壺・悠平・(エツ中) 廉夫・竹外・(エチゴ) 春室・(デハ)  
御風・(シナノ) 石聲・(上ケ) 飯俗・(サガミ) 乙居・岡部・(ムサシ)  
桃清・梅石・(エド) 繡鶴子・山和子」・惟草・寿樂子・花山子・  
遊花女・龜丸・静波・柳水・豊臺・呉竹・朝晴・樵雨・露翠・  
昇兔・呉春・翠峨・長妓・仁寶・針々・呉城・呉翠 41 22

※ 「巳の秋」

70 秋興 全紙 梧葉 雪叟 萩干図 ○ イエ 淳堂

(エド) 由誓・得蕪・萬古・樹石・為山・小柯・春峨・魯心・溶々・  
椎蔭・見外・確嶺・(ミヤコ) 梅室・有節・柳悠・九起・風光・  
杜鷲・梅通・岱年・(ナニハ) 淡叟・其山・素屋・蟻兄・白鷗・  
鼎左・(イタミ) 曲阜・(三田) 冬岐・(ラフミ) 虚白・蔦雨・芋丈・  
礪山・(イセ) 梅曦・夜白・桐一・(キイ) 閑那・(イヨ) 柴人・(トサ)  
董崖・(アハ) 露泉・(サヌキ) 今是・(ハリマ) 可大・(ヒゼン) 布国・  
(キビツ) 淡亭・(ナガト) 峯丸・(ヒゼン) 悠々・□□・(ナガサキ)  
岱雲・(ムサシ) 太良彦・五渡・(サガミ) 如々・(スルガ) 碧山・(カイ)

欽哉・(上毛)竹煙・西馬・(下毛)楓関・(ヒタチ)野巢・(ムツ)  
一止・南幽・一儂・清民・多代女・(デハ)玄子・(ノト)呂鳳・(カミ)  
柳壺・卓丈・悠平・(ヲハリ)而后・黄山・鵬居・蓬陽・月底・  
(ミカハ)水竹・流芝・完伍・塞馬・卓池・(エド)風外・逸淵・  
溪斎・伯遠・遲流・鳥吟・大鵬・機蝶・如草・氷壺・山外・一具・  
春室・(在江戸)鷺眠・北洋・沙堂・乗化・茶山・鱗足・ひで女・  
稻彦・道雄・亀友・木山・芝岡・守年・周伍・竹鶯・古巷・雪良・  
梅溪・竹宇・北里・葦沙・春哉・梅逸・夏桐・乙良・西疇・眉白・  
梧葉  
二段組

※ 「巳の秋」

71 秋興 全紙 桃室 吞舟 紅葉山居図 ○ アウ ×

梅室・素屋・其山・岱年・淡叟・鼎左・(サヌキ)嶺雲・(サヌキ)  
一舟・(ヒゴ)巫山・(江戸)見齋・一雨・琴吹・汶室・(トンダ)  
觀来・(ハリマ)梅六・(ナダ)松榮・(ナダ)叔柳・(ナダ)枝雄・  
(ナダ)梅屋・(ナダ)荈月・花濃・淡雪・歛樂・豊樹・東山・花朴・  
荈江・延柯・一來・花盛・花雪・花郷・松一・荈雪・二木・斗雪・  
升若・桃渚・米老・荈秀女・盛玉女・荈寿女・梅寿女・桃春女・  
杉夫・呼龍・月静・楚陵・李蝶・其隣・月住・糸継・一閑・友月・  
何秋・竹葉・空堂・岱朗・竹里・軸人・雪岬・貴雪・素英・真澄・  
(山芝更)桃月・五葉・素陶・(井本庵)千鶴・(井李庵)楚水・  
(椎本庵)蟻道・桃室  
二段組

72 秋興 全紙 悠平 景雲 稻・小禽図 ○ アイエ ×

梅室・杜鷺・祭魚・伍員・(雲水)碩水・(雲水)東升・九起・有節・  
(フシミ)岳鳳・(浪花)素屋・呂国・斑竹・杜鴻・白鷗・(備前)  
孤山・(アハチ)希康・墨雨・芳芝・蔣池・(イヨ)映門・(肥前)悠々・  
(越后)乙良・春室・(イセ)石鼎・(常陸)野巢・(ノトワジマ)晚籟・  
(明泉寺)竹雨・(ウ出ツ)習之・(ウ川)白史・其樂・梅州・紫山・  
嵐居・(正院)野艾・鳳兮・(ウカヒ)生化・(タケベ)貴存・(二宮)  
花月・(トキ)花溪・(小谷)里山・(松ナミ)稻波・(杉ノヤ)柳提・  
(飯田)勤泥・(七尾)竹塢・(江戸)見外・伯遠・杜有・梅石・  
仁寶・萬古・吳城・溪斎・一具・(エチ中放生ジ)子邁・(伏木)和鳴・  
(杉ノ木)嵐汐・(戸出)都山・(中田)月川・(麻生)甫艸・(滑川)

吳山・(三良丸)松兮・(三日市)怒兮・(ツバタ)鶯呼・賀水・石紅・  
我柳・(ツルギ)撫撫・克亭・鹿裘・應叟・五梁・遊夢・玄孔・  
朴陽・風和・季節・素文・北山・(在江戸)呂鳳・柳壺・悠平  
二段組

73 慶賀 全紙 如葛 耕塢 石路図 ○ アイ ×

鼎左・桃室・井左・水月・井資・万利・光林・休叟・寿扇・松隣・  
素屋・眉山・超然・吐屑・鶯宿・秋水・草齋・百堂・(神戸)叙柳・  
(神戸)梧遊・(和五条)益園・(和丹波市)佳交・(ナダ)芝童・(洛)  
錦嶺・(在坂越後)一雨・(播室津)宗漁・巨洲・荷村・不角・旭芳・  
梅蒼・佳水・一貫・棋塢・松生・万英・万遊・友之・雨笛・如珪・

素外・吐六・直丸・鶴歩・素陶」・天来・眉年・貞野・貞哉・  
(大和田)花亭・(大和田)魁樹・(大和田)雨柳・可樂・貴水・小簀・  
梅枝・公古・珉朝・義一・松一・五葉・松月・万價・歛山・吳鳥・  
南草・祇錦・尺粹・祇蓬・榎里・里優・梅恋・帟友・梅塙」・春人・  
楓良・一蕉・(丹波市月鴻庵)桑夫・(守部)如一・(守部)一水・(守部)  
雨竜・(守部)如蛩・(守部)如蝶・(榎江舎)祇杖・(石霜菴)如葛・  
(誹脚)加賀雄・(誹脚)保光  
三段組

※ 「弘化二乙巳小春」／「継号記念」

74 追善 全紙 湧瀧 義亮 萬歳図 ○ アイ ×

翁・(サ、山)湖舟・(寺ムラ)愚仏・(ホツ)紫山・(ホツ)耕雪・九華・  
月撫・大年・千丈・雲帶・松露女・一藤・草樂・一堀・梅林・  
青坡・錦華・蕉笠・龜遊・芦山・梅溪・富山」・(江戸)駿臺・(江戸)  
大々・(出羽)涼莎・(出羽)玄子・(高野山)鼎峰・(高野山)閑那・  
(ヒゼン)悠々・(チクゼン)野竹・(ナニハ)貞華・(ナニハ)素屋・(洛)  
杜鷺・湧瀧  
二段組

※ 芭蕉忌

75 歳暮 全紙 呂川 圭岳 水辺寒椿図 ○ アイエ ×

梅室・鼎左・其山・素屋・多代女・卓池・由誓・得蕪・丁知・  
南枝・峽舎・萬項・言山・叩月・白起・云爾・水哉・羽人・文昇・

百丈・□□・卓郎・一具・□□・□□・柳□・折桂・抱叔・雲臥・  
素伯・小柯・岳蔭・荷少・完鷗・宗羽・濱吉・吉守・太良彦・  
外内・伯遠・呂川  
41 4 3

※ 「乙巳晚冬」

乾三

「乾之三編／萬色一睨／松陰」



後表紙に「弘化丁未梅雨  
晴後／□□苑蔵」とあり。

▼弘化三年

1 その他 全紙 佳峯 貞華 水鳥図 ○ イエ ×

一具・了枝・松竹・由誓・風外・伯遠・荷少・素伯・逸瀨・見外・  
蘭静・為山・流芝・惟草・丁知・素行・万古・山外・金令・夷則・  
祖郷・西馬・三和・五株・溪斎・得蕪・太良彦・宗古・多代女・  
流芳・都岐雄・貞山・蒼尾・石采・水竹・卓池・五音・柳扨・  
鼎左・秋水・月桂・二桎・南崖・里鶴・松隣・松室・都印・祇白・  
董江・米山・桃室・素屋・楨立・藜々・御風・花朴・呂國・素日・  
巴山・徐来・嵐水・史友・鶯宿・雪径・花調・洗志・井竹女・  
白雀女・好月女・空静・井左・水月・白鷗・淡叟・梅室・岱年・  
七尺・百丈・駝岳・双鳥・桃年・帟尺・春帖・万風・嵐鶴・溪徇・

梅底・椿枝・其山・烏白・万撫・半窓・晒波・文鷲・竹児・九瓜・  
青良・臥堂・知流・狼膽・貞華・佳峯 三段組

※ 佳峯送別

2 慶賀 全紙 和照 五碩 柳 玩具図 ○ アイ ×

水月・和照・蓑月（三吟半歌仙）・秋水・鼎左・鶯宿・素屋・其山・  
松隣・萬利・壽扇・空静・白鷗・淡叟・（伊与）一峯・里鶴・  
林亭・巨洲・松人・子蝶・其雀・貞艸・恒丸・龜石・竹芳・蓑月・  
和水・龜川・野牛・梅子・白路・笑居・茂山・光水・花木・崑月・  
翫二・鷺洲・和照 二段組

※ 「丙午春」／薰風庵和照還曆祝

3 歳旦 全紙 悠平 素亜 舞図 ○ アイ ×

梅室・秋鷲・雨翠・風光・道機・有節・禾明・仙步・其夕・朗風・  
篤明・岳鳳・碩水・桃五・柏翠・芳水・杜涼・文翠・九起・梅通・  
閑嶺・祭魚・岱年・悠々・流芳・石鼎・砺山・玉脂・可松・芋丈・  
月坡・虚白・淡叟・鼎左・素屋・井資・白雀・桜哉・其山・蟻兄・  
林曹・曲阜・冬岐・而后・卓池・一具・溪斎・逸瀨・白遠・徐道・  
樹石・竹山・右斤・萬古・岳陰・流芝・見外・風外・惟草・焉哉・  
三和・幻外・仁宝・呉城・茶静・呉翠・氷壺・卓郎・由誓・東舛・  
如醉・可笑・和鳴・春室・大経・乙良・北遠・季節・賀水・

みつめ・林亭・双翠・我柳・雅蓬・雪下・素玉・柳馬・悠平

二段組

4 歳旦 全紙 悠平 華山 萬歳図 ○ イウエ ×

梅室・可笑・松隣・光林・鶯宿・素屋・月底・鴻水・一清・為山・  
鳥吟・如草・青和・百丈・白遠・風外・御風・淇筇・寶雪・其僊・  
如醉・可幽・夏庭・瀧溪・可笑・之謹・文濃・禹切・寄林・潤松・  
和鳴・子邁・正齋・筍堂・花精・月笑・怒兮・都山・五柳・柳窓・  
如稚・十亭・成鳳・乙良・西疇・桐齋・眉白・清水・梧葉・道雄・  
春室・茶山・一止・ミち雄・鼎峯・茶烟・杉露・丹嶺・呼亭・  
木圭・北遠・松坡・草紫・棋樵・鶯呼・賀永・我柳・馬桂・(女)  
省眠・常波・凶大房・篤朗・松央・季節・晴江・雅蓬・双翠・  
玉川・里泉・一翠・玄紵・皋山・みつ女・見三・素玉・(在カ)  
桜哉・完和・悠平

88 88

5 春興 全紙 夕照 雪叟 桜・土筆・蒲公英図 ○

イエ 淳堂幽人

由誓・風外・万古・百尺・金令・一具・(ノト) 呂鳳・(カ) 卓丈・  
(シナ) 路臣・(上毛) 西馬・ミち雄・(ムツ) 清氏・春齋・英泉・  
(キイ) 茶烟・杉露・(トサ) 古鳳・(ミカ) 石采・淡叟・其山・  
光林・杜鴻・素屋・有節・梅室・木山・董沙・夏桐・芹洒・桐齋・  
如好・梧葉・春成・飛亭女・蕉月・睡涛・梅籬・白峰・北里・

道雄・菱岳・汀柳・玉林・眉白・梅逸・西疇・乙良・桐臺・古巷・  
可村・夕照

51 51

※「丙午の暮春」／全体に薄茶の段霞をひく

6 慶賀 全紙 青山 米冲 雀親子図 ○ イ ×

鼎左・松隣・祇白・竹児・花兄・悠々・杉夫・旭芳・青良・芦江・  
照門・梅應・素英・尽樹・俗洲・友月・其柳・芦雪・月方・菊八・  
松月・吐六・光林・井左・秋水・白鷗・芦汀・花調・臥堂・芦笛・  
米老・芦民・汝室・珉朝・鶴齡・觀来・笠洲・芦鶴・松室・万英・  
梅也・芳川・東遊・李蝶・五葉・梅蒼・夢洲・寿扇・眉年・艸齋・  
鶯宿・貞哉・万利・尺粹・烏石・露中・枝雄・竹翠・梧遊・草岳・  
梅屋・松洞・崑楽・馬禿・淇雪・玉呂・為聲・楓良・井資・春人・  
桃室・(放雀園) 青山

二段組

※ 旧号相統之賀章乾／7と一対

7 慶賀 全紙 青山 風月長者 竹林図 ○ ウエ ×

天来・其山・花濃・梅橋・直丸・卜隣・桐月・松一・延柯・晁夢・  
柳月・鷺江・淇水・月曆・三五・蟻声・前兆・秋種・吾柳・義一・  
竹友・花郷・其声・幸雄・桃洲・竹一・不角・光林・吐屑・百堂・  
蟻兄・眉山・葛齋・乙鷺・梅鳳・荷村・栗女・花玉・鶴齡・龜水・  
雀羽・関守・琴秀・逸伯・吳鳥・蟻道・楚水・月江・水月・呂国・



山麗・佳峰・一來・素陶・花朴・照門・万遊・其隣・梅弟・東山・木兆・長水・修竹・斗雪・竹里・軸人・かゝを・如玉・扉友・千鶴・牛角・素屋・桃室・(かきつば) 青山 二段組

※「弘化丙午夏」／旧号相続之賀章乾、6と一對

8 慶賀 全紙 乙蟻 清暉 盃中猩々図 ○ イエ ×

士實・橙花・盆中・草乙・月鳳・停雲・春風・黄白・茶室・薇園・釣月・知堂・鷹拳・東塘・霞外・紫莖・松室・巴柳女・貫道・荷月・松緑・菅笠・素日・杜鴻・斑竹・太乙・朗寿・五柳・曲阜・竹陰・杜陵・佳秀・迪水・南山・仙林・巨舟・米花・一室・支旭・梧雄・青柳・月窓・市仙・乙雄・寸鳳・芦洲・文好・乙人・栖山・素屋・木容・林曹」・乙蟻 二段組

※「弘化丙午夏」／乙蟻快平祝

9 夏興 全紙 一花 画者不明 雷雲図 ○ アイウエ ×

如息・四山・梅室・有節・祭魚・梅通・砺山・可松・芋丈・柳臺・曲山・呂鳳・政臣・御風・其僊・涼莎・多代女・一止・尊阿・未足・竹煙・其山・素屋・白鷗・岳鳳・希康・魚樂・鼎峰・杉露・鳳棲・夜史・鶯居・映門・慶五・悠々・卓洲・水竹・完伍・欽成・五渡・竹山・月庭・而后・一具・橘水・茶静・松什・見外・丁知・百丈・如草・鷺眠・風外」・乙良・大経・篤之・花船女・和風・

似忝・花粧・青桂・夏涼・悟友・道雄・夢岳・古柳・青湖・許心・玉林・菊二・素文・松良・升草・松亭・里睦・松逕・李情・松庭・子桐・茶山・曲洋・松窩・底芝・夢三・志扇・澄秋・宜風・今成・康哉・雪留・宜郎・蓬亭・其則・東木・湖舜・風和・歌生・寿山・旭梅・雪心・顯兮・三呼・雨海・友徳・花朝・桐斎・一江・曲斎・一花 三段組

10 歳旦 縦半裁 笠齋 鵬洲 絵馬図 ○ アウエ ×

(洛) 梅室・(洛) 祭魚・(洛) 凡来・(洛) 杜鷲・(ナニハ) 鼎左・(ナニハ) 素屋・(ナニハ) 卦龍・(ナニハ) 花調・(ナニハ) 其山・(ナニハ) 淡叟・一鷺・雨徑・藻雨・眉招」・春籠・鹿野女・弄花・(少年) 拾翠・芦丸・雨尺・子尺・龍枝・千塵・五楓・芦舟・麦雨・秋招・此方・笠齋 29 22

※「弘化三春正月」／左下に「井岸辞」の朱印あり

11 春興 縦半裁 美彦 来章 恋猫図 ○ イエ ×

鳳朗・卓池・素屋・乙路・桃室・(撰北富田社) 杜洲・観来・柳洲・千和・石磷・都雀・三朝・春艸・吟松・石雌・春翠・其水・成美・笑華・呂調」・東陸・糸文・半僧・秋人・美香・(頼) 石・美躬・美彦 28 29

必山・白山・瓦松・鳳池・菜丘・芦川・東等・一枝・如年・霞龍・  
 桃林・柳坡・吳岳・春岐・砂北・俊丸・可摘・松霞・馬谷・樹月・  
 一方・曲於・尺西・(ハリマ) 厩山・吾雲・愿泉・寿山・捨来・  
 素香・松歩・來青・最之一鳳・青坡・伯也・月泉・梅鞠・校園・  
 風草・成錦・晴柳・秋守・南楠・芳盛・玉朗・文魚・(メカ) 史隆・  
 (ミヤマ) 鷹影・笠村・梅山・柏園・史岳・九野・(ソ子) 撫風・  
 国丸・為風」・(ヒメヂ) 馬尹・其瀧・至明・玉映・草露・沛雨・  
 魯松・薰風・五麗・為一寸外・橙黄・(ハリマ) 帰雀・一島・  
 飛潜・蓼人・無二・大瓠・北梅・甘水・古谷・(タンノ) 冬也・  
 吳秀・而都岐・皎風・青巴・(ハリマタツノ) 鞞吹・九松・岱陽・  
 為水・花兄・其仙・梅霞・稻丸・翠雄・杉寫・梅睡・石帟・一蝸・  
 栗鼠・国丸・閑雨・牙睡・(ハリマ山サキ) 鎌夫・既水・春潮・年足・  
 芳洲・花暢・白露・孤岳・克彦・霞村・菊珠・至梅・琴洲・  
 (ハリマ) 石露・潮花・梅雫・美川」・(アフミ) 双鳧・虚白・月坡・  
 梅亭・貴樂・(イセ) 流芳・(フシミ) 岳鳳・(ナニハ) 鼎左・素屋・  
 松隣・淡叟・古樂・其山・蟻兄・乙鷺・知風・豐水・祇白・卦龍・  
 (イセミ) 太乙・鳴々・曲阜・(ヲハリアツタ) 可都居・蓬古・善哉・  
 己丸・奇汀・潤園・関雄・佳定・琴巴・里瓶・洩齋・天嶺・閑雅・  
 東三・梅花・巴潮・露有・里庭・李溪・千草・緑女・三准・甫船・  
 宇泉・砂南・花卜・石洲・兔羊・素友・有志・貝一・木瓜・鮮子・  
 有升・三江・且齋・且齋

三段組

梅室・淡叟・九起・其山・鼎左・默池・有節・杜鷺・素屋・梅通・  
 禾明・雨翠・卓池・鳳樓・桑葉・映門・菊圃女・蔣池・北年・  
 布國・涼呼・淡亭・槐夫・柴人・尽雨・石鼎・冬岐・曲阜・黄山・  
 杜水・岱充・碧山・漣山・探齋・つき雄・流芳・巾帆・御風・  
 其仙・霞山・璪山・萬丈・蝶文・化鵬・月想・寶雪・梅之・蝶齋・  
 起鳳・幽雅・可慎・松月・素山・稻洲・二丘・柳壺・晴江・應叟・  
 竹塢・鶯呼・素桃・貴存・竹外・花溪・其節・梅明・卓丈・棋樵・  
 北山」・恕兮・素玉・淇洲・呂鳳・乙良・西疇・桐齋・茶山・素白・  
 萬外・越彦・稻彦・古巷・洲堂・和風・五瓢・春哉・春室・宗二・  
 梅二・松圃・精器・雲才・一止・太郎・多代女・交輝・里雪・  
 葛堂・太郎彦・欽哉・南海・可轉・雲里・素柳・草也・みつ里・  
 雪蓑・可厚・肆山・雪居・無名・鶴園・可益・宜頂・仁里・圭齋・  
 晋我・雅麦・之桂・江月・菊后・其翼・江三・種丸・山顯・汶平・  
 士明・新々・臥雲・葛古・一澄・藍守・野外・竹守・月守・絮白・  
 千外」・梅什・唇秋・筆守・欣篁・素鴻・安貞・静志・孝甫・梅月・  
 一守・月松・漁史・潮外・東梧・蟬頭・龜山・一兆・水母・三草・  
 二水・持瓢・東水・菊雄・伊水・有福・拳堂・耕雨・懷哉・政二・  
 宜山・東湖・金波・不休・□□・雨兮・音人・呼牛・國魚・芝遊・  
 勢力・野松・一雅・一具・米山・石居・百尺・松什・(金令更)  
 半月・大鵬・良輔・和柳・風外・尾山女・伯遠・山外・其外・

巢潮女・溶々尼・由之・叩月・苜菜・荷少・秋郷・忍齋・為山・  
 由誓・兮外・蔦守・鶯宿・徐道・梅笠・乙雄・茶静・旬光・蝙蝠」・  
 鯨平・卓郎・氷壺・惟草・流芝・方有・岳陰・夷則・五石・双・  
 端人・巨三・鷺眠・崑川・眉年・杜有・仙鳧・干魚・遲流・桐窓・  
 不爭・鳥曉・晚成・萬外・こむら・苜丸・如草・萬古・得蕪・  
 万頃・逸淵・西馬・魯□・□□・□□・□□・□□・□□・桐古・  
 瑤池・甘利・苜風・松風・五凌・曹呂・里松・梅枝・松旭・龜遊・  
 芝好・謝堂・薄可・折桂・(少年)彦二・羽人・溪齊・淡節・東子・  
 只丸・金桂・(李且更)白水・保道・鬼笑・一益・見外 四段組

※ 見外草庵移徒祝



14 追善 全紙 鼎左 長水 蓮・蟬図 ○ アイエ 鼎左

(菊亭)風葉居士・(菊亭)風葉居士・樗六・(女)菊水・古祐・我佛・  
 露朝・竹風・梅村・文彦・天和・夏男・蘭秀・(かふち)左栗・  
 梅弟・梅人・操居・里柳・苜室・(女)井竹・月江・雨外・草居・  
 月人・(赤穗)聴洋・買山・苜涼・李曉・蘭操・其珀・楓可・(いせ)  
 龜山・文賀・寥居・林亭・卦龍・(江戸在坂)玉岡・(江戸在坂)和集・  
 (江戸在坂)五柳・(江戸在坂)見齋・杜鴻・斑竹・素日・雷屈・  
 宗林・(京)梅室・(京)九起・松隣・空静・水月・吐屑・井資・  
 眉山・桃室・拓当」・鶯宿・素屋・其山・淡叟・井左・万利・山麓・  
 花調・光林・超然・鼎左 二段組

15 歳旦 全紙 湧瀧 桜桃庵晨窓 女房春漁図 ○ アイエ ×

(紀タカノ)鼎峰・(紀タカノ)杉露・(紀タカノ)茶煙・(ナニハ)鼎左・  
 (ナニハ)松隣・(ナニハ)鶯宿・(ナニハ)光林・(ナニハ)素屋・  
 (ラク)岱年・(ラク)乙雅・(ラク)器雅・(ラク)風光・(ラク)杜鷺・  
 (陸タナクラ)北麟・(サカ)文翠・(サ、山)湖舟・(ヒカミ)真澄・  
 (ヒカミ)白燕・(ヒカミ)羽人・(ヒカミ)梨園・(ヒカミ)二泉・  
 (ヒカミ)龜悦・(ヒカミ)野卵・(テラムラ)愚仏・(テラムラ)椿交・  
 (テラムラ)成章・(川上)呉山・(西条珠林更)玖林・(穴太)一葉・  
 (穴太)竹葉・(ホウ)紫山・(ホウ)耕雪・渭橋・富山・九華・蓬雨・  
 千丈・藁斎・蕉笠・龜遊・梅溪」・卜水・錦華・住之・とみ女・  
 芦山・一柳・梅林・草楽・一堀・一藤・湧瀧 二段組

16 夏興 全紙 呂鳳 九華 氷売図 ○ イ ×

梅室・有節・九起・禾明・素屋・松隣・梅明・竹塙・荷月・武交・  
 寄林・禹功・潤松・大雄・北鳴・鶯叟・貴存・疎石・恕兮・乙雄・  
 楚川・恣兮・嵐汐・花精・木兄・都山・柳窓・井梧・月川・和風・  
 子邁・和鳴・乙良・稻彦・古巷・夕照・木山・守年・春室・臥雲・  
 太良・淇筇・寶雪・竹山・逸淵・氷壺・岳塙・萬古・如草・其外・  
 篋水・伯壺・魯心・茶静・見外」・鳳棲・桑葉・鼎峰・茶烟・杉露・  
 我柳・賀水・鶯呼・恣坡・木圭・東雅・淇樵・苜舟・朴場・見三・  
 素玉・柳壺・北山・卓丈・呂鳳 二段組

17 秋興 全紙 鼎左 秋亭 月都図 ○ アイウエ 鼎左

(江戸在坂) 和集・伯遠・山外・太良彦・(洛西) 文翠・柏翠・石外・  
(かふち) 不二門・左栗・自来・南齡・(茨木) 鼎居・此松・笠斎・灘  
草居・(大和) 幹陰・梅村・可生・(伊勢) 雅琴・五鈴・(赤穂) 聴洋・  
(福山) 可咲・紅顔・(土佐) 物海・壺通・木笠・魚村・池回・花仏  
(筑前) 与かろ・(近江) 杏楽・(加賀) 素玉・悠平・(越后) 一雨・  
(石見) 青池・(作州) 亀由・梅雄・月仙・徐考・雪塘・澄月・  
蘭秀・荷涼・李暁・蘭操・梅弟・梅人・翠葉・林亭・文賀・鷺江・  
秋亭・井竹女・其珀・雨外・黄山・草居・月人・楓可・有中・芝  
耕・芦郷・古松・萬項・秋岨・鶯宿・素屋・其山・卦龍・梅日・  
光林・松隣・鼎左

二段組

18 追善 全紙 一止 卓池 秋草図 ○ イ ×

卓池居士・一士・江三・三朝・一由・子良・太良・湖立・水竹・  
塞馬・波文・石采・桐古・流芝・月底・黄山・一清・思文・李曠・  
而后・梅室・有節・杜鷺・九起・岱年・鼎左・其山・松隣・素屋・  
一具・風外・逸渕・半月・為山・見外・溶々・萬古・溪齋・伯遠・  
水壺・松什・西馬・抱儀・卓朗・由誓・乙良・茶山・春室・御風・  
清民・尊阿・多代女・心阿・禾月・南幽・湖立・松眠・太良・  
素席・素由・白水・子良・斗周・杉芽・二晶・一由・春山・半醉・  
丈和・左竹・加菊・平寿・蜀山・(行脚) 淡節・(行脚) 素明・(行脚)  
高忠・三朝・江三・一止

二段組

※ 「丙午暮秋」／卓池七七日追善／卓池画賛を摺る

19 秋興 全紙 汀柳 雪叟(乙良) 小菊椎茸図 ○ イウエ 淳堂

由擔・樹石・杉居・溶々・萬古・御風・二葉・寄三・臥雲・蔣池・  
其山・素屋・虚白・礪山・岳鳳・抱儀・芹晒・梅迎・梧葉・眉白・  
道雄・古巷・北里・飛亭女・可董・夕照・水濤・可静・古柳・  
東詮・稻彦・阿水・不乙・白峰・西畴・乙良・夢岳・繁木・汀柳

二段組

※ 「丙午の晚秋」

20 慶賀 全紙 鼎左 秋亭 火鉢・蛤図 ○ アイ 鼎左

鶯宿・素屋・井資・其珀・梅弟・井竹女・(赤穂) 聴洋・(かふち)  
左栗・蘭秀・雨外・草居・月人・蘭操・秋岨・楓可・芝耕・芦郷・  
梅人・文賀・(かふち) 松眉・(かふち) 不二門・松隣・其山・卦龍・  
荷涼・和集・李暁・操居・萬項・月江・萬利・(アキ) 甘古・林亭・  
黒庭・泉水・里隱・如光・千戸・風光・五玳・杜亭・鷺江・里柳・  
鼎左・光林

二段組

※ 米林薙髮の賀

21 冬興 全紙 湧瀧 年々 芭蕉所蔵木笏図 ○ イエ ×

(洛) 柳水・(洛) 路夕・(ヒカミ) 野卵・(ヒカミ) 梨園・(ヒカミ)

歩月・(ヒカミ) 土楽・(ヒカミ) 三友・(エシマリ) 黙之・(八木) 鹿角・  
(シノムラ) 翠月・(シノムラ) 深尾・(モリ) 九價・(寺ムラ) 愚佛・  
(寺ムラ) 椿交・(ホツ) 其暁・(ホツ) 龍眠・(ホツ) 耕雪・(ホツ)  
其松・(ホツ) 笙鶴・(ホツ) 魯雄・(ホツ) 其鶴・(ホツ) 紫山・仙琴・  
梅泉・富山・小雅・九華・香雪・千丈・雲帶・蓬雨・(女) 松露・  
於二丸・錦華・龜遊・芦山・梅溪・一藤・一堀・草樂・(ラク)  
梅室・(ラク) 乙雅・(アフミ) 椿杖・(ナニハ) 素屋・(ナニハ) 白雀・  
(イタミ) 太乙・(ムツ) 溶々・湧瀧  
二段組

22 慶賀 全紙 凡来 章臺 曳舟図 ○ イ ×

梅室・祭魚・(在京) 百古・乾来・明良・其雀・(在京) 一雨・木容・  
梅通・琴亭・栗哉・理芳・鉄好・鳳羽・菊子・如水・(在京) 章臺・  
道機・九起・乙雅・禾明・篤明・仙歩・朗風・有節・岱年・岳鳳・  
杜鷺・(近江) 栗々・鶯花・文山・玉蘭・玉丈・董丈・霞洲・玉脂・  
石雄・玉映・虚舟・砺山・蕙逸・虚白・(浪花) 鼎左・秋水・巨洲・  
竹水・霜鴻・湖水・吳聲・擔礪カ・蘭秀・藁秀・淡叟・其山・白鷗・  
素屋・乙鷺・霞笠・月方・其白・李由・休叟・林曹・(堺) 麦雨・  
木父・笠齋・此松・芦舟・此方・(紀州) 月下・(泉大ツ) 石峨・  
(播磨) 可大・(肥前) 悠々  
二段組

※ 凡来卜居慶賀／23と一組

23 慶賀 全紙 凡来 [章臺] 遠寺図 ○ ウエ ×

(守口) 雪燈・赤蓼・霞駅・里月・楚水・凡鳥・華東・(淡路) 魚楽・  
寄康・霞丈・孔照・鶴聲・景中・白魴・堯洲・墨雨・梅庵・世粟・  
秋十・如斗・梅士・鶯池・裁霞・楓處・梅堂・(越中) 花精・蓼牙・  
(越前) 化遊・(遊歴) 九蒼・蒼俗・(加賀) 悠平・卓丈・(淡路)  
松洲・玉平・米岳・富子・木俗・茗甫・且樸・壽山・行逸・青栗・  
子昌・不有・鶯路・恵来・酒友・糸竹・甫年・一得・指月・默處・  
霞淞・月溪・器水・吾友・杜来・(尾張) 而后・鶴巢・(三河) 卓池・  
(江戸) 雨谷・遅流・和泉・和鳥・梅笠・溪齋・伯遠・助宣・惟草・  
由誓・凡来  
二段組

※ 凡来卜居慶賀／22と一組

24 冬興 全紙 弄化 雪庵 老漁夫図 ○ イ 半仙

梅室・節之・虚白・九起・岱年・(大坂) 松隣・素屋・鼎左・  
(ヒゼン) 悠々・(トサ) 化昇・市鷗・古鳳・(備中) 素外・(カハチ)  
里橋・(ヲハリ) 月底・黄山・鳥律・而后・(ミカハ) 水竹・蓬宇・  
(スルガ) 漣山・見路・(イツ) 其茹・可笑・(サガミ) 如々・立宇・  
(カヒ) 欽哉・可鴉・(シナノ) 圭布・飯俗・(上毛) 西馬・(越中)  
如兮・(フト) 呂鳳・(エチゴ) 乙良・春室・(デハ) 御風・二葉・  
(ラク) 一止・禾月・多代女・(ヒタチ) 一俳・野巢・青岬・子行・  
江月・(カヅサ) 呼牛・霞雪・音人・(アハ) 平雄・(ムサシ) 太良彦・  
梅石・五渡・(雲水) 幻外・鷺眠・呂川・佳峯・淡節・一具・松什・

花城・米山・螻翁・竹臣・溶々・知雪・尾山・啓五・赤兄・在尔・  
 萬頃・省山・氷谷・秀郷・叩月・伯遠・流芝・由誓・惟艸・梅笠・  
 草露・効遊・成泉・普水・萬里・梔石・羽人・濱□・谷鳩・柳頂・  
 英父丸・宗羽・己千・粽一・春蛾・魯心・祖郷・五石・卓郎・  
 見外・氷壺・冬翠・來谷・晴山・鯉朝・有悟・鯉喬・鷺船・月丸・  
 新口・鶴年・鳳嶺・繡鶴・翠山・冬丸・曆守・旬光・逸淵・得蕪・  
 半月・鳥吟・青柿・□□□□□□□□□□・漣々・眷求・秋香・  
 百丈・雙・萬古・遲流・白桂・淇齋・為山・風齋・旭戟・水峨・  
 錦露・柳圃・柳雪・京水・村雄・知言・一中・半車・桃山・萬嶺・  
 世翠・一翠・弄燕・弄羽・雲井・美逸・弄史・植丸・弄月・美馬・  
 弄雅・雪江・化殿・楚江・弄楊・水化・掬峨・弄化

▼弘化四年

25 春興 半裁 藤涯 公秀 雀鯛函 ○ イエ ×

梅室・林曹・有節・雨谷・素屋・白雀・よね女・杜鷺・藤涯

※ 「未の春」

9 10

26 歳旦 半裁 蟻兄 無聲 梅垣函 ○ アイウエ ×  
 桐月・蘆江・机英・仙露・忍之・芦笛・豊水・布寛・霞村・乙鵝・

湖外・蟻兄 12 12

27 慶賀 全紙 北梅 石崖 高砂函 ○ アイウ ×

古谷・九起・梅室・北梅・素名・春朝・季風・九蒼・有節・勝錦・  
 杜鷺・月坡・黙池・艸陽・呉明・侂美・乙雅・寒翠・石外・雨谷・  
 露大・松雨・尺木・祭魚・松南・嬰齊・百古・微簫・普陽・明良・  
 始風・桂眉・東樹・柳鶻・鶴叟・(執筆) 閑令・(洛) 乙雅・艸陽・  
 雨谷・(伏ミ) 岳鳳・(但馬) 桂秋・(浪花) 戸隣・秋水・(伊勢) 香池・  
 (播磨) 文英・素名・九起・(洛) 梅室・芹舎・呉明・祭魚・東樹・  
 風光・有節・柳鶻・明良・尺木・岱年・松雨・禾明・春朝・雨江・  
 梅通・始風・勝錦・九器・松南・道機・石外・湖月・芳英・微簫・  
 嬰齊・百古・杜鷺・黙池・(丹バ) 齋堂・桂眉・其通・巴陵・南老・  
 水波・(タヂマ) 夜舒・潤葉・秋孝・(ハ、キ) 乙美・(イツモ) 秀然・  
 (備前) 孤山・玖宇・立石・りゑ女・ます女・洒芳・晋翠・涼呼・  
 蘆玉・布国・桑花・(ビツ中) 史也・霞栖・葉坡・(スハク) 閑雲・  
 芳水・(ナガト) 岑曆・九山・(チク前) 宇逸・飛木・若拙・泉砂・  
 柳圃・(フゼン) 紫鱗・可推・(肥ゼン) 鶯晨・悠々・凡一・素羅・  
 正焉・(ヒゴ) 竹月・(日ウガ) 月雄・(サツマ) 松鶴・(イキ) 櫛例・  
 (イヨ) 映門・(トサ) 花佛・(サヌキ) 恣子・梅左・(アワヂ) 楓所・  
 南園・(イセ) 一出・米牛・(オハリ) 而后・一清・(東都) 普陽・  
 抱儀・一具・惟草・為山・遲流・風外・金令・伯遠・(ワカサ)  
 淡水・波常・寄休・(エチゼン) 平沙・(カミ) 晴江・素行・棋樵・  
 我柳・(フト) 鳳兮・(エツ中) 子邁・和鳴・(エチゴ) 定爾・九室・

春洲・桃五・(サド) 晋山・(アフミ) 鷺洲・蕙逸・月坡・砺山・  
(ミ) 梅雅・(上毛) 立志・(ムツ) 英泉・江三・宗古・(マツ前)  
亀口・一帆・(デ) 二丘・(カハチ) 古鏡・(セツ) 鼎左・素屋・  
恣笠・藤涯・松隣・其山・(キイ) 世外・(ハリマ) 石崖・支鳴・  
春朗・千嵐・壺仙・季風・是山・霞村・曲於・尺西・聴洋・堪露・  
蝶三・石名・吾雲・寒翠・古谷・北梅 三段組

※ 古谷還曆祝

28 春興 全紙 湧瀧 紫鳳 騰鳥賊図 ○ イエ ×

(エド) 風外・(エド) 一具・(エチゴ) 春室・(エチゴ) 越彦・(エチゴ)  
春成・(ナニ) 素屋・(アフミ) 楓下・(フシミ) 岳陽・(京) 杜鷲・(京)  
風光・(京) 若雅・(サガ) 柏翠・(サガ) 可柳・(寺ムラ) 愚佛・  
(寺ムラ) 椿交・(大ツチミ) 丹楽・(川上) 一鳥・(穴太) 一葉・(穴太)  
竹葉・(西条) 玖林・(西条) 兼馬・(ホツ) 其松・(ホツ) 魯雄・富山・  
奇春・梅溪・錦華・蕉笠・梅林・思楽・(女) うす雲・草楽・一堀・  
一藤・九華・大年・千丈・蓬雨・雲帯・(女) 松露・涌瀧・涌瀧

二段組

29 春興 全紙 古鳳 是真 桜 調度図 ○ アイ ×

梅室・岱年・淡節・虚白・九起・雨翠・普陽・有節・鼎左・素屋・  
悠々・孤翠・山公・鶯居・映門・鳳棲・露泉・桑葉・五蕉・今是・  
礪山・雀叟・桐一・黄山・水竹・完伍・桐古・碧山・漣山・春室・

乙良・□□・御風・雲涯・竹烟・心足・琴堂・雲居・臥雲・祥調・  
米室・谷朗・無名・南々・寄三・竹山・梅芳・汶平・為一・李郷  
女・四山子・如息子・一具・茶静・伯遠・由誓・為山・見外・  
萬古・惟草・弄化・百丈・双・遅流・又々・月古・柴遊・鶯所・  
恣笠・棹年・永久・橋水・千波・一步・鷺眠・塘芝・(女) 数子・(女)  
風子・雄太・潤布・半湖・西馬・逸潤・市鷓・婦牛・化昇・  
ちとう・(董崖男) 月圃・元史・習竹・嵐夕・古鳳 二段組

30 追善 全紙 呂国 来紀 文台懷紙図 ○ アイウエ ×

百道・白居・鳳車・岱静・墨河・松静・栄松・春光・醉茶・九瓜・  
楨立・船斎・杜鴻・柿守・桜哉・桃室・曾洲・臥堂・青良・湖名・  
不角・眉山・井資・水月・李暁・柳柯・其珀・卦龍・光林・斑竹・  
芦室・松室・史友・月江・友之・青山・山麓・湖水・洗志・万項・  
己大聲・空静・松隣・白鷗・艸斎・鼎左・林曹・方和・眉岳・荷涼・  
井竹女・万利・井左・鶯宿・素屋・暉山・花調・殘夢・呂国・  
木仙屋・呂国・暉山・水月・醉茶・桃年・白鷗・白居 二段組

※ 弘化四年二月五日／木仙居士清浄忌

31 春興 全紙 花佛 画者未詳 恋猫図 ○ アイ ×

鼎左・鳳車・光林・鶯宿・松隣・素屋・蘭秀・荷涼・草居・月人・  
李暁・杜鴻・斑竹・柿守・其珀・井竹女・文賀・卦龍・梅室・  
九起・黙池・菁堂・岱年・祭魚・有節・逸涉・見外・流芝・為山・

卓郎・溪齋・太良彦・竹烟・一具・松什・伯遠・西馬・遅流・  
 (アハ) 應吏・(鳥野) 鼎峰・(ヒロシマ) 甘古・(イヨ) 鶯居・(イタミ)  
 太乙・(イセ) 雅琴・(イセ) 五給・(イセ) 畚麦・(ビツ中) 香雨・  
 (イハミ) 春池・(サカヒ) 麦雨・(□アキタ) 国彦・(□アキタ) 露丈・  
 (ヲハリ) 黄山・(ヲハリ) 芝石・鼎左・魚村・松隣・木笠・池回・  
花仏・月湖・物海・池囿・池囿・木笠・木笠・魚村・魚村・花佛・  
 花佛

二段組



32 追善 全紙 逸秋 峯磨 卓池句碑図 ○ア×

梅通・有節・柳徐・岱年・梅室・九起・杜鷲・雨江・芳英・松隣・  
 素屋・鼎左・淡叟・林曹・白鷗・其山・鳳棲・露泉・茂椎・柴人・  
 宇逸・石外・駝岳・悠々・楓下・蛎山・芋丈・虚白・流芳・雀叟・  
 桐一・是誠・昌風・石鼎・而后・月底・鴻水・芝石・應知・黄山・  
 烏律・李曠・龍風・四山・伯遠・茶静・得蕪・風外・五株・逸洌・  
 梅笠・一具・小柯・山外・金令・三和・祖郷・如草・為山・流芝・  
 杜有・由誓・惟艸・萬古・謝堂・溪齋・太良彦・南々・松什・  
 野巢・佛孫・多代女・一止・尊阿・涼□・稲州・二丘・乙良・  
 茶山・水由・春室・竹烟・西馬・逸芙・立宇・雲里・欽哉・漣山・  
 碧山・且松・杜水・嵐牛・笠露・貞山・蓬宇・三岳・水竹・完伍・  
 蘇雲・稻居・桐古・秋橘・石采・東石・朱芳・六蟬・茶園・波文・  
 惟一・青可・蘭所・洗竹・塞馬・葛古・土芳・路臣・栗人・乙人・

温恵・湘玉・若人・李山・如苞・布青・三都良・素風・助水・  
 梧芳・魁甫・青坡・砂鳥・茂葉・樗平・(女) 美那・武栗・盧橘・  
 李明・杏齋・(女) 以楚・圭助・巢雨・梅一・隆之・清流・楚雀・  
 千代彦・竹枝・知道・千枝・貞齋・草梁・圭布・(芳齋更) 路董・  
 白羽・逸秋

二段組

※ 「丙午季秋」／句碑建立記念／弘化三年の年記を摺物中に見るが、これは句碑建立の年次を示し、実際の摺刷は弘化四年か。

33 春興 全紙 可兆 大造 茶話図 ○イ×

(武江) 由誓・一具・見外・(花洛) 梅室・九起・杜鷲・梅通・  
 有節・梅石・岱年・鼎左・水月・桃室・井左・鶯宿・素屋・呂国・  
 白鷗・国彦・耕春・里鶴・杜鴻・斑竹・柿守・芦室・百道・艸斎・  
 己大・船斎・空静・卦龍・井資・山麓・眉山・松隣・光林・青山・  
 鵬雲・暉山・残夢・友之・井竹女・竹水・荷涼・潮水・可就・  
 (遊歴) 波同・佳峯・碩水・牙睡・五諒・月桂・曾洲・臥堂・  
 不角・為声・文鷲・瀬洌・棠居・史友・松室・李蝶・花笛・登美  
 女・洗志・慈山・石史・一瑳・圓子・松月・東月・(花調更) 可兆

二段組

※ 亡師追善の意を含む

34 夏興 全紙 空静 竹外 水辺家鴨図 ○アイ×

(在坂) 昇鶴・(在坂) 梅泉・(在坂) 一童・(在坂) 南鷄・(在坂) 樽甫・



文酒・とせ女・巨洲・蜂作・竹水・簑月・和照・鷺洲・子蝶・  
宗林・友之・井竹女・荷涼・烏白・臥堂・春人・月江・延柯・  
春生・絲舛・鴻三・乙蟻・兔雪・李暁・松室・巴柳女・一登・  
梅芳・春榮・梅雄・梅專・乙一・二蝶・梅英・(江南)松寿・(富田)  
觀来・(赤穂)聰洋・(兵庫)甲嶺・(日向)月雄・(日向)双鳥・(ナダ)  
竹窓・(ナダ)芝山・(ナダ)蘭山・(ナダ)其柳・(ナダ)南景・(ナダ)  
朝香・(ナダ)井華・鼎左・桃室・素屋・吐屑・鶯宿・白鷗・暉山・  
呂国・万利・水月・空靜

二段組

35

春興 全紙 好靜 抱儀 桜花来燕図 ○ アイウエ ×

梅室・岱年・有節・九起・道機・杜鷲・梅通・素屋・其山・嗽石・  
鼎左・惺々・波文・露泉・仙友・虚白・芋丈・金樵・而后・月底・  
立宇・千紫・阜山・栢茂・友甫・水啓・清山・一桃・東雲・一兆・  
燕負・麦翠・ゑつ女・潤節・真徵・悠耳・一勝・呼山・藤下・  
滴井・蒼雷・一馬・宗茂・拾翠・長喜・青白・よし香・規外・  
為用・野巢・曠水・土舟・奇哉・未足・紫郷・其翼・子容・  
多代女・清民・梅二・叟六・ミね女・英泉・東里・菊也・梅井・  
丁酉・尊阿・鬼雲・篁廬・加菊・邦水・宇邦・雙魚・江三・南幽・  
太良・禾月・心阿・一止・松什・茶靜・雲山・萬項・溶々・丁知・  
流芝・半月・羽人・西馬・惟草・完哉・伸女・閑雪・魯中・為山・  
伯遠・得蕪・卓郎・呂川・山外・竹城・祖郷・叩月・宗羽・水壺・  
巳千・見外・萬古・逸瀨・南枝・太良彦・一具・由誓・(古人)  
風外・(雲水)鷺眠・素明・木鷲・如風・桐古・茶山・北洋・亘靜・

逸交・三貫・碎圭・乙良・西疇・和風・春室・楓閑・(既醉更)  
克吾・此識・可晁・樵巴・井轄・龜童・鶴歳・区流・適齋・義珍・  
鷗休・萍池・宗慎・負鼎・寬路・荳邨・吟糸・奇泉・樵魚・吏川・  
春洲・之白・雪潮・迦孫・はた雄・文帶・文鬼・篤之・ちから・  
柯亭・某外・守□・不哲・宜亭・志吟・半輪・虚雲・猛阿・福園・  
楳・老金・自水・一蛙・烟外・如瓶・巴陵・天華・四乘・安雄・  
三保・林公・哥月・水月・山里・寿鷄・九瓶・抱湖・靜澄・李文・  
柔雨・等機・積流・友慎・(少年)やす女・古髮・燕山・文常・靜  
甫・綺山・月舫・抱儀・好靜

三段組

36

歲旦 全紙 梧葉 乙良 高山龍雲図 単(墨) アイウエ  
淳堂幽人

梅室・芹舎・九起・黙池・杜鷲・岳鳳・有節・岱年・鼎左・其山・  
素屋・林曹・太乙・白雀・茶烟・希康・茂椎・虚白・恵雨・一幽・  
而后・黄山・水竹・塞馬・一具・祖郷・万古・為山・溶々・樹石・  
(故人)濡外・由誓・季珉・阿水・飛亭女・道雄・汀柳・竹堂・  
夕照・守年・白峰・春哉・稻彦・東徑・古巷・可靜・梅逸・西疇・  
乙良・眉白・梧葉

二段組

※ 「丁未濃春」

37

歲旦 全紙 素山 餘齋 梅花・蝶・猫図 ○ イ ×  
梅室・有節・九起・杜鷲・枝月・祭魚・桃五・梅通・岱年・鼎左・

素屋・松隣・白雀・太乙・其山・白鷗・一具・為山・祖郷・水壺・  
 逸瀨・伯遠・鳥吟・茶靜・見外・松什・由誓・黄山・而后・桃鳥・  
 應知・青可・桐古・悠平・柳壺・岳鳳・砺山・虛白・可太・欽哉・  
 立宇・槐堂・桃兆・山影・可含・茶山・乙良・春室・一止・  
 多代女・撫泉・恁月・其僊・有無・一湖・花紅・淇月・其樂・  
 竹聲・有隣・河曉・蓮風・蝶睡・彦山・怡々・耕雲・応泉・薰曉・  
 玉岡・葵風・桃曉・可道・曉江・迎風・雲涯・洗耳・霞山・二葉・  
 可慎・月想」・(在坂)國彦・雪貢・幽雅・素玄・(其丈更)清節・  
 其柳・馬山・夏夕・蟻道・□□・蟻□・醉月・蛾養・其得・萩雫・  
 其徒・松聲・恁華・壽山・貴年・秀桃・秋光・如水・三雪・塵外・  
 枳北・鶴雲・花塘・三亘・太嶺・渭泉・北斎・白水・清梧・養斎・  
 巴秀・鶴聲・至幸・吳藍・露光・琴壺・(雪橋更)詠之・西池・  
 素雪・居陽・素英・雪鮮・御風・落丈・素山 二段組

※ 「弘化四年末年」

38 春興 全紙 幽雅 瑣齋 水辺鷺図 ○ イ ×

御風・可慎・幽雅・落丈・素山・撫泉・雪鮮・月想・岱年・有節・  
 祭魚・松隣・素屋・祖郷・逸瀨・太郎彦・茶山・乙良・一止・  
 多代女・呂鳳・柳壺・黄山・梅室・鼎左・月底・春室・一具・  
 溪齋・遲流・萬古・伯遠・鳥吟・如草・風外・見外・為山・由誓・  
 素英・御水・青逸・可慶・河曉・對霞・路仙・南籬・桃園・鶴来」・  
 (在坂)國彦・薰曉・雪琴・春水・松峯・□□・一明・可亭・応風・

相陰・居陽・枝香・雪驛・怡々・怡松・李翠・里風・蓮筆・其常・  
 靜悟・かとり・雪貢・松霞」・其桃・萬丈・雪茶・雪橋・其仙・  
 良和・二葉・旭松・落丈・素山・撫泉・霞山・化鵬・月想・御風・  
 雪鮮・可慎・幽雅 二段組

39 夏興 半裁 たき女 南溟 薦樽図 ○ イ ×

(江戸)伯遠・呂川・為山・(下総)松什・(京)梅通・(浪花)素屋・  
 而后・梅裡・李曠・金樵・芳臺・真角・三省・芦江・季徳・篤志・  
 櫓川・大年・綺水・志専・嘉祥・梅樹・路跡」・(黒馬吏)靜嘉・  
 (十二才)靜華・たき女・たき女 27 31

40 夏興 三裁 鶯居 月山 瀧図 ○ アイエ ×

梅室・岱年・有節・素屋・其山・鼎左・葦厓・古鳳・映門・伯遠・  
 永久・逸瀨・柴人・岑磨・器推・葵笠・春蟻・漁翁」・齋徑・鷺橋・  
 蘭窓・一葉・鶴巢・梅宇・鶯居 25 19

41 夏興 全紙 麦雨 無聲 大樹 郭公図 ○ アイウエ ×

此方・此招・休叟・祭魚・鼎左・鹿野女・竹影女・竹雌女」・撫欽・  
 其條・(土州)花佛・孤鳳・拾翠・疎影・月窓・松好・麦雨 一段組

42 追善 全紙 岳陰 石湖 蓮葉図 ○ イ 松叙(天真)

助宣居士・助宣居士・梅室・岱年・有節・九起・杜鷺・梅通・  
雨翠・文翠・淡節・石外・虚白・鼎左・素屋・林曹・松隣・杜鴻・  
曲阜・太乙・冬岐・流芳・都岐雄・雀叟・桐一・梅曦・雅琴・  
而后・黄山・梅裡・應知・李曠・□□・我竟・月底・水竹・蓬宇・  
石采・塞馬・欽哉・通志・道木・雲里・可轉・漣山・立宇・宣頂・  
梅堂・可合・音人・霞雪・呼牛・臥雲・多代女・清民・江三・  
一止・吏川・ちから・好静・大経・春室・乙良・柳壺・北山・  
礪山・楓下・一嘯・閑那・鼎峰・半谷・希康・桑葉・鳳棲・柴人・  
器推・映門・鶯居・眉山・路芥・悠々・一具・由誓・流芝・為山・  
半月・祖郷・杜有・百丈・得蕪・南枝・丁知・卓郎・西馬・逸測・  
溶々・萬古・遅流・抱儀・太良彦・五渡・素伯・永久・富女・  
折桂・松什」・山外・呂川・見外・溪斎・荷少・伯遠・岳陰

※「丁未仲秋」／助宣百ヶ日追善

三段組

43 その他 全紙 松什 椿年 鶏 時太鼓図 ○ イ ×

梅室・岱年・九起・梅通・有節・淡節・鼎左・素屋・松隣・太乙・  
白雀・曲阜・可大・閑那・虚白・桃郷・茶暁・可合・梅堂・立宇・  
如々・漣山・水竹・蓬宇・波文・完伍・塞馬・太良彦・里雪・  
交暉・花外・雅琴・欽哉・岳陰・而后・黄山・月底・一清・鵬居・  
應知・我竟・旭嶂・芝石・蓬陽・清嘉・(十二童)清崑・梅裡・

44 追善 全紙 湧瀧 吞舟 遊舟図 ○ アイエ ×

金樵・鳥律・李曠・思文・鴻水・李裳・好静・一馬・多代女・  
遅流・鳥吟・氷壺・玉英・珪琳・木渕・一桃・萬古・荷少・秋香・  
小柯・抱儀」・一具・由誓・得蕪・惟草・見外・流芝・祖郷・為山・  
卓郎・由之・百丈・溶々・丁知・南枝・峽舍・萬頃・白起・言山・  
南汀・松舟・青林・叩月・枝玉・竹賀・杜有・柳村・魯中・羽人・  
氷谷・外内・雲臥・東洲・瓦村・半月・山外・水哉・浄友」・富女・  
瀧女・栄女・緑女・さま女・真守・立志・完鷗・甫川・青州・  
云尔・清河・抱叔・竹城・折桂・伯遠・松什・呂川 三段組

※「丁未仲秋」／呂川送別

44 追善 全紙 湧瀧 吞舟 遊舟図 ○ アイエ ×

(ラク)梅室・乙雅・(ナニシ)素屋・柿守・枝丘・(サガ)文翠・  
柏翠・石外・(氷上)野卵・三友・(女)静奇・梨園・(穴太)一柴・  
竹葉・吐龍・(西条)秀月・兼馬・玖林・(エシマリ)黙之・巴遊・  
(ホツ)世外・魯雄・耕雪・(ミノムラ)女・深尾・(寺ムラ)愚佛」・  
九華・(女)松露・於二丸・丁々・龜遊・思樂・可樂・哥春・富山・  
草樂・一堀・一藤・湧瀧 二段組

※ 時雨会

45 秋興 全紙 萬里 臥春 火鉢 橙図 ○ アイ 松叙(天真)

(京)梅室・淡節・有節・(ナニシ)素屋・松隣・鼎左・白鷗・  
(大ムラ)大素・楠陽・(ヲハリ)黄山・應知・晴帟・(カヒ)欽哉・

雲里・(シナノ) 露眼・鳧井・(サガミ) 宣頭・白吟・丹堂・(アハ)  
 金呂・椿園・素行・(カツサ) 呼牛・音人・霞雪・(シモフサ) その女・  
 春齋・老樗・交水・以兄・呂叟・(下毛) 嵐齋・未足・(上毛) 臥雲・  
 雪居・琴堂・吳羊・律調・(オク) 多代女・一止・(デハ) 御風・  
 素山・二葉・(カミ) 大夢・(エツ中) 恕兮・(エチゴ) 春室・乙良・茶  
 山・(ムサシ) 太良彦・繁茂・五渡・溪齋・一具・好甫・松亘・良  
 兔・青霞女・担々・庭理女・普水・臥春・丁知・南枝・言山・南  
 汀・峽舍・枝玉・竹賀・柳宇・得蕪・由誓・松什・如息子・西馬・  
 照山・桃中居・末山・千方・壽文・呂風・三星・三和・永久・逸  
 淵・瓦村・半月・祖郷・一雅・柏樹・見外・孤峰・流芝・魯心・  
 豐臺・蔦守・此扇・婦一・觀之・三堂・露洗・五石・卓郎・由之・  
 珪琳・叩月・景峨・万千・道雄・梅笠・貞因・北因・淨勇・幻外・  
 山外・素白・荷少・伯遠・遲流・惟艸・鬼阿仏・未兆・也翠・大  
 鵬・秋香・萬古・鳥吟・完二・鷺眠・素澗・弄化・百丈・双・漣々・  
 溶々・桐古・念々・冰壺・龜澗子・為山・萬里 二段組

46 秋興 全紙 其僊 餘齋 小童遊猫図 ○ イ ×

梅室・有節・梅通・九起・祭魚・鼎左・松隣・素屋・黄山・而后・  
 應知・月底・柳壺・悠平・呂鳳・一止・多代女・清民・乙良・茶  
 山・春室・桐古・欽哉・悠々・一具・忝什・見外・祖郷・逸澗・  
 西馬・鳥吟・溶々・伯遠・万古・太良彦・為山・由誓・(行御) 如  
 艸・(在坂) 國彦・月想・良和・曉江・蟻道・(蝶文更) 文明・芝水・  
 蟻橋・梅林・醉月・蟻養・藤林・鶴声・太林・百萬・堯雨・太嶺・

渭泉・龍溪・一民・雪彦・一桂・澤明・一朗・扇二・松峰・鴉生・  
 山夕・鶴遊・白水・龜遊・鶴二・二山・里友・源霽・霞山・露丈・  
 □□・雪□・二葉・幽雅・可慎・西池・禾陰・雲涯・梅志・北齋・  
 徳山・雪窓・古翠・鶴柴・桂山・蝶園・其松・龜保・柳渚・芳志・  
 雪琴・可亭・鳳林・井風・里川・柳哉・風山・清貢・桃一・龜郷・  
 素玄・悠哉・素雪・撫泉・素山・御風・松月・其僊・松月・其僊  
 二段組

47 歲旦 半裁 井左 虚洲 猿候正月招客図 ○ イエ ×

(江戸) 鳥吟・(土佐) 花佛・(千屋) 一智・(富原) 志楽・(富原) 白鳥・  
 (富原) 路山・(西郡) 梅中・(福谷) 翠月・(福谷) 棹雪・(高沼) 香朝・  
 (高沼) 吟花・(倉シキ) 真齡・(帶江沖) 其旭・(大井) 白鳥・(有井)  
 花月・(鴨方) 省雨・(鴨方) 鼎雨・(矢掛) 翠雨・(矢掛) 嘯雨・(湛井)  
 一玉・(岡山) 立名・(岡田) 香雨・(洛) 有節・(十二) 素屋・  
 (十二) 井左 25 25

48 歲旦 半裁 太乙 文友 猫柳・椿図 ○ イエ ×

梅室翁・よね女・岱年・棗塙・禾明・柏翠・朗奇・松齋・かうち・  
 九起・林曹・糠人・黙郎・崑くり・静峨・素屋・退歩・白狐・  
 杜鷲・藤涯・曲阜・鳴々・赤雄・紫金・有節・淡節・太乙  
 28 25

▼ 弘化五年(嘉永元年)

49 春興 全紙 鶯宿 秋亭 薬玉図 ○ アイ ×

梅室翁・鼎左・桃室・水月・松隣・素屋・林曹・蟻兄・其山・  
必山・淡節・素瓦・白鷗・吐屑・井資・万利・眉山・船斎・光林・  
可兆・青山・為聲・井左・太乙・曲阜・乙鵝・斑竹・柿守・枝鳩・  
杜鴻・卦龍・文栖・(女)とせ・宗林・(ヨシノ)古松・(玉川)都春・  
臥堂・英之・湖名・梁女・青良・松月・梅蒼・素陶・五葉・義一・  
笠洲・万英・万遊・不角・月人・汲川・玉枝・史友・玉稻・芳樹・  
耕水・磯遊・井龜・井杏・秋旭・雪溪・直丸・梅左・桐住・人笑・  
(在坂)一鵝・東龍・焯亭・觀山・梅茶・(ナダ)空静・(ナダ)  
南景・(ナダ)竹窓・(ナダ)芝山・操居・(女)君竹・一澄・風光・  
鵝江・文昇・(少年)扇枚・里隱・春主・白猿・丸幸・瓢舛・梅舛・  
(六々鱗)久具類・里柳・林亭・鶯宿 三段組

※「弘化五年申孟春」／此花庵継号祝いの披露を兼ねる

50 春興 全紙 為聲 鶯宿 富士出帆図 ○ アイエ ×

鼎左・松月・(玉川)都春・直丸・梅蒼・万利・牛角・春生・梅應・  
旭芳・不角・鶯宿・桃室・素陶・五葉・芳樹・(在坂)必山・春人・  
蓬宇・霞笠・菊八・一三・臥堂・素屋・野梅・月方・梅鳳・魚柳・  
三五・矩洲・菊照・玉呂・照門・芦鶴・笠洲・烏石・青山・太乙・  
岳久里・曲阜・(鬼貫翁六世權花庵)為聲 三段組

51 慶賀 全紙 宗古 松洞 龜図 ○ イ ×

(京都)梅室・有節・風光・岱美・九起・岳鳳・杜鷲・淡節・梅通・  
虛白・岱年・(大坂)鼎左・其山・素屋・眉山・松隣・祇白・白鷗・  
(長サキ)甫田・岱雲・石狂・子栄・芝仙・芝岩・(皿山)鶴芝・  
(呼子)里遊・(庵房)小夜秋・(カツラ)蛙吹・(大ムラ)悠々・(ヒゴ)  
千干・菊丁・(日向)双鳥・駄丘・(チクゴ)慶五・木屑・(チクゼン)  
未央・路々丸・泉砂・公某・南交・宇逸・(フゼン)木父・可推・  
黙居・梅年・(下ノ関)岑丸・千船・(ムロズミ)閑雲・(西大寺)北年・  
涼呼・布国・(丸龜)木長・(金ピラ)狙月・飯西・(今市)霞村・  
(高砂)授圃・必山・(アカシ)而得・(イセ)惠斎・□□・□□・  
關〔凌〕・(尾張)而后・一清・適斎・黄山・月底・(ミカハ)水竹・  
塞馬・(府中)岱充・(沼津)連山・(小田原)貫水・柳明・(鴨立)  
立宇・(カマクラ)貞止・一具・半月・為山・伯遠・舍用・松什・  
素寂・溶々・祖郷・節之・見外・丁知・惟草・南枝・流芝・得蕪・  
由誓・(カミ)卓丈・(ムサシ)太良彦・(日光)未足・(杉内)英泉・  
(日本松)東里・(スカ川)多代女・清民・(フクシマ)大費・(桑折)  
尊阿・三住・四教・(カスカベ)曲江・江月・江雪・(相馬)雲方・  
(最上)擔月・水竹・二丘・(デハ)玄子・(小今井)其雪・(大ダハラ)  
霞山・(秋田)御風・(白川)清素・(南部)南江・桂澤・(ミハル)  
南鶴・(ツガル)白曾・北洋・素席・(箱ダテ)徐蓬・一甫・和及・  
草瑠・(松マイ)怒元・楠芽・一帆・殿信・素泉・帰厚・花遊・  
花鳥・如撫・一旭・北龍・(江戸)西馬・(ハリマ)古谷・(相馬)柳

哉・(ミハル) 松橘・(雲水) 夷則・(雲水) 佳峯・(アハ) 愛象・(大坂)  
 烏白・(白石) 双魚・乙雄・李冠・梅乙・走竹・呂三・吳山・清友・  
 单李・如松・菊道・遊撰・如扇・素久・□月・□□・松友・蘭久・  
 (アツギジマ) 可蕉・(ツルシ) 素洲・(大ガハラ) 兼女・柳美・  
 (ツギノ木) 詠柳・(塩ガマ) 任阿・素毫・魚村・其月・喜月・其雪・  
 竹圍・(佐沼) 羅月・鵲巢・(古川) 春人・(ツキダテ) 仙菜・(山ノ夕)  
 桑里・(カンナリ) 浦夕・八重女・(東山) 斗及・可仙・東溪・卯啼・  
 (藤サワ) 可有・有斯・去律・一洞・蕉下・和田・寸樗・葦路・  
 梧葉・起白・直哉・吐然・(石ツ) 石芝・三枝・举堂・犬出・呂兆・  
 鶴子・英國・素英・崑村・米国・冰骨・塩女・雨竹・蓬蟻・臨風・  
 房丸・華城・素鳧・如水・馬蓼・勝良・柳子・柳水・梅遊・松成・  
 文雄・少志・可也・梅窓・まゆ女・曉窓・曉磯・魚遊・一丸・  
 椀良・巢鳩・□□・□□・市曉・文居・素好・智幽・會友・素秋・  
 友水・袋蜘蛛・苔山・子良・白水・圭明・里曉・一澄・九山・文種・  
 半彦・一草・大駿・鶴好・みよ女・紀の女・九外・烏交・亀兄・  
 去角・一哉・兆々・舟人・雪鷺・民山・可交・走枝・文古・金波・  
 関口・亀引・菱義・菱第・玉斎・宗几・巾二・素雪・蕪山・吐玉・  
 ・(鳳尾改) 梧井・湖立・心阿・一止・杉芽・塘水・禾月・江三・  
 南幽・梅露・宗古

※ 松洞主人薙髮祝い

三段組

52

秋興 全紙 鶯呼 守胤 旬魚図 ○ イエ ×

(京) 梅室・虚白・淡節・曲洑・文翠・柏翠・芳水・岳鳳・祭魚・  
 杜鷺・岱年・有節・(ナニハ) 素屋・太乙・杜鴻・斑竹・白雀・  
 曲阜・松隣・(出羽) 御風・素山・寒岨・露丈・可道・雪朗・梅之・  
 洗耳・桃曉・其僊・二葉・(ラク) 多代女・江三・三朝・其流・  
 烏光・太郎・欣月・其扇・三星・尊阿・一止・(エチゴ) 春室・  
 北洋・桐齋・大洋・泊鷗・飛亭女・阿水・不乙・茶山・乙良・  
 (ヲハリ) 李曠・鵬居・李裳・(イセ) 惠雨・桐古・六川・(シナノ)  
 温恵・(カヒ) 欽哉・(上毛) 臥寒・(東武) 見外・伯遠・岳陰・得蕪・  
 青和・竹溪・可合・潮月・竹山・半湖・昇林・百丈・一菜・丁知・  
 水壺・為山・卓郎・松什・荷少・魯心・梅笠・溶々・三星・三和・  
 柏樹・翠山・吳城・柳宇・白起・萬古・驚眠・西馬・逸洑・一具・  
 (ヒゼン) 悠々・(アキ) 甘古・(アハ) 鳳棲・桑葉・黛笠・鯨尺・  
 (アハヂ) 蔣池・(アフミ) 砺山・蕙逸・(雲水) 波同・乙牙・碩水・  
 可大・(越中) 可庭・廬先・都盤・西江・玦卜・月笑・可丈・稻葉・  
 定爾・吳山・恕兮・是洲・木兄・耕陽・林處・松兮・和風・十亭・  
 蓼牙・素雀・玄牝・乙叟・閑塢・乙鵝・化丈・貫念・(ト) 梅明・  
 花溪・李旭・竹塢・呂鳳・荷月・禹功・雪蛩・史牧・白之・梅朗・  
 潤松・習之・勤泥・東嶠・大路・(カヅ) 丹嶺・北園・呼亭・葛露・  
 玉礎・克亭・蛾山・白石・東楊・五桑・晴江・応叟・見三・雅居・  
 和成・素文・素玉・悠平・北山・我柳・鹿裘・卓丈・大夢・柳壺・  
 賀水・鶯呼

一段組

53 追善 全紙 竹烟 立□子 雪中老松図 単(墨)アイ ×

(鳳朗)・竹烟・鶯居・春蟻・塵笠・漁翁・五笠・宗雪・富丸・  
少鸞・黛英・兔白・蘭窓・其石・乙虫・一柴・九虹・茂雪・四山

子・如息子・(洛)梅室・有節・杜蓼・虛白・岱年・(東都)西馬・  
鶴草・永久・柴遊・茶静・一具・由誓・逸洌」(浪花)白鷗・素屋・  
祇白・其山・林曹・鼎左・(アハ)露泉・太拳・柴葉・鳳棲・(小松)  
映門・菊圃・(行脚)玄子・乙也・齋徑・宗雪・西杜・蘭窓・鷺橋・  
鶴巢・洞月・雪眠・一葉・好々・五笠・兔白・不髮・狸谷・黛英・  
茂雪・柳枝・貴泉・龜水・月砂・雅月・雪鳥・寿幸女・龜流・  
曲川・泉谷・鳳尾・露谷・塵村・其石」(高井)春蟻・水鸞・潭松・  
其節・蕉陰・鶴史・其椎・逸江・延寿・夏鼎・富丸・藻遊・遊鳳・  
柳後・(郡中)蓼村・(風早)崑鴻・(風早)夏興・蓼笠・一鳳・六外・  
桐居・卍之・雪像・馬雪・漁翁・鳳聲・頓來・茄木・自樂・六星・  
古蛙・(三州)魯丈・杉谷・故友・柴洋・竹琴・曾寅・是外・一醉・  
椿屋・五全・一馬・九虹・鶯居・竹烟 三段組

※「丁未霜降月」／鳳朗居士大祥忌／弘化四年

54 春興 半裁 鶯居 月山 水辺春鳥図 ○アイウエ ×

梅室・岱年・有節・芹舎・淡節・鼎左・素屋・松隣・林曹・一具・  
由誓・為山・伯遠・永久・流芝・西馬・逸洌・竹烟・玄子・乙也」・  
齋徑・芝人・器推・五笠・塵笠・漁翁・春蟻・少鸞・兔白・蘭窓・  
一葉・崑来・鷺橋・雪眠・宗雪・洞月・溪舟・簑笠・鶴巢・九虹・

今是・映門・鶯居 43 2 6

※「戌申はつ春」

55 春興 半裁 寄三 × | | | ×

逸洌・遲流・永久・雪居・竹山・西馬・南々」・悠々・古鳳・雲外・  
嵐夕・鳳棲・桑葉・春室・茶山・悠平・葛古・琴堂・吳朗・吳羊・  
雞周・半湖・心足・臥雲・鬼阿仏・伯遠・四山子・又々・茶静・  
柴遊・螻翁・月ふる・鶯所・巴山・梅彦・苜丸・弘湖・素明・  
玉芝・五渡・汶年・苜巢・寄三 43 3 6

※「弘化五年戊申年二月」／番付見立

56 春興 全紙 可簫 三拙 早曉出帆図 ○アイウ 松叙(天真)

(京)梅室・淡節・禾明・杜鸞・(大坂)鼎左・素屋・松隣・其山・  
市丸・(スルガ)漣山・(サガミ)立宇・(エチゴ)乙良・(カヅ)柳壺・  
鶯呼・賀水・(デハ)宗二・(オク)多代女・(八王子)墨農・(ミナノ)  
墨芳・(ミナノ)柳川・(カツサ)呼牛・音人・霞雪・(石見)一桃・  
(松前)其誠・一甫・北涯・帰厚・耕雪・一帆・松隱・和好・  
ぬい女・一旭・由誓・一具・為山・半月・氷壺・ミち雄・米山・  
由之・叩月・普陽・幻外・西馬・卓郎・帰一・瓦村・涛鯉・椿鯉・  
椿齡・棣宇・琴雅・柏樹・夷則」・素外・以外・海外・塵外・阿外・  
墨外・山海・一之・芝山・文洲・□□・清司・素山・武のや・

一孝・一馬・一遊・一秀・一得・松里・七尾・桂雪・厚丸・北司・  
大賀・弥延・舟彦・神丸・露川・全輔・可吟・可樂・可閑・可村・  
可笑・可水・かし八木・祖郷・大莫・見外・一聲・梅秀・可簫

二段組

57 慶賀 全紙 遅流 南華 老松・靈芝図 ○ アイウ 仙鳧

(京) 梅室・岱年・杜鷲・芹舎・瓢齋・禾明・道機・有節・淡節・  
(大坂) 林曹・白鷗・蟻兄・松隣・鼎左・素屋・(イタミ) 太乙・  
曲阜・(三田) 冬岐・(ハリマ) 必山・(アハ) 鳳棲・桑葉・楚宮・  
木龜・史白・鯉丈・(イヨ) 鶯居・映門・(石見) 一桃・(豊前) 眉岳・  
(肥前) 悠々・(日向) 駝岳・(雲水) 玄子・波同・佳峰・桐古・桃五・  
泉洋・曲渕・銀岱・墨芳・素明・拳一・静池・夷則・幻外・可大・  
天遊・(近江) 砺山・(キイ) 閑那・(イセ) 桐一・雅琴・(ヲハリ)  
静嘉・梅裡・醉雨・李曠・黄山・(スルガ) 漣山・(サガミ) 立宇・  
(カヒ) 欽哉・雪底・可轉・(シナノ) 武栗・圭布・(エチゴ) 春室・  
鷺眠・乙良・西疇・大経・茶山・(サド) 為言・文仙・(越中) 恕兮・  
筍堂・(カヅ) 大夢・柳壺・悠平・(デハ) 御風・素山・露丈・二葉・  
霞山・雪貢・西池・里塘・閑淋・涼莎・吟霞・(オク) 一止・松洞・  
美泉・清民・多代女・(ヒタチ) よし香・野巢・(下毛) 嵐齋・其翼・  
道雄・(上毛) 分尾・心足・逸芙・春水・雪居・臥雲・良斗・素三・  
三封・米室・琴堂・谷朗・布水・臥鶴・うめ雄・(上サ) 呼牛・  
霞雪・音人・(下サ) 交水・春齋・呂叟・(武蔵) 南々・寄三・玉芝・

汶平・竹山・墨農・四山子・如息子・茶静・鶴翁・月ふる・柴遊・  
永久・月窓・义々・橋水・千波・塘芝・三和・三星・雄太・古山・  
鶯所・弘湖・西馬・卓郎・一具・好甫・坦々・松亘・祖郷・半月・  
瓦村・由誓・松什・南枝・得蕪・見外・米山・尾山女・五石・  
叩月・由之・魯心・惟草・伯遠・羅紅女・溶々・柏樹・孤堂・  
可簫・念々・澍鯉・梅露・素渕・ミもと・万千・鳥吟・雪年・  
豊川・万里・青柿・晦々・也翠・渕叟・荷少・鬼阿佛・弄化・  
東兆・大鵬・万古・氷壺・龜渕子・溪齋・為山・遅流・遅流・遅流・  
溪齋・為山・遅流・溪齋・(下サ) 婦牛・夢迹・習竹・大龜・  
壺通・元史・樊外・古鳳・庸々・雲外・世機女・ちとう・市鷗・  
化昇・嵐夕・逸渕・梅笠・百丈・秋香・普陽・苜友・漣々・双・  
(ムサシ) 五渡・溪齋・為山・遅流 三段組

※ 「戊申春」／遅流七旬の賀

58 春興 全紙 羅紅女 石湖 猿曳萬歳図 ○ イエ 松叙 (天真)

梅室・岱年・有節・鼎左・素屋・太良彦・漣山・多代女・由誓・  
一具・逸渕・卓郎・見外・松什・西馬・為山・祖郷・梅笠・溪齋・  
半月・得蕪・流芝・玩甫・龜州・古武良・小棠・風生・樂多・  
秋香女・菊子女・松雨・松壽・川友・昌水・雅麦・吟松・至清・  
文伸・蛟年・崎翠・一之・峰旭・碧岱・窓月・公一・山鳥・萬賀・  
東盛・羅紅・以兄・古武良・溶々・為山・溪齋・祖郷・見外・  
小棠・蚊年・杏雨・松寿・卓郎・龜州・玩甫・秋香女・梅笠・



一之・溶々・以兄・羅紅女

二段組

※ 「戌申のはる」

59 歳旦 全紙 みもと 雙岳 萬歳行路図 ○ イ 仙亀

(洛) 梅室・淡節・虚白・有節・丈翠・祭魚・岱年・梅通・(大坂)  
 素屋・白鷗・松隣・鼎左・(アキ) 甘谷・(アハチ) 希康・(アハ)  
 桑葉・(イヨ) 映門・菊圃女・鶯居・(トサ) 古鳳・(石見) 一桃・  
 (ヒゼン) 悠々・(日向) 駝岳・(雲水) 波同・玄子・桐古・月坡・  
 石聲・青和・桃五・硯水・蒼山・一菜・如草・佳峰・(イセ) 桐一・  
 雅琴・(アフミ) 蕙逸・砺山・(ヲハリ) 李曠・静嘉・思文・晴帟・  
 月底・黄山・應知・(ミカハ) 蓬宇・(スルガ) 漣山・(カイ) 可轉・  
 欽哉・(シナノ) 文叔・梅塢・(エチゴ) 乙良・春室・驚眠・茶山・  
 好静・抱儀・(エツ中) 恕兮・完哉・笛堂・(カヅ) 大夢・悠平・  
 柳壺・(デハ) 緑峰・涼莎・素山・二葉・御風・(オク) 多代女・  
 清民・大費・英泉・禾月・一止・心阿・举堂・(上ツケ) 布水・  
 琴堂・(下ツケ) 嵐斎・未足・其翼・(常陵) □香・野巢・一馬・  
 (下フサ) 春斎・以兄・交水・(上ズサ) 呼牛・音人・霞雪・(サガミ)  
 立宇・(ムサシ) 五渡・亀渕子・羅紅女・鬼阿佛・溶々・惟草・  
 山外・五石・茶静・梅笠・卓郎・西馬・古山・きく雄・ミち雄・  
 晦々・荷少・鳥吟・空斎・祖郷・半月・祐之・魯心・氷壺・幻外・  
 松什・伯遠・由誓・念々・未兆・夷則・也翠・三里・瓦村・得蕪・  
 萬古・逸渕・一具・萬里・流芝・南枝・見外・渕叟・花渕女・

60 歳旦 全紙 水月 蝶睡 梅花春鳥図 ○ アイエ ×

(イヨ) 柴人・(日向) 双鳥・(日向) 駝岳・(日向) 五川・(日向) 月雄・  
 (アハ) 應吏・(アハ) 左一・(キビ) 香雨・(イセ) 完那・(ハリマ)  
 白鳳・(ハリマ) 維嶽・(ナダ) 枝雄・(ナダ) 梧遊・(ナダ) 空静・  
 (イタミ) 太乙・(イタミ) 曲阜・(サカイ) 此方・(サカイ) 此松・  
 (テンホ) 采洋・(テンホ) 一東・(京) 岱年・鼎左・桃室・松隣・  
 素屋・祇白・其山・万利・壽扇・竹水・卦龍・井左・鶯宿・呂国・  
 白鷗・国彦・南峯・桃年・帟尺・万寿人・李暁・艸左・松室・  
 柏年・白居・其珀・林亭・里柳・月桂・春光・珉朝・井龜・文洒・  
 とせ女・霞山・左逸・友之・磯遊・里風・松鷺・自笑・虫友・  
 不角・浪塵・万英・万遊・季成・臥堂・潮水・知風・(八十二才)  
 花遊女・巨洲・松人・蓑月・其暁・桃雨・松風・松月・芦洲・  
 里松・子蝶・子桃・其雀・松朝・章山・貞艸・芦村・和水・宥水・  
 亀川・和友・茂山・和照・水月・水月

三段組

渕鯉・米山・青柿・大鵬・漣々・あらた・豊川・永久・素渕・  
 雪年・雅学・双・百丈・秋香・松宜・坦々・好甫・丁知・遅流・  
 弄化・普陽・白桂・溪斎・為山・みもと

三段組

## 編集後記

大阪府立図書館紀要第 43 号をお届けします。

大阪府立図書館は 2015 年 2 月で 111 年を迎えました。『中之島百年—大阪府立図書館のあゆみ』からの 10 年間の軌跡として中之島図書館を中心とした年表にまとめました。100 年目からの「激動の 10 年」の一端を感じていただけるのではないのでしょうか。

業務に関しては、中央図書館が行った府立図書館の役割としてのアンケート調査結果の報告と中之島図書館所蔵資料に関する研究及び建築に関する研究の論文を掲載しました。

今後とも府立図書館の充実のため、職員一同日々研鑽に励んでまいりますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当紀要に登載された著作物に係る著作権は執筆者に属し、その著作の使用に関しては大阪府立図書館は著作権者の了解を得ています。

## 編集委員（◎は編集長）

中之島図書館 ◎井上好文 大北智子 赤野未知 藤原紀恵 三島美幸 袋井龍成  
中央図書館 吉川逸子 仙田ひろ子 小杉裕枝

大阪府立図書館紀要 第 43 号

2015 年 3 月 31 日

編集・発行

大阪府立中之島図書館

〒530-0005 大阪市北区中之島 1-2-10

大阪府立中央図書館

〒577-0011 東大阪市荒本北 1-2-1

<http://www.library.pref.osaka.jp/> <無断転載を禁ずる>